かんたん!! ガイド
⇒はじめにお読みください。
巻末ページをご覧ください。

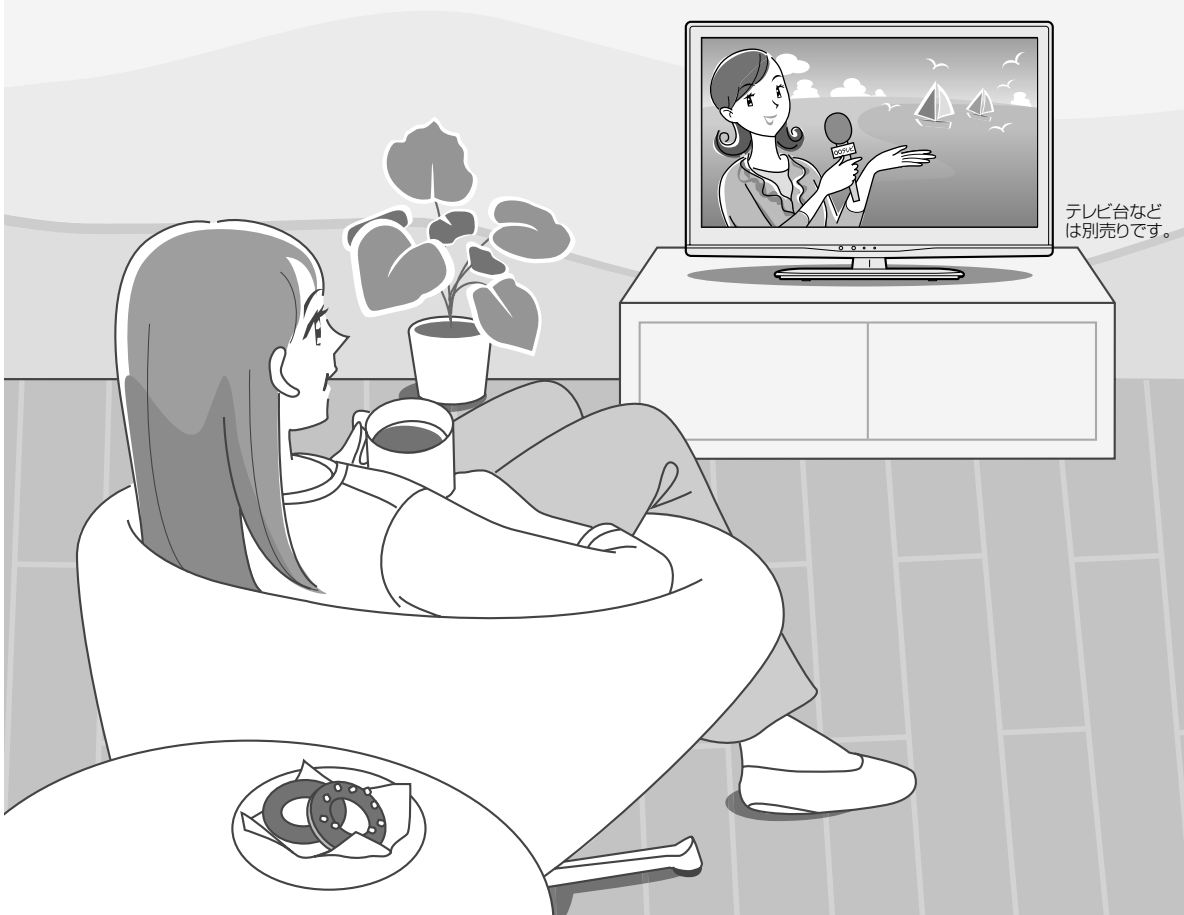
SHARP®

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形　名

エル シー　ケイ
LC-24K9
エル シー　ケイ
LC-22K9

AQUOS

テレビ台などは別売りです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（**3**ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 基本部のセットイラストは、LC-22K9で記載しています。

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本取扱説明書では、特に機種名を明示している場合を除いて LC-22K9 を例にとって説明しています。LC-24K9 は外形寸法などは異なりますが使いかたは同じです。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去（初期化）をお願いします。（⇒ **30** ページ）

もくじ／ご注意／各部のなまえ

ふだんの使いかた

メニュー操作

双方向通信／USBメモリー

USBハードディスク

ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ

個別設定／放送の種類について

故障かな？／エラーメッセージ

お役立ち情報（仕様や索引）

English Guide

かんたん!!ガイド（巻末）

付録

次の内容は、AQUOSサポートページに掲載しています。

ホームメニュー項目の一覧
寸法図
壁に掛けて設置する場合は

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

- この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
- 内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

しなければならないことを表しています。

⚠警告

異物を入れない

禁止

- 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない

100 ボルト以外禁止

- 火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠警告

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

不安定な場所に置かない

禁止

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

本機の上に花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

- 水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

台所や屋外など、テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

- 火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードに重いものを載せない

禁止

- 火災・感電の原因となります。

次のページに続く

⚠警告

本機を風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

- 火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物、または虫などが入ったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

- 感電の原因となります。

使用中に本機を布や布団などで覆ったり包んだりしない

禁止

- 熱がこもって、火災の原因になります。

異常に温度が高くなるところには置かない

禁止

- 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

⚠警告

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

指示

- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠注意

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

健康のために、次のことをお守りください

- 連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

⚠注意

アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

・送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。

・BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

禁止

・倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

禁止

・液晶画面のパネルが割れることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

・内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

・感電や火災の原因となることがあります。

⚠注意

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線をはずす

・接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手でコンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

・感電の原因となります。

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

電源プラグは確実に差し込む

確実に差し込む

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。

また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

タコ足配線をしない

禁止

・火災・感電の原因となることがあります。

次のページに続く

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

- 電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（H_2S、S_2O）が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

禁止

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 大気中に含まれる硫化ガス（H_2S、S_2O）に長時間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

アルカリ電池についての安全上のご注意

- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

- 電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池のアルカリ液がもれたときは素手でさわらない

禁止

- 電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。

⚠注意

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

- 間違えると電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

禁止

- 電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

指示

- 電池を入れたままにしておくと、過放電によりアルカリ液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

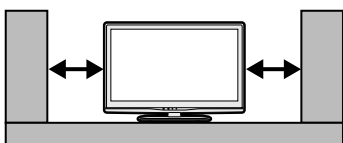
ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

設置時に関して

- 本体は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。
- 本体の電源ボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されており、感電や火災の原因となることがあります。
- 本体の左右には、それぞれ 10cm 以上のスペースを空けて設置してください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

AQUOS クリーニングクロス　推奨品

24 × 24cm：CA300WH1 ※

40 × 30cm：CA300WH2 ※

※ 販売店またはシャープホームページ内のシャープいい暮らしストア（ネット販売）でお求めください。

- お手入れの際は、必ず「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」にしてから、本体の電源ボタンで電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布（綿、ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC チップが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないでください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。（⇒ **9** ページ）
- B-CAS カードは、奥まで差し込んでください。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

次のページに続く

守っていただきたいこと

電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

使用温度について

注意

- 周囲温度は0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

注意

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形・変色したり、故障の原因となることがあります。
- 本体や電池などの部品を、直射日光が当たる場所にさらしたり、火や熱器具などの近くに置かないでください。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

本体各部

- LC-22K9 を例に説明していますが、LC-24K9 も端子の配置は同じです。

前面

リモコン受光部
⇒ **「かんたん!!ガイド」（巻末）2**ページ
- リモコンをここに向けて操作します。

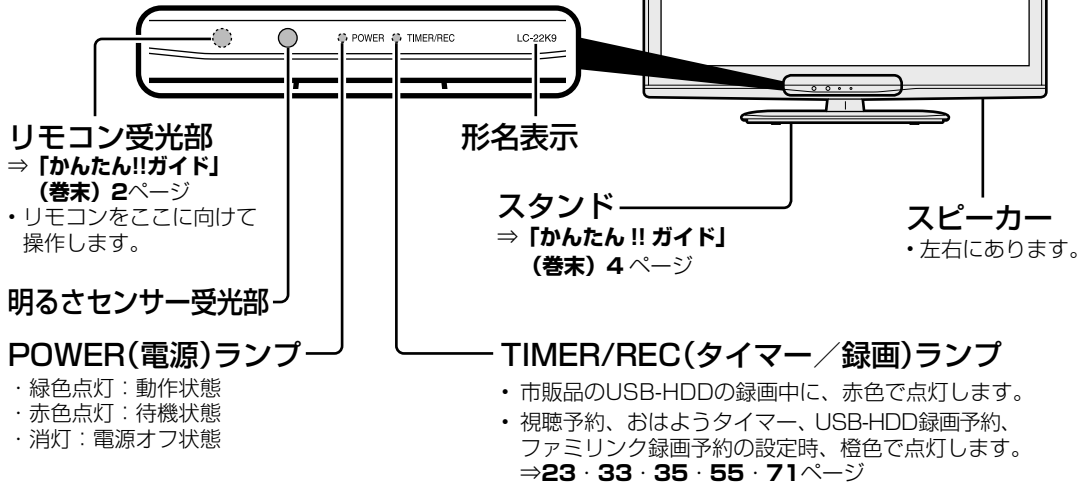
形名表示

スタンド
⇒ **「かんたん !! ガイド」（巻末）4** ページ

スピーカー
- 左右にあります。

明るさセンサー受光部

POWER(電源)ランプ
- 緑色点灯：動作状態
- 赤色点灯：待機状態
- 消灯：電源オフ状態

TIMER/REC(タイマー／録画)ランプ
- 市販品のUSB-HDDの録画中に、赤色で点灯します。
- 視聴予約、おはようタイマー、USB-HDD録画予約、ファミリンク録画予約の設定時、橙色で点灯します。
⇒**23**・**33**・**35**・**55**・**71**ページ

左側面

B-CASカードは必ず挿入してください。
- B-CASカードはデジタル信号の暗号化を解除する「鍵」のような役割をしていますので、B-CASカードが挿入されていないと、デジタル放送が視聴できません。

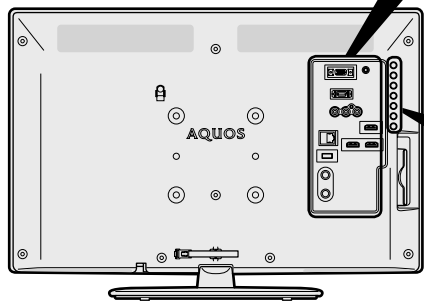
B-CASカード挿入口
⇒ **「かんたん!!ガイド」（巻末）11**ページ

ヘッドホン端子
- ステレオミニプラグ（φ3.5mm）の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音が出せます。
(⇒**33**ページ)

30

▲ヘッドホンの音量表示

次のページに続く

背面

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、本体のボタンで、本体側のリモコン番号を切り換えることもできます。

1）本体の「入力／放送切換（決定）」ボタンを５秒以上押す
（本体側のリモコン番号メニューが表示されます。）

2）本体の「音量（＋／－）」ボタンで「1」または「2」を選ぶ

3）本体の「入力／放送切換（決定）」ボタンを押して決定する

リモコンのボタン

リモコン側のリモコン番号を切り換えるには

画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されたときは、下記の操作を行ってください。

1）「1」または「2」ボタンを押したまま、
2）「電源」ボタンを 5 秒以上押す

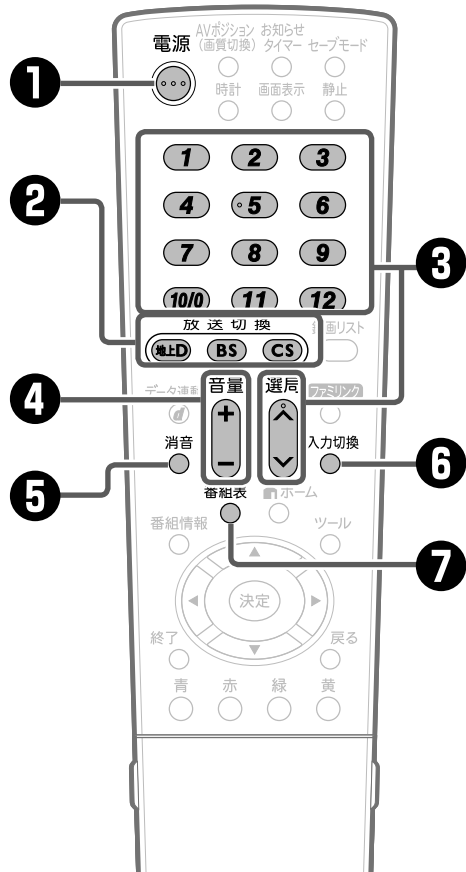
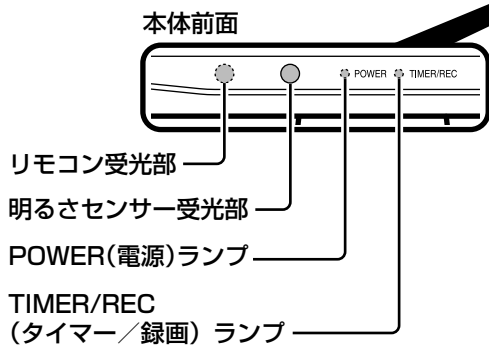
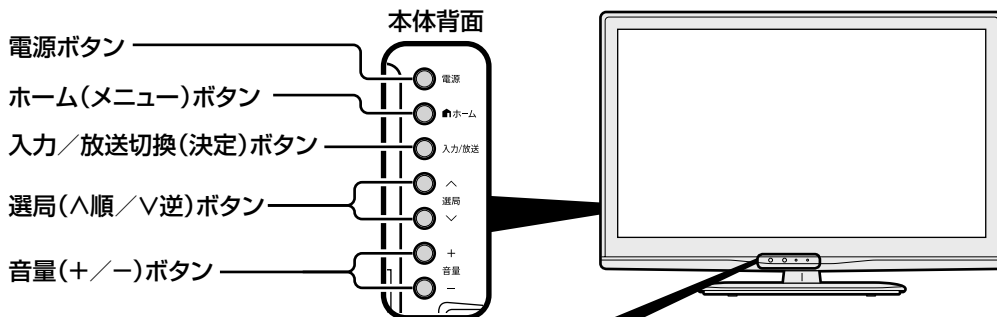
- 本体側で設定した番号に合わせてください。
- リモコンの乾電池が消耗したときや、乾電池を交換したときは、リモコン番号が「1」に戻る場合があります。

リモコン番号とは

2 台の AQUOS を近くに設置している場合、リモコン操作で 2 台とも動作してしまうことがあります。

リモコン誤動作の可能性があるこのような使用環境の場合、リモコン番号の設定で、別々の番号に設定しておくと他の AQUOS の誤動作を防ぐことができます。（リモコン番号は、「1」または「2」に設定します。）

リモコンで操作すると、他のAQUOSが動作してしまう。

ふだんの使いかた

❶ 電源を入れる（本体の電源ボタン）

- 本体の電源ボタンを押して「入」にすると、電源ランプが緑色になります。
- リモコンの電源ボタンを押すごとにテレビをつけたり、消すことができます。

❷ 放送（地上デジタル放送／BS デジタル放送／CS デジタル放送）を選ぶ

❸ チャンネルを選ぶ

- 選局ボタンまたはダイレクト選局ボタンを使って、見たいチャンネルを選びます。
- ダイレクト選局ボタンは選局番号に対応しています。
- BS デジタル放送視聴中に BS を押すと、表示された BS 新サービスの選局が数字ボタンで行えます。

❹ 音量を調整する

- 画面下部に音量レベルが表示されます。

❺ 音を一時的に消す

- 消音ボタンを押すと音量が 0 になります。
- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 消音となってから 30 分経過すると自動的に音量 0 になります。この状態から音声を聞くには、音量＋ボタンで音量を調節してください。

❻ BD/DVD プレーヤー・ゲーム機などの画面に切り換える

- 選択した入力に切り換わります。(⇒**25**ページ)
- 上下カーソルボタンでも選べます。

❼ 番組表で番組を探す

- ⇒**次**ページをご覧ください。

番組表の使いかた

- テレビ画面に番組表を表示して、その中から番組を選べます。

番組表の画面例

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル
	スポーツ
	ドラマ
	バラエティ
	アニメ／特撮
	劇場／公演
	福祉

アイコン	ジャンル
	ニュース／報道
	情報／ワイドショー
	音楽
	映画
	ドキュメンタリー／教養
	趣味／教育

番組情報を示すアイコン

アイコン	項目
	視聴予約している番組
	ファミリンク録画予約している番組
HDD	USB-HDD録画予約している番組
¥	有料放送
	デジタルコピーが禁止されている番組
C	デジタルコピーが制限されている番組

表示される情報の期間

- テレビ放送……8 日分
- データ放送……最低 1 日分
- 表示時間………3 時間または 6 時間
  (「文字サイズ設定」により
  変わります。⇒ **14** ページ)

◇**おしらせ**◇

番組表の表示のしかたについて

- 「文字サイズ設定」⇒ **14** ページ
- 「サブチャンネル設定」⇒ **14** ページ

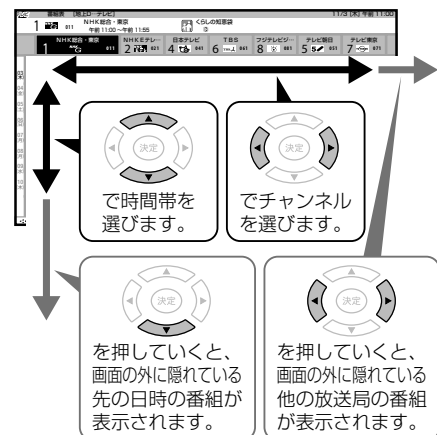
番組表で番組を選ぶ

1 番組表を表示する

番組表 ○ を押す

- 地上D BS CS を押して、放送の種類（番組表の表示内容）を変更できます。
- 「チャイルドロック」(⇒ **32** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **32** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 見たい番組を選ぶ

決定 で選ぶ

- 現在の時間帯より前の番組表は表示できません。
- 番組内容が表示されないチャンネルがあるときは、「番組表の更新について」（⇒**下記**）をご覧ください。

3 決定する

決定 を押す

- 放送中の番組を選んだときは、選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき USB ハードディスクを接続している場合は、録画予約になります。USBハードディスクを接続していない場合は、予約選択画面になります。（予約については⇒ **55・71** ページをご覧ください。）

番組表の機能メニューの使いかた

- 番組表の文字を大きくしたり、見たい番組の検索、放送の切り換えなどが、番組表の「機能メニュー」で行えます。
- 機能メニューは、番組表を表示させている状態で ツール ボタンを押します。

番組表の機能メニューからできること

機能	説明
日時移動	• 番組表で表示する日時を素早く選べます。
予約リスト	• 予約した番組の設定や情報を表示します。
ジャンル検索	• ジャンルで番組を検索できます。
番組詳細検索	• 特徴やキーワードで番組を検索できます。
見つかる検索	• 特徴・ジャンル・キーワードを組み合わせた詳しい条件で、番組を検索できます。
放送切換	• 地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送に切り換えます。
テレビ / ラジオ / データ	• 番組表の、テレビ放送／ラジオ放送／データ放送を切り換えます。
文字サイズ設定	• 番組表の文字の大きさを変えられます。
サブチャンネル設定	• 番組表にサブチャンネルを表示する／表示しないの設定ができます。
表示順設定	• 番組表のチャンネルの並び順を変えられます。
番組表取得設定	• 番組表をスムーズに表示させるために、番組表を電源待機中に自動取得するよう設定できます。

番組表の更新について

- 番組表は、チャンネルを選び データ連動 を押すと更新できます。ただし、地上デジタル放送の番組表は、各チャンネルを個別に更新する必要があります。
- 番組表を更新しているときは、一時的に音声が停止します。
- 検索画面を表示したり、番組表の表示を終了したときは、番組表の更新は停止します。
- 番組表は、電源待機中に自動で取得することもできます。
- 外部入力で番組表を表示しているときは、番組表の更新はできません。
- デジタル放送録画中は番組表は更新できません。

視聴中の便利な機能

2 画面で見る

1 2画面メニューを表示する

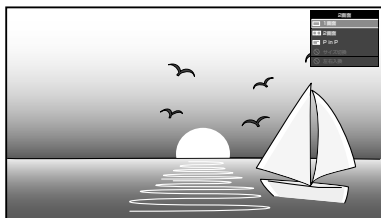
2画面

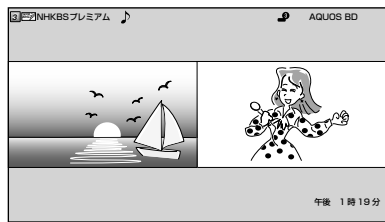
を押す

2 表示のしかたを選ぶ

で選び

決定

を押す

- ２画面表示になります。
- 「サイズ切換」、「左右入換」は、２画面表示のときに選べます。

「２画面」を選んだときの表示例

- ２画面のとき、「♪」マークのある操作画面は、チャンネルや入力の切り換え、音量調整ができます。

２画面表示の種類

❶ １画面

❷ 2画面

❸ PinP

- ❷のときは、「左右入換」を選ぶと左右の画面が入れ換わります。
- ❸ PinP のときは、上下左右のカーソルで子画面の位置を移動できます。
  決定ボタンで、上図のように子画面が移動します。
- ❸のときは、「左右入換」を選ぶと大きく表示されている画面と小画面が入れ換わります。

◇**おしらせ**◇

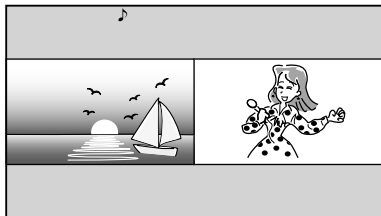
- ２画面表示しているとき、次の操作はできません。
  - ホームメニューの表示
  - 番組表の表示
  - 画面サイズの切り換え
  - AV ポジションの切り換え
  - 画面の静止
- ２画面機能を入／切または、操作切換をすると、まれに映像が一瞬途切れた状態になることがあります。
- ハイビジョンの映像（1080i、720p、1080p）を２画面にしたときは 16：9 表示になります。
- ２画面表示中に視聴予約が開始されたときは、１画面に戻ります。

次のページに続く

◇おしらせ◇

- 「左右入換」をした場合、「♪」マークは入れ換わりません。操作画面（⇒**右記**）は入れ換わります。
- 複数の映像／音声のあるデジタル放送を大小2画面、PinP表示しているときに左右の画面を入れかえると、映像／音声はそれぞれ映像1／音声1に戻ります。（「♪」マークのついている側の音声が出力されます。）
- PinPのとき、子画面にデジタル放送の字幕放送を選局しても字幕は表示されません。
- 決定ボタンによる子画面の移動は、場合によっては、四隅のみの移動になります。

画面のサイズを変える

1 2画面またはPinP表示にする

2画面 を押す
で選び
決定 を押す

2 2画面メニュー中の「サイズ切換」を選択する

2画面 を押す
で選び
決定 を押す

3 画面のサイズを変える

を押す

2画面にしている場合

- 右カーソルボタンで、左側画面のサイズを大きくできます。戻すときは左カーソルを使います。

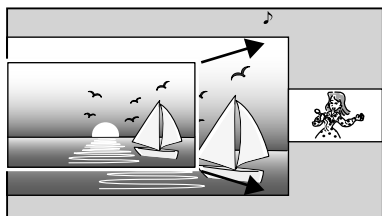
を押す

PinPにしている場合

- 左右カーソルボタンで画面のサイズが変化します。

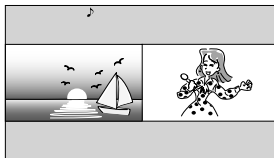
決定 を押す
終了 を押す

- 操作を終了する場合は、決定ボタンを押します。
- 1画面に戻すには、終了ボタンを押します。

2画面のうち操作する画面を選ぶ

1 2画面表示中に操作画面を切り換える

操作切換 を押す

- 操作切換ボタンを押すたびに、「♪」マークが左／右に移動して、操作画面が切り換わります。

2画面の表示例

2 「♪」マークのある操作画面の音量を調整するには

音量 を押す

- 音量ボタンを押して音量を調整します。

選局するには

BS
CS
のいずれかを押す

- 放送切換ボタンを押して放送を選びます。
- 操作画面の番組は、数字ボタン（チャンネルボタン）または選局（∧順／∨逆）ボタンで選局できます。
- 入力切換ボタンを押すたびに、操作画面の入力が切り換わります。

1画面に戻すには

終了 を押す

- 「♪」マークのある画面が1画面表示されます。
- 右画面は、最後に右画面で選局していたチャンネルまたは外部入力が保持されます。

2画面表示ができる組み合わせ

- 2 画面機能で表示できる画面は、画面の左右、放送や入力によって異なります。

（地上 D ＝地上デジタル）

左画面（大画面） ＼ 右画面（小画面）	地上 D	BS/CS	外部入力	USB-HDD 再生
地上D	×	×	○	×
BS／CS	×	×	○	×
外部入力	○	○	×	○
USB-HDD 再生	×	×	○	×

◇**おしらせ**◇

- PinPのときは一部のボタンは操作できません。
- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、2 画面機能を利用して表示を行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 2 画面表示しているとき、表示される放送番組／接続機器の解像度により、映像補正の関係で、右側の画面や PinP 子画面の映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。ちらつきが気になる場合は、全画面でご視聴いただくか、左右入換操作（⇒ **15** ページ）により、左側画面でご視聴いただくことをおすすめします。

画面を静止させる

- 視聴中にリモコンの静止ボタンを押すと、映像を静止できます。もう一度静止ボタンを押すと、視聴中のチャンネルの現在の映像に戻ります。

次の場合は、静止画が解除されます。

- 録画予約が実行されたとき
- 選局や入力切換の操作をしたとき
- ホーム（メニュー）／ツール／ファミリンクボタンを押したとき
- 映像を静止してから 30 分経過したとき

静止画表示中は、次のことができません。

- 画面サイズの切り換え
- AV ポジションの切り換え
- 番組表、番組情報の表示

テレビ画面に大きく時計を表示する

- 外部入力、放送、録画済み番組の視聴中にリモコンの時計ボタンを押すと、画面に大きく時計が表示されます。もう一度時計ボタンを押すと、時計表示が終了します。
- 時計設定の「時計タイプ」により、デジタル時計とアナログ時計を選択できます。（⇒ **30** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 2 画面表示中（⇒ **15** ページ）は、テレビ画面に大きく時計を表示することはできません。

メニュー画面にキャラクターを表示する

- 時刻表示やホームメニューなどの画面に、キャラクターを表示します。
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「キャラクター」で設定します。

項目	内容
する	・キャラクターを表示します。
しない	・キャラクターを表示しません。

◇**おしらせ**◇

- 「キャラクター」を「する」にしているとき、キャラクターが時刻表示やホームメニューなどに表示されます。
- キャラクターは動くことがあります。
- 表示されるキャラクターは、時刻や表示箇所によってランダムに変わることがあります。

音声・映像・字幕を切り換える

- 複数の映像（最大４つ）または音声（最大８つ）がある番組をご覧のとき、映像および音声を切り換えて楽しめます。
- 字幕のある番組をご覧のとき、字幕を表示できます。複数の字幕がある番組の場合は、字幕を切り換えて楽しめます。

▼テレビ画面のチャンネルサイン

複数の映像を楽しむ

ツール を押し
で選び
決定 を押す

ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶ

- 「映像切換」を選ぶたびに映像※が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに映像表示が出ます。

※ 番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を切り換える

音声切換 を押す

音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、テレビ画面右上のチャンネルサインに音声表示が出ます。
- デジタル放送は「モノラル」への切り換えができません。

マルチ音声番組のとき

→ 音声１ → 音声２～８※ →

※ 番組によって、音声の数は異なります。

二重音声番組のとき

◇**おしらせ**◇

- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、「音声１」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。

字幕を表示する／複数の字幕を切り換える

1

ツール を押し

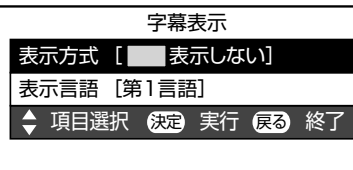
で選び

決定 を押す

ツールメニューを表示して、「字幕操作」を選ぶ

- 画面右上に字幕メニューが表示されます。

字幕表示

表示方式 ［ 表示しない］
表示言語 ［第1言語］
項目選択 決定 実行 戻る 終了

◆字幕の表示方式を変えたいとき

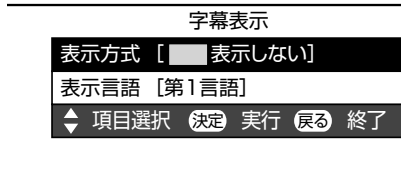
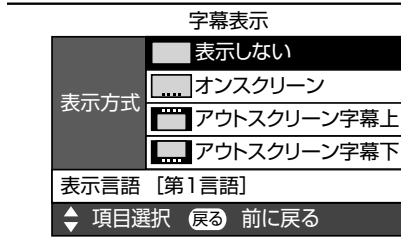
2 「表示方式」を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式 ［ 表示しない］
表示言語 ［第1言語］
⬍ 項目選択 決定 実行 戻る 終了

3 表示させたい字幕の種類を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式
表示しない
オンスクリーン
アウトスクリーン字幕上
アウトスクリーン字幕下
表示言語 ［第1言語］
⬍ 項目選択 戻る 前に戻る

◆字幕の表示言語を変えたいとき

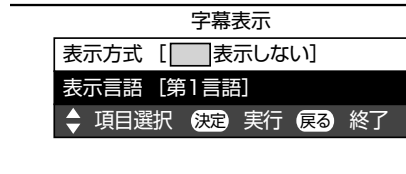
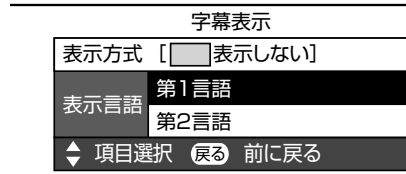
2 「表示言語」を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示
表示方式 ［ 表示しない］
表示言語 ［第1言語］
⬍ 項目選択 決定 実行 戻る 終了

3 表示させたい言語を選ぶ

で選び 決定 を押す

字幕表示	
表示方式 ［ 表示しない］	
表示言語	第1言語
	第2言語
⬍ 項目選択 戻る 前に戻る	

- 字幕が 1 種類しかない場合は、「第 2 言語」（副）に設定しても「第 1 言語」（主）の字幕が表示されます。

「表示方式」の設定について

- 「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」に設定している場合は、字幕放送でない番組に放送局から字幕情報が送られてくると、自動的に映像が縮小される場合があります。

工場出荷時の設定

表示しない

- 字幕放送でも、字幕を表示しません。

字幕非表示

字幕表示の種類

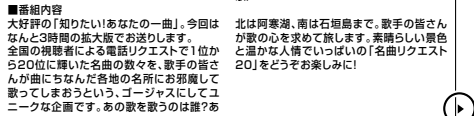
	字幕放送のとき	字幕放送ではないとき
オンスクリーン ・字幕放送では、映像に重なって字幕が表示されます。	わぁ、楽しそう！	
アウトスクリーン字幕上 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の上側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	わぁ、楽しそう！	
アウトスクリーン字幕下 ・字幕放送では、自動的に映像が縮小され、映像の下側に字幕が表示されます。 ・放送によっては、字幕が映像と重なることがあります。	わぁ、楽しそう！	

番組の詳細を知りたいときは

- デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。

番組情報の画面例

■番組内容
大好評の「知りたい!あなたの一曲」。今回はなんと3時間の拡大版でお送りします。全国の視聴者による電話リクエストで1位から20位に輝いた名曲の数々を、歌手の皆さんが曲にちなんだ各地の名所にお邪魔して歌ってしまおうという、ゴージャスにしてユニークな企画です。あの歌を歌うのは誰?あ

北は阿寒湖、南は石垣島まで。歌手の皆さんが歌の心を求めて旅します。素晴らしい景色と温かな人情でいっぱいの「名曲リクエスト20」をどうぞお楽しみに!

他にも情報がある場合に表示されます。

1 番組情報の画面を表示する

番組情報 ○ を押す

- 番組情報が表示されます。番組情報の右側に◀ ▶マークがある場合は、左右カーソルボタンで表示を切り換えられます。
- 終了ボタンを押すと、番組情報が消えます。

放送の種類やチャンネルなどの情報を確認する

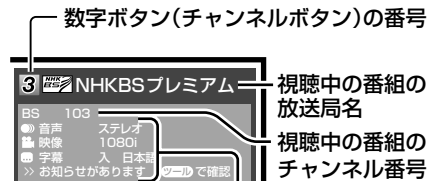
- 放送の種類やチャンネルなどの情報はテレビ画面のチャンネルサインで確認できます。

1 **画面表示ボタンを押してチャンネルサインを表示する**

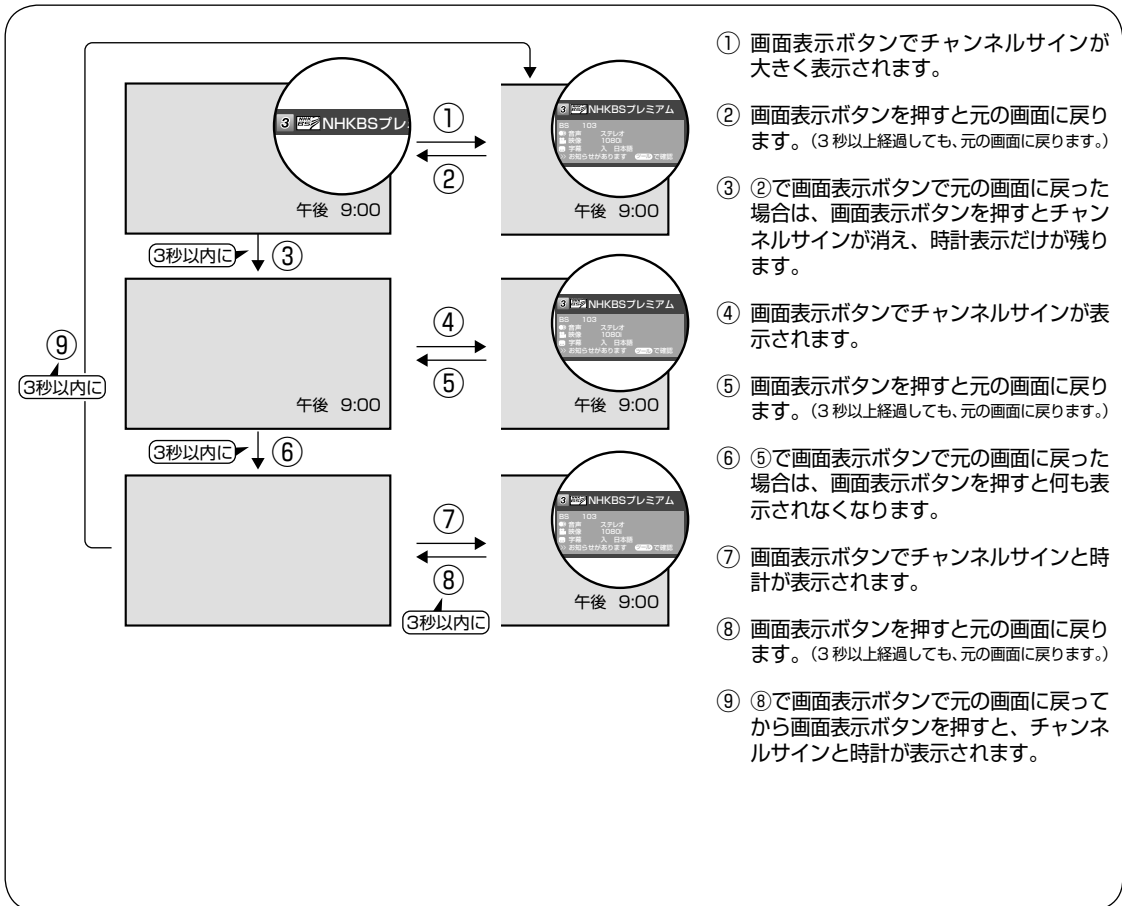
▼テレビ画面のチャンネルサイン

数字ボタン(チャンネルボタン)の番号

視聴中の番組の放送局名

視聴中の番組のチャンネル番号

その他の情報
他にも情報がある場合に表示されます。

2 **繰り返し画面表示ボタンを押し、表示のしかた(⇒下記)を選ぶ**

チャンネルサインの表示の切り換わりについて(時刻表示の設定が「する」の場合⇒ **30** ページ)

① 画面表示ボタンでチャンネルサインが大きく表示されます。

② 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。(3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。)

③ ②で画面表示ボタンで元の画面に戻った場合は、画面表示ボタンを押すとチャンネルサインが消え、時計表示だけが残ります。

④ 画面表示ボタンでチャンネルサインが表示されます。

⑤ 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。(3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。)

⑥ ⑤で画面表示ボタンで元の画面に戻った場合は、画面表示ボタンを押すと何も表示されなくなります。

⑦ 画面表示ボタンでチャンネルサインと時計が表示されます。

⑧ 画面表示ボタンを押すと元の画面に戻ります。(3 秒以上経過しても、元の画面に戻ります。)

⑨ ⑧で画面表示ボタンで元の画面に戻ってから画面表示ボタンを押すと、チャンネルサインと時計が表示されます。

※ 時刻表示の設定が「しない」の場合は、①、②、⑥、⑦、⑧、⑨の順番になります。(⇒ **30** ページ)

データ放送で天気予報や株価などの情報を見る

- データ放送には、テレビ放送に連動した「連動データ放送」と、データ放送専門の「独立データ放送」があります。
- データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なります。データ放送画面を表示したら、画面の表示に従って操作してください。例えば、カーソルボタン（上・下・左・右）で画面の項目を選んで決定したり、カラーボタン（青・赤・緑・黄）で対応する項目を選んだりして操作します。

連動データ放送を表示する

データ連動 d を押す

連動データ放送を含む番組の視聴中に、連動データ放送の画面を表示する

（例）

- テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- 電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は、データ連動ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、約 20 秒待ってからもう一度データ連動ボタンを押してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- BS ラジオ放送も、⇒**右記**の手順で切り換えられます。

独立データ放送の番組から選ぶ

1 BSデジタル放送を選ぶ

- 「地デジ限定設定」（⇒ **32** ページ）が「有効」になっている場合、放送を切り換えることができません。

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ

ホーム を押し

で選び 決定 を押す

選びかたは、**27** ～ **28** ページをご覧ください。

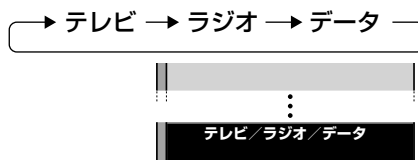
▼ ホームメニューの画面例

3 「テレビ／ラジオ／データ」を選ぶ

で選び

を押す

- 放送の種類を切り換えます。
- 繰り返し設定することによって次のように切り換わります。

→ テレビ → ラジオ → データ

4 天気予報や株価のチャンネルを選ぶ

選局

を押す

もくじ／ご注意／各部のなまえ | ふだんの使いかた | メニュー操作 | 双方向通信／USBメモリー | USB ハードディスク | ファミリンクで使う／レコーダーやパソコンをつなぐ | 個別設定／放送の種類について | 故障かな？／エラーメッセージ | お役立ち情報（仕様や索引） | English Guide

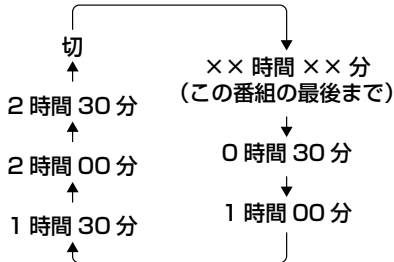
タイマー機能を使う

指定した時間後に電源を切る（オフタイマー）

• テレビを見ながらお休みになるときなどに便利です。

オフタイマー を押す

繰り返し押してオフタイマーを設定する

• 押すごとに次のように画面の表示が変わります。

• オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
• オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

◇**おしらせ**◇

• 「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。
• 「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。
• 番組終了の約2分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。
• デジタル放送視聴中以外や番組の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
• おやすみタイマー動作中は、オフタイマー設定はできません。

オフタイマーの残り時間を確認するには

を押す

オフタイマーの残り時間を確認する

• オフタイマーがすでに設定されている場合は、オフタイマーの残り時間が表示されます。
• しばらくすると表示が消えます。
• 残り時間が表示されている間は、オフタイマーボタンを押さないでください。残り時間が変わってしまいます。

時間を指定して電源を切る（おやすみタイマー）

• 指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「おやすみタイマー」を選ぶ**

2 **「おやすみタイマー」で「設定」を選ぶ**

• 「解除」を選ぶと、おやすみタイマー機能が働かなくなります。

3 **それぞれの項目（⇒次ページ）を設定する**

①上下カーソルボタンで項目を選ぶ

②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

• 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

▼ おやすみタイマー「通常」の画面例（表示設定：「アイコン＋文字」）

おやすみタイマー：残り10分

10分前 ┈┈┈▸ 0分前

通常： → → → → → 電源「切」

サンセット： → → → → → 電源「切」

• 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1分ごとに大きなアイコンが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
• 表示設定が「文字のみ」の場合は、1分ごとに残り時間が表示されます。

◇おしらせ◇

- 無操作オフや無信号オフ（⇒ **32** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。
- おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。
- おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。
- テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。
- 本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ **30** ページ）が必要です。

おやすみタイマーの設定項目

項目	内容	
おやすみタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。	
時刻（時）	• タイマーで電源を切りたい時刻（時）を設定します。	
時刻（分）	• タイマーで電源を切りたい時刻（分）を設定します。	
モード	**通常**	• 毎日同じ設定時刻に電源を切ります。
	サンセット	• 設定時刻の 10 分前から徐々に画面を暗くし、音量を下げて※、設定時刻に電源を切ります。
表示設定	**アイコン＋文字**	• 画面にアイコンと残り時間を表示します。
	文字のみ	• 画面に残り時間を表示します。

※ 何らかの操作をすると、画面の明るさ・音量は元に戻りますが、設定時刻に電源は切れます。

目覚ましとして使うなど タイマーで電源を入れる（おはようタイマー）

- 指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。）
- おはようタイマーを設定すると、本体の TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **9** ページ）が橙色に点灯します。
- 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」−「（機能切換）」−「おはようタイマー」を選ぶ**

2 **設定したいタイマーを選ぶ**

3 **「おはようタイマー」で「設定」を選ぶ**

- 「解除」を選ぶと、そのタイマー機能が働かなくなります。

4 **それぞれの項目(⇒次ページ)を設定する**
①上下カーソルボタンで項目を選ぶ
②左右カーソルボタンで項目の値を選ぶ

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 設定したタイマーには、手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

▼ おはようタイマー「サンライズ（アイコン）」の画面例

- モードが「サンライズ（アイコン）」の場合は、1 分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。モードが「サンライズ」の場合は、1 分ごとにメッセージが表示されます。
- モードを「通常」または「スヌーズ」に設定した場合は、メッセージのみが表示されます。

タイマーを設定／解除する

- 左記の手順 **2** の画面で、タイマーの設定／解除を切り換えられます。

1 **「タイマー1」〜「タイマー7」のいずれかを選ぶ**

2 **黄ボタンを押す**

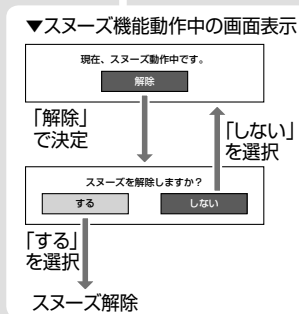
- 押すたびに、選んだタイマーが「設定」（時計マーク）⇔「解除」（時計マークなし）と切り換わります。
- 設定したタイマーには、左記の手順 **2** の画面で時計マークが表示されます。

次のページに続く

おはようタイマーの設定項目

項目	内容
おはようタイマー	• タイマーの設定／解除を選択します。下記の曜日で設定した「1 回だけ」に設定されているタイマーが動作した後は、自動的に「解除」になります。
曜日	• タイマーで電源を入れたい曜日を設定します。「毎日」「月－土」「月－金」「毎週○曜」（○は日から土のいずれか）「1 回だけ」の中から選べます。
時刻（時）	• タイマーで電源を入れたい時刻（時）を設定します。
時刻（分）	• タイマーで電源を入れたい時刻（分）を設定します。
入力	• タイマーで電源が入ったとき表示される画面を、放送の種類（地上D、ＢＳ、ＣＳ）、入力、時計から選びます。
CH	• タイマーで電源が入ったとき画面に表示される、数字ボタン（チャンネルボタン）に割り振られた番号を選びます。USB ハードディスクで録画しているときは、録画しているチャンネルでタイマーが起動します。
音量	• タイマーで電源が入ったときの音量を選びます。0 ～ 100 の範囲で選べます。
アラーム音	• タイマーで電源が入ったときに鳴る音声（なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥）を選びます。 • アラーム音の設定中に青ボタンを押すと、設定した音を試聴できます。 •「ベル」「電子音」「鳩時計」「小鳥」は 5 分間鳴り続けます。途中で何か操作をすると、入力の音声に切り換わります。 • おはようタイマーの入力の項目で、「時計」を選択した場合、アラーム音「なし」は選択できません。
モード	
通常	• 設定した時刻に、設定した音量で電源を入れます。
サンライズ **サンライズ（アイコン）**	• 設定した時刻に電源が入り徐々に音量が大きくなり、同時に画面も徐々に明るくなり、10 分後に設定した音量で画面は最も明るくなります。 •「サンライズ（アイコン）」を選ぶと、画面にアイコンが表示されます。
スヌーズ	• いったん電源を切っても、5 分後に再度電源が入るようにします。 • 音量を下げた場合でも、5 分後に元の音量に戻します。 • チャンネルや入力を切り換えても、5 分後に元のチャンネルに戻します。 •「解除」―「する」を選択すると、スヌーズ動作が解除されます。 •「解除」―「する」を選択しないかぎり、7 回（35 分間）スヌーズ動作を繰り返します。 • スヌーズ起動中、他のタイマーは起動しません。 • 決定ボタンを押しただけでは、スヌーズは解除しません。「する」を選択し決定ボタンを押してください。 •「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切った場合、もしくは予約開始時にも、スヌーズ動作が解除されます。

▼スヌーズ機能動作中の画面表示

現在、スヌーズ動作中です。
解除
「解除」で決定
「しない」を選択
スヌーズを解除しますか？
する
しない
「する」を選択
スヌーズ解除

◇ **おしらせ** ◇

おはようタイマーを「設定」にすると

- 「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。
- おはようタイマーで電源が入ってから２時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる５分前になると画面左下にメッセージが表示されます。）
- タイマー 1 ～ 7 は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7 回別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、「一回だけ」のタイマーのみが作動し、他に設定したタイマーは作動しません。
- タイマー 1 ～ 7 が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。
- 「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。）

おはようタイマーで外部入力を使用する場合には

- あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。

おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は

- 電源が入ってしばらくは映像が出力されません。
- サンライズの動作中に操作すると、設定値に従った明るさと操作時点の音量になります。
- 10 分後に画面が最も明るくなりますが、すぐに通常使用状態に戻ります。

お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は

- 「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。

入力を「時計」にしている場合は

- アラーム音を停止すると、最後に視聴していた入力の音声に切り換わります。

ヘッドホンを挿している場合は

- ヘッドホンを挿しているときでも、おはようタイマーで起動した際にはスピーカーからも音が出ます。途中で何か操作をすると、通常のヘッドホン出力に戻ります。

外部機器を接続して使う

BD プレーヤーやゲーム機などの画面に切り換える

- テレビ放送の画面から HDMI 入力の画面に切り換えると、BD や DVD、ゲーム機などの映像が見られるようになります。

灰色で表示した手順は BD プレーヤーなどの外部機器の操作です。

1 BDプレーヤーなどを本機に接続し、電源を入れる

2 再生したいディスクなどをセットする

3 入力切換メニューを表示する

入力切換 ○ を押す

- 表示中に次の操作を行います。

4 繰り返し押し、機器を接続した入力名を選ぶ

入力切換 ○ を押す

- 上下カーソルボタンでも選択できます。

（例）本機の入力 1 に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」を選ぶ

チャンネル 入力切換
×××　×××
HDD　入力切換　地上D　BS　CS
テレビ
入力1　切換できます
入力2　切換できます
入力3　切換できます

選べる入力について

- 入力 4 は、ビデオ機器が接続されているときのみ選択できます。

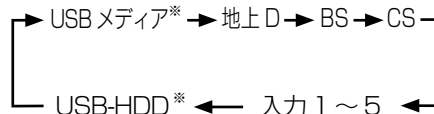
5 BDプレーヤーなどを再生する

- 再生映像が表示されます。
- 外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した BD プレーヤーなどの取扱説明書をご覧ください。

◇おしらせ◇

本体の入力／放送ボタンでも入力を切り換えられます。

- ボタンを押すたびに次の順で切り換わります。（放送の種類も切り換えられます。）

→ USB メディア※ → 地上 D → BS → CS → 入力 1 ～ 5 → USB-HDD※ →

※機器を接続していないときは、切り換えられません。

- 本体のボタンで入力を切り換えたときは、入力切換メニューは表示されません。

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

1080p(24Hz/30Hz/60Hz)、720p(30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA

- 対応している音声信号は AAC、リニア PCM、サンプリング周波数 48kHz、44.1kHz、32kHz です。

次のページに続く

入力４の映像が表示されないときは

- 入力４の映像が表示されない場合、以下の操作を行ってください。

1 入力切換ボタンを押して、表示されない入力（入力4）を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

3 上下カーソルボタンで、「入力選択」を選ぶ

4 上下カーソルボタンで、「D端子」または「ビデオ映像」を選ぶ

- 工場出荷時の設定は「自動」です。
- 「自動」の場合、D 端子が映像端子より優先されます。

入力切換の表示をお好みのなまえに変えるには

- 入力１～５に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。

1 入力切換ボタンを押して、表示を変更したい入力（入力1～5）を選ぶ

2 ホームメニューを表示して、「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

3 「入力表示」を選び、表示させたい名称を選ぶ

- お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。（文字を入力する⇒ **39** ページ）

使用していない入力をスキップするには

- 入力１～３、入力５を使用しないときは、地上 D、BS、CS を本体の入力切換からスキップするとき入力切換の際に飛ばすことができます。

1 ホームメニューから「設定」－「(機能切換)」－「外部端子設定」を選ぶ

2 「入力スキップ」を選ぶ

3 スキップしたい入力を選び、「する」に設定する

- 入力スキップを解除する場合は、「しない」を選んでください。

ゲーム機をつないで使うときは

- テレビゲームを楽しむときは、画面の明るさを抑えて目にやさしい映像にし、ゲームに最適なAVポジションの「ゲーム」（⇒ **30** ページ）にすることをお奨めします。
- ゲームのキーの操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更してください。

◇**おしらせ**◇

- 光線銃などを使って画面を標的にするようなゲームは使用できません。

ゲームのプレイ時間を 30 分ごとに表示する（ゲーム時間表示設定）

- ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、経過時間を知らせてくれる機能です。
- ホームメニューから「設定」－「（安心･省エネ）」－「ゲーム時間表示設定」で設定します。（入力 １ ～ ５ を選んでいるときに表示されます。）

項目	内容
する	• 外部入力でゲームモードに設定されているときに、ゲームを始めてから 30 分経過するたびに画面左下にメッセージが表示されます
しない	• 何も表示しません。

◆ **重　要** ◆

- 経過時間を表示させたいときは、ゲームを始める前に、ゲーム機をつないだ入力の AV ポジション（⇒ **30** ページ）を「ゲーム」にしてください。
- 外部入力視聴時のみ有効です。

ホームメニューの使いかた

- 本機の設定や操作を行うとき、その入り口となる画面のことを「ホームメニュー」と呼びます。
- ここでは、ホームメニューの見かたや使いかたについて説明します。

ホームメニューの画面例

ホームメニュー項目

ガイド表示

- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目

（ホームメニュー項目により、表示されない場合もあります。）

- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。

視聴中の画面／番組タイトル ／番組情報

- 視聴中の画面が縮小表示されます。
- 視聴中の番組タイトルが表示されます。
- 視聴中の番組情報が、テロップとして流れます。

機能別選択・設定項目

- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

ホームメニューの文字の大きさを変えるには

- ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。

1 ホームメニューから「設定」－「🧰(機能切換)」－「画面表示設定」を選ぶ

2 「文字サイズ」を選び、「標準」または「大きな文字」に設定する

ホームメニューの基本的な操作のしかた

1 ホームメニューを表示する

ホーム ○ を押す

2 ホームメニュー項目を選ぶ

で選び を押す

チャンネル　設定　ホーム

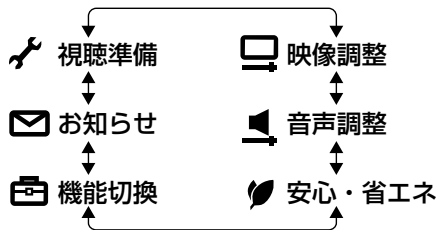
※ レコーダーがファミリンク接続されていないときは表示されません。

- リモコンのツールボタンを押して、直接「ツール」を表示することもできます。

3 機能選択メニューがある場合は、項目を選ぶ

で選ぶ

例:「設定」の場合

視聴準備　映像調整　お知らせ　音声調整　機能切換　安心・省エネ

- ホームメニュー項目を選び直したいときは、戻るボタンを押します。

4 機能別選択・設定項目を選ぶ

で選び 決定 を押す

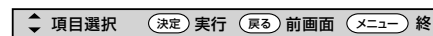
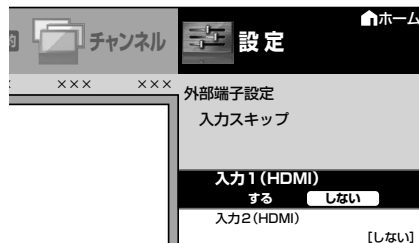
- 項目は、状況によって異なります。

▼「視聴準備」の機能別項目例

5 ガイド表示に従って、操作を進める

で選び 決定 を押す

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

▼設定画面の例

メニュー項目の一覧と使いかた

メニュー項目名／設定						内容
ホーム 設定 視聴準備	かんたん初期設定	接続確認			次へ	お買いあげ後、B-CAS カードを入れて、初めて電源を入れると「かんたん初期設定」の画面が表示されます。画面を見ながら操作・設定をしてください。受信できる地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。（⇒**「かんたん !! ガイド」（巻末）12** ページ）
		地域設定				
		郵便番号設定			次へ	
		チャンネル設定			する、しない	
		BS/CS アンテナ設定			する、しない、次へ、手動で再設定	
		完了確認			完了、再設定	
	テレビ放送設定	チャンネル設定	地上デジタル	地上デジタルー自動	する、しない	地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
				ー追加	する、しない	
				ー個別	各 CH の設定	
				ー選局順	モード1、モード2	
				チャンネル更新設定	自動、手動	
			BS デジタル		各 CH の設定	BS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
			CS デジタル		各 CH の設定	CS デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合に選択します。
		スキップ設定			地上デジタル	各放送のチャンネルスキップの設定を行います。選局時と番組表、それぞれのスキップ設定ができます。
					BS デジタル	
					CS デジタル	
		アンテナ設定	電源・受信強度表示		オート、入、切、受信状態一覧へ	デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒**「かんたん !! ガイド」（巻末）12** ページ）を行ってください。）
			周波数設定			
			信号テストー地上 D			
			信号テストー BS			
			信号テストー CS			
		地域設定			地域選択、郵便番号設定	地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。
	通信設定	LAN 設定	現在の設定(設定の確認)		変更する、初期化する	LAN の設定を行います。（⇒ **41** ～ **42** ページ）
			IP アドレス設定		する、しない	
			DNS 設定		する、しない	
			ネットワーク設定確認		テスト実行、完了	
		ネットサービス制限設定	デジタル放送接続制限		禁止する、禁止しない	双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。（⇒ **42** ページ）
			プロキシサーバー設定		利用する、利用しない、アドレス、ポート	プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定で入力してください。（⇒ **42** ページ）
	録画機器選択					リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。（⇒ **52**・**67** ページ） ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。
	USB-HDD設定	USB-HDD の選択				使用する USB ハードディスクを選択します。
		機器の初期化			する、しない	USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。（⇒ **48** ページ）
		機器の登録解除				本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクのいずれかを登録解除してください。（⇒ **49** ページ）
		機器の取りはずし				本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。（**49** ページ）
		長時間対応 HDD 録画モード			標準（DR)、長時間（TR)	本機で USB ハードディスクにデジタル放送を録画するときは、録画モード(録画時間)「標準(DR)」または「長時間(TR)」が選べます。録画モード「長時間（TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。
		省エネ設定			する、しない	USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。
		オートチャプター設定			しない、10 分、15 分、30 分	録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。 録画した番組にチャプターマークが記録されていると、再生したい場面を探すときに便利です。
		機器名の変更			する、しない	USB ハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各 USB ハードディスクに名前を付けられます。

次のページに続く

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 視聴準備	各種設定	暗証番号設定		する、しない	視聴の年齢制限など、各種の制限を設定できます。これらの制限を設定するときや変更するときに、暗証番号を使います。
		視聴年齢制限設定		XX 歳、無制限	年齢制限のある番組の視聴を 4 ～ 20 歳の範囲で制限します。この設定には、暗証番号設定（⇒**上記**）が必要です。
		ダウンロード設定		する、しない	本機のソフトウェア更新はダウンロードで行います。自動的に行う方法と、必要に応じ手動で行う方法があります。お買いあげ時は利便性を考えて自動になっています。
		電源ボタン設定			本体の電源ボタンで電源を切ったとき、電源オフになるか待機状態になるかの設定ができます。
				モード 1	本体の電源ボタンで電源を切っても、視聴予約やおはようタイマーは動作します。 リモコンの電源ボタンで電源を切った場合も同様です。
				モード 2	本体の電源ボタンで電源を切ると、電源がオフになり、視聴予約やおはようタイマーが中止されます。
		クイック起動設定			クイック起動設定とは、電源を入れてから画面が出るまでの時間を早くするための設定です。
				しない	クイック起動しません。
				する (常に有効)	電源待機状態からの電源立ち上がりが早くなり、番組表やホームメニューを早く表示させせることができます。「しない」のときより待機時の消費電力が増えます。
				する (2 時間のみ有効)	電源切後 2 時間のみクイック起動を有効にします。
		時計設定	時刻設定	年、月、日、時、分	デジタル放送が受信できないなど、内蔵時計の時刻が自動設定されない場合に、時刻設定をします。
			時刻表示	する、する (30 分ごと)、しない	時刻表示のしかたを選びます。
			時計タイプ	デジタル、アナログ	時刻表示するときの、時計のタイプを変えられます。
		リモコン番号設定	リモコン番号 1	する、しない	2 台の AQUOS を近くに設置している場合に、リモコンの操作で AQUOS が 2 台とも動作してしまうことがあります。このとき、リモコン番号の設定を変えると他の AQUOS の動作を防ぐことができます。
			リモコン番号 2	する、しない	
	Language（言語）			日本語、English	Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English. ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。
	個人情報初期化			全ての情報を消去、USB-HDD の情報を残して消去、しない	本機を譲渡したり廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行いこれらの情報を消去してください。 お客様が設定した情報内容（チャンネル設定、予約、各調整値、LAN 設定、暗証番号など）がすべて初期化されます。
ホーム 設定 映像調整	AV ポジション（画質切換）			標準、映画、ゲーム、PC、AV メモリー、フォト、ダイナミック、ダイナミック（固定）	映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。
	明るさセンサー（OPC）			切、入、入：表示あり	室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。
	明るさ			-16 ～ 0 ～ +16	画面をお好みの明るさに手動で調整します。（調整すると、上の項目の「明るさセンサー（OPC）」は「切」になります。）
	映像			0 ～ +40	映像の強弱を調整します。
	黒レベル			-30 ～ 0 ～ +30	画面を見やすい明るさに調整します。
	色の濃さ			-30 ～ 0 ～ +30	映像の色の濃さを調整します。
	色あい			-30 ～ 0 ～ +30	色を調整します。
	画質			-10 ～ 0 ～ +10	画面をお好みの画質に調整します。 AQUOS 純モード対応レコーダーが接続されているとき、レコーダーによっては、番組表示時やモードによって選択できない場合があります。

メニュー項目名／設定					内容
ホーム 設定 映像調整	プロ設定	カラーマネージメント - 色相 カラーマネージメント - 彩度 カラーマネージメント - 明度	R	-30 ～ 0 ～ +30	色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。
			Y	-30 ～ 0 ～ +30	
			G	-30 ～ 0 ～ +30	
			C	-30 ～ 0 ～ +30	
			B	-30 ～ 0 ～ +30	
			M	-30 ～ 0 ～ +30	
			リセット		
		色温度	色温度	高、中、低	青みがかった白(色温度:高) にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。
		アクティブコントラスト		する、しない	シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。
		ガンマ設定		-2 ～ 0 ～ +2	映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。
		フィルムモード		する、しない	フィルム収録のDVDなど、元信号が 24 コマ／秒の映像を高画質で再生するための設定です。
		デジタル NR		強、中、弱、しない	映像に乗ったノイズを減らし、すっきりさせる機能です。
		モノクロ		する、しない	白黒映像にします。
		明るさセンサー（OPC）設定	最大値設定	-16 ～ 0 ～ +16	明るさセンサー（OPC）「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。
			最小値設定	-16 ～ 0 ～ +16	
	リセット			する、しない	映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。
ホーム 設定 音声調整	オートボリューム				チャンネルを切り換えたときやコマーシャルに切り換わったときなど極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。撮影した映像や他の機器で録画した番組の音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。
				強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
				中	音量変化を中くらいに抑えます。
				弱	音量変化をわずかに抑えます。
				切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。
	高音			-15 ～ 0 ～ +15	高音を調整できます。
	低音			-15 ～ 0 ～ +15	低音を調整できます。
	バランス			左 30 ～中央～右 30	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。
	サラウンド			自動、入、切	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。
	リセット			する、しない	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。（「声の聞きやすさ」は除きます。）
	声の聞きやすさ				ドラマや映画のセリフが聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。
				標準	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
				マイルド	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
				くっきり	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
				しない	この機能を無効にします。

次のページに続く

メニュー項目名／設定				内容
設定 ホーム 安心・省エネ	照明オフ連動	照明オフ連動	解除、設定	照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。
		電源切（待機状態）移行時間	0 分、15 分、30 分、60 分	部屋の明るさがある程度の暗さに変わってから、画面の明るさと音量を徐々にさげ、何分後に本機の電源を「切」にするかを設定します。
		表示設定	アイコン＋文字、文字のみ	画面にアイコンとメッセージを表示するか、メッセージのみ表示するかを選択します。
	セーブモード設定	セーブモード映像オフ	する、しない	セーブモードボタンを押すと映像が消えるように設定できます。（音声は消えません）
		セーブモード画質	する	画面の明るさを最小にして消費電力を抑えつつ、見やすい画質にします。
			しない	画面の明るさを控えめ（最小にはしない）にして、消費電力を抑えます。
		セーブモード無信号オフ	する	セーブモードにすると、「無信号オフ」（⇒**下記**）が「する」に自動で設定されます。
			しない	「無信号オフ」（⇒**下記**）の設定に従います。
		セーブモード無操作オフ（3 時間）	する	セーブモードにすると、「無操作オフ」（⇒**下記**）が「3 時間」に自動で設定されます。
			しない	「無操作オフ」（⇒ **下記**）の設定に従います。
		一日の累計視聴時間表示	する	視聴中に一定の時間が経過すると画面に経過時間を表示するように設定できます。
			しない	
	映像オフ		する、しない	映像を消して音声だけを聞くことができます。
	無信号オフ		する、しない	放送終了後など、番組が映らない状態になると、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。
	無操作オフ		しない、30 分、1 時間、2 時間、3 時間	本機を操作しない状態が続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。
	ゲーム時間表示設定		する、しない	ゲームに夢中で時間を忘れてしまうことのないように、プレイ時間を 30 分ごとに表示する機能です。
	地デジ限定設定		有効、無効	地上デジタル放送だけを受信している場合に便利な設定です。 「地デジ限定設定」を「有効」に設定すると、誤って地上デジタル放送以外の放送に切り換えてしまうことを防ぎます。（リモコンの「BS」「CS」ボタンを押しても、放送切換ができなくなります。） 「地デジ限定設定」が「無効」になっている場合は、「BS」「CS」を誤って押すと、「地上 D」を押すまでは「1」～「12」のチャンネルボタンなどを押しても地上デジタル放送が見られません。
	チャイルドロック		しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック	リモコンまたは本体の操作をロックするよう設定できます。
設定 ホーム 機能切換	視聴操作		番組情報	デジタル放送の番組視聴中に、番組情報が表示できます。
			画面サイズ	放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
			テレビ / ラジオ / データ	複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
			録画状態	録画場所、録画番組詳細、録画時間·カウンター、録画モード、録画可能時間などを 10 秒程度表示します。
			字幕操作	字幕の表示方式や表示言語を変更します。
			静止	画面を静止させます。
			3桁入力	3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	ファミリンク設定	ファミリンク制御（連動）	する、しない	ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。
		連動起動設定	する、しない	ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。
		ファミリンクレコーダー選択		リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。 ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

メニュー項目名／設定					内容
設定（ホーム／機能切換）	ファミリンク設定	選局キー	入力１	自動、する、しない	「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。(⇒ **66** ～ **67** ページ) 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。
			入力２	自動、する、しない	
			入力３	自動、する、しない	
	おはようタイマー	おはようタイマー		解除、設定	指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。(ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。) おはようタイマーを設定すると、本体の TIMER/REC (タイマー／録画) ランプ (⇒ **9** ページ) が橙色に点灯します。 異なる設定のタイマーを７種類までセットできます。 (⇒ **23** ページ)
		曜日		毎日、月ー土、月ー金、毎週日曜～毎週土曜、１回だけ	
		時刻 (時)		おはようタイマー時刻設定　時	
		時刻 (分)		おはようタイマー時刻設定　分	
		入力		テレビ、入力１～入力5、時計	
		CH			
		音量		０～100	
		アラーム音		なし、ベル、電子音、鳩時計、小鳥	
		モード		通常、スヌーズ、サンライズ、サンライズ (アイコン)	
	おやすみタイマー	おやすみタイマー		解除、設定	指定した時刻に、自動的に電源が切れるように設定できます。(⇒ **22** ページ)
		時刻 (時)		おやすみタイマー時刻設定　時	
		時刻 (分)		おやすみタイマー時刻設定　分	
		モード		通常、サンセット	
		表示設定		アイコン＋文字、文字のみ	
	オフタイマー	変更する		切、この番組の最後まで (次の番組の最後まで)、０時間 30 分、１時間 00 分、１時間 30 分、２時間 00 分、２時間 30 分	指定した時間後に電源を切ります。(⇒ **22** ページ)
		変更しない			
	外部端子設定	ヘッドホン			ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。
			モード1		ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
			モード2		ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方とが一緒に楽しむときに便利な設定です。
		パソコン入力	入力解像度	自動、1024 × 768、1360 × 768	アナログ接続の場合は、一部の入力解像度 (768 ライン) において自動判別できない信号があるため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。 パソコン (PC) の解像度が「1024 × 768」または「1360 × 768」の場合に必要な設定です。
			自動同期調整	する、しない	入力５にパソコン (PC) を接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。
			画面調整		動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。手動で画面を調整してください。
				水平位置	画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
				垂直位置	画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
				クロック周波数	縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
				クロック位相	文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
				リセット	工場出荷時の設定に戻します。
		入力音声選択			入力３ (HDMI) にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合や、入力５ (アナログ RGB) にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合の設定です。
			HDMI のみ		HDMI ケーブルを使って入力３(HDMI) に接続し、HDMI から音声が入力される場合に選びます。
			HDMI+ 音声入力端子		HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って入力３ (HDMI) に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合に選びます。
			アナログ RGB のみ		アナログ RGB ケーブルを使って入力５ (PC) に接続し、音声を使用しない場合に選びます。
			アナログ RGB+ 音声入力端子		アナログ RGB ケーブルを使って入力５ (PC) に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合に選びます。

次のページに続く

ホーム
設定
機能切換

メニュー項目名／設定				内容
外部端子設定	入力スキップ	入力１（HDMI）	する、しない	入力１～３、入力５、地上D、BS、CSを使用しないときは、入力切換の際に飛ばすことができます。
		入力２（HDMI）	する、しない	
		入力３（HDMI）	する、しない	
		入力５（PC）	する、しない	
		地上デジタル（本体）	する、しない	
		BSデジタル（本体）	する、しない	
		CSデジタル（本体）	する、しない	
	入力選択		自動、D端子、ビデオ映像	入力４の映像が表示されない場合、「D端子」または「ビデオ映像」を選びます。
	入力表示		（選択入力で内容変化）ユーザー設定：編集	入力１～４に接続している機器に合わせ、入力切換メニューなどに表示される機器の名称を変更できます。
	HDMIコンテンツタイプ連動		する、しない	HDMIケーブルを使って本機と接続した機器から、映画、ゲーム、フォト、グラフィックのコンテンツ情報が送られたときに、受け取ったコンテンツ情報に合わせて、本機が自動的にAVポジションを切り換えます。
画面表示設定	キャラクター		する、しない	時刻表示やホームメニューなどの画面に、キャラクターを表示します。
	文字サイズ		標準、大きな文字	ホームメニューに表示される文字の大きさを変更できます。
	表示色		グレー系、ブルー系、レッド系、グリーン系	ホームメニュー画面、番組表、裏番組一覧（ホームメニューの「チャンネル」）、番組情報、チャンネル表示画面、入力切換画面、画面サイズメニュー画面などの表示色を変更できます。
	選局効果		する、しない	選局したときに動きの効果がつくよう設定できます。
	番組名表示		する、しない	選局したときに、番組タイトルや放送時間が画面に表示されます。 選局したチャンネルで次の番組が２分以内に始まる場合は、次の番組名と時間も表示されます。
	文字スーパー表示		する、しない	デジタル放送では、災害が発生すると同時に文字情報（文字スーパー）を表示する場合があります。 文字スーパーを表示させるかどうかを設定できます。
	画面位置	水平位置	−６～０～＋６	画像が右寄りまたは左寄りの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		垂直位置	−７～０～＋７	画像が上がりすぎまたは下がりすぎの状態にあるときに、左右カーソルボタンで調整します。
		リセット		工場出荷時の状態に戻します。
	オートワイド			オリジナル映像の種類によって、映像を最適な画面サイズで表示することができます。 デジタル放送視聴時は選択できません。
		映像判別	する、しない	入力１～４から入力された映像の上下に黒い幕があるとき、画面サイズを自動的に「シネマ」にします。
		D端子識別	する、しない	入力４のD映像端子とビデオ機器との接続に使うケーブルの種類により、画面サイズの判定方法を変えます。D端子ケーブルのときは「する」にすると自動的に最適な画面サイズになります。D-コンポーネント変換ケーブルのときはD端子識別が動作しないので「しない」に設定します。
		HDMI識別	する、しない	入力１～３から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズにします。

メニュー項目名／設定			内容
ホーム 設定 お知らせ	受信機レポート		予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）や B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	放送局メッセージ		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **30** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。
	ボード（CS デジタル）	CS1、CS2	現在の放送で送られている、CS 各ネットワークの掲示板（ボード情報）のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。 ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。 録画予約実行中は選べません。
	B-CAS カード	実行	受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客様の契約確認のため B-CAS カードの番号を表示するものです。 カード識別…メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 桁の数字からなります。 カード ID……カード固有の番号です。
	システム動作テスト	テスト実行	B-CAS カードが正しく挿入できているかをテストします。
	ソフトウェアの更新		USB メモリーを使用してソフトウェアの更新ができます。
ホーム ツール ツール	再生機器選択		本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。（⇒ **72** ページ）
	字幕操作		字幕の表示方式や表示言語を変更します。
	映像切換		複数の映像がある番組をご覧のとき、映像を切り換えて楽しめます。
	テレビ / ラジオ / データ		複数のプラットフォームを受信している場合に、プラットフォームを切り換えられます。
	おはようタイマー		指定した時刻に、自動的に電源が入るように設定できます。（ヘッドホンをつないでいても、本体のスピーカーから音声が出ます。） おはようタイマーを設定すると、本体の TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **9** ページ）が橙色に点灯します。 異なる設定のタイマーを 7 種類までセットできます。（⇒ **23** ページ）
	3 桁入力		3 桁のチャンネル番号を入力して選局します。
	画面サイズ		放送によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。「画面サイズ」の設定で、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。
	USB-HDD 設定		USB ハードディスクの設定をします。（⇒ **29** ページ）
	お知らせ（受信機レポート）		予約の失敗や変更に関するレポート（自動で電源オフになった理由など）や B-CAS カードに関する情報など、受信機に関係したレポートを表示します。
	お知らせ（放送局メッセージ）		受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。 ダウンロード設定（⇒ **30** ページ）を「しない」に設定した場合、放送局メッセージに「ダウンロードのお知らせ」が届いているときに、手動でダウンロードできます。

次のページに続く

<table>
<tr><th colspan="5">メニュー項目名／設定</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="13">ホーム
リンク操作
リンク操作</td><td colspan="4">レコーダー電源入／切</td><td>本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">ファミリンクパネル</td><td>ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">録画リストから再生</td><td>録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生します。（⇒ 60 ページ）</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタートメニュー表示</td><td>AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。
表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。</td></tr>
<tr><td colspan="4">機器のメディア切換</td><td>必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">リンク予約（録画予約）</td><td>AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約します。（⇒ 70 ページ）</td></tr>
<tr><td colspan="4">ファミリンク機器リスト</td><td>複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのとき、視聴する HDMI 機器を選びます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ファミリンク設定</td><td colspan="2">ファミリンク制御(連動)</td><td>する、しない</td><td>ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合、「しない」に設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">連動起動設定</td><td>する、しない</td><td>ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ファミリンクレコーダー選択</td><td>リモコンの録画ボタンを押したときに録画するファミリンク機器を選ぶ設定です。
ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択の上、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選局キー</td><td>入力１</td><td>自動、する、しない</td><td rowspan="3">「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、AQUOS レコーダーの操作が行えます。（⇒ 66 ～ 67 ページ）
「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。</td></tr>
<tr><td>入力２</td><td>自動、する、しない</td></tr>
<tr><td>入力３</td><td>自動、する、しない</td></tr>
</table>

メニュー項目に関するおしらせ

メニュー項目名				おしらせ
ホーム 設定 視聴準備	各種設定	暗証番号設定		**暗証番号を忘れたときは** •個人情報の初期化（⇒ **30** ページ）が必要です。個人情報の初期化を行うと、暗証番号以外の情報も消去されます。暗証番号はメモなどをして忘れないようにしてください。
		視聴年齢制限設定		•コンテンツを視聴するためには、視聴年齢制限設定が必要です。視聴年齢制限を「20 歳」または「無制限」に設定すると、番組表などに成人向けチャンネルが表示されます。
		電源ボタン設定		•リモコンの電源ボタンで電源を切ったときは、電源ボタン設定に関わらず待機状態になり、視聴予約やおはようタイマーは継続されます。
		クイック起動設定		•ダウンロード（本機のソフトウェアの受信）時は開始 5 分前になると一時的にクイック起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
		時計設定	時刻設定	•時刻が自動設定されている場合、「時刻設定」は選べません。 •設定できる時刻は 12 時間表示です。 •設定できる日付は、2035 年 12 月 31 日まででです。 •画面表示ボタンを押すと、現在時刻が確認できます。
			時計タイプ	•「時計タイプ」を「アナログ」に設定していても、USB で視聴しているときは、「デジタル」の時計が表示されます。 •USB で視聴しているときは、「時計タイプ」の設定ができません。
ホーム 設定 映像調整				•セーブモード（⇒ **32** ページ）に設定されている場合は、映像調整ができません。 •映像調整をしたい場合は、セーブモードボタンを押し、セーブモードの設定を解除してください。 •AV ポジションが「ダイナミック（固定）」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。
	AV ポジション（画質切換）			•入力によっては選択できない AV ポジションがあります。 •接続する機器によっては、「メニュー項目の一覧と使いかた」（⇒ **30** ページ）に記載されていない AV ポジションが表示される場合があります。
	プロ設定	アクティブコントラスト※5		※1　AVポジションが「ゲーム」のときは選択できません。 ※2　AVポジションが「PC」のときは選択できません。 ※3　入力信号がプログレッシブ（480p、720p、1080p）のときは選択できません。 ※4　入力信号が PC 信号のときは選択できません。 ※5　USB メディアのときは選択できません。 ※6　入力信号の種類や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。
		フィルムモード※1※3※4※5※6		
		デジタル NR※2※5※6		
ホーム 設定 音声調整				**次の場合は音声調整ができません** •AV ポジションを「ダイナミック（固定）」にしているとき •ヘッドホンを接続しているとき（「ヘッドホン」設定が「モード 2」のときを除く）
	オートボリューム			•声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。 •この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーに対しては働きません。 •放送や BD/DVD などのコンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。
	声の聞きやすさ			•この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。
ホーム 設定 安心・省エネ	照明オフ連動			•明るさセンサーの前にものを置いたりすると、部屋の明るさを感知できなくなります。
	セーブモード設定			•セーブモードに設定されている場合は、映像調整ができません。
	映像オフ			•操作により映像が復帰したり、一度電源を切ったりすると、自動的に設定が「しない」になります。 **映像を復帰させたいときは** •選局ボタンを押すなど、「音量調整」、「消音」、「音声切換」以外の操作をしてください。
	無信号オフ			•放送が終了しても、他局の放送やその他の電波が混入するときや、ブルーバックなどのビデオ信号が入力されているときは、正しく動作しない場合があります。 •放送電波の状態などにより、番組を見ているときに無信号オフ機能が働いて電源が切れる場合は、設定を「しない」にしてください。

次のページに続く

メニュー項目名			おしらせ
ホーム 設定 安心・省エネ	地デジ限定設定		**「地デジ限定設定」を「有効」に設定した場合は…** •「BS」「CS」ボタンでの操作が制限されます。 •ホームメニューからのチャンネル選局操作が制限されます。 •ホームメニューや番組表などの文字サイズが「大きな文字」に固定されます。 •BS デジタル放送や CS デジタル放送の番組表の表示が制限されます。 •制限される放送の予約が削除されます。 •おはようタイマーの入力設定が「BS」または「CS」に設定されていても、地上デジタル放送で電源が入ります。
	チャイルドロック		•誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン（⇒ **10** ページ）で操作し、ロックを解除してください。
ホーム 設定 機能切換	視聴操作	画面サイズ	•USB メモリーの画像の表示中は、画面サイズの切り換えはできません。 •字幕表示の「表示方式」（⇒ **19** ページ）を「アウトスクリーン字幕上」または「アウトスクリーン字幕下」にした場合、画面サイズの切り換えはできません。画面サイズを切り換えたい場合は、「表示方式」を「表示しない」または「オンスクリーン」にする必要があります。 •1035i は、本機の画面表示（チャンネルサイン）では「1080i」と表示されます。 •ハイビジョン放送など、画面サイズ「フル 1」でご覧になっているときに、上部にわずかな黒帯が表示される場合は、「フル 2」でご覧ください。
	おはようタイマー		**おはようタイマーを「設定」にすると** •「解除」にするまで、設定した曜日に繰り返しおはようタイマーが働きます。 •おはようタイマーで電源が入ってから2時間操作をしない場合は、電源が切れます。（電源が切れる5分前になると画面左下にメッセージが表示されます。） •タイマー 1 ～ 7 は、日時の早いものが優先して作動し、同じ曜日であれば、7 回別々の時間に別々のモードで作動させることができます。ただし、「おはようタイマー」が「設定」かつ「曜日」が「一回だけ」のタイマーがあるとき、他のタイマーは作動しません。 •タイマー 1 ～ 7 が同じ時間のときは、より番号が若いタイマーの設定が優先されます。 •「曜日」が「1 回だけ」の設定で同時刻のタイマーがある場合は、タイマー番号の小さいものだけが実行されます。（他の「1 回だけ」のタイマーは、「解除」になりません。） **おはようタイマーで外部入力を使用する場合には** •あらかじめ外部入力機器の電源を入れ、視聴できる状態にしておいてください。外部入力機器が視聴できる状態になっていなければ映像や音声は出ませんのでご注意ください。 **おはようタイマーのモードが「サンライズ」または「サンライズ（アイコン）」の場合は** •電源が入ってしばらくは映像が出力されません。 **お出かけになるときなど、おはようタイマーで自動的に電源を入れたくない場合は** •「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切るか、おはようタイマーを解除してください。
	おやすみタイマー		•無操作オフや無信号オフ（⇒ **32** ページ）が設定されている場合は、一番早く切れるタイマーで電源が切れます。 •おやすみタイマーのモードの設定が「サンセット」の状態で、「時刻（時）」「時刻（分）」を 10 分以内の時刻に設定した場合、徐々に画面を暗くし、音量を下げる動作は行いません。 •おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定すると、本機が電源待機中のときはおはようタイマーが作動し、本機が動作中のときはおやすみタイマーが作動します。 •テレビに全画面表示している番組表の操作中や、一部のホームメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。 •本機の内蔵時計が正しくないときは、「時刻設定」（⇒ **30** ページ）が必要です。
	オフタイマー		•「この番組の最後まで」は、番組延長には対応していません。 •「この番組の最後まで」は、オフタイマーを設定したときの番組終了時刻で設定されます。 •設定後にチャンネルを切り換えても終了時刻は変更されません。 •番組終了の約 2 分前を過ぎてからオフタイマーの設定をした場合は、「この番組の最後まで」の代わりに「次の番組の最後まで」が表示されます。 •番組の終了時刻の情報が取得できない場合は、「この番組の最後まで」または「次の番組の最後まで」は選べません。
	外部端子設定	ヘッドホン	**「モード 2」の音量調整について** •スピーカーの音量調整はリモコンで行います。 •ヘッドホンの音量調整は本体の音量（＋／－）ボタンで行います。 •リモコンの消音ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は「0」になりません。
	画面表示設定	番組名表示	•2 画面で PinP 表示（⇒ **16** ページ）しているときは、子画面に次番組は表示されません。
		文字スーパー表示	•「しない」に設定しても、放送局が強制的に表示する文字スーパーがあります。

［リモコンで操作］ お知らせタイマー	①リモコンのお知らせタイマーボタンを押す ②リモコンの左右カーソルボタンで「分」または「秒」の欄を選び、数字ボタンで時間を入力する •「00 分 01 秒」～「99 分 59 秒」の間で設定できます。 ③リモコンの上下左右カーソルボタンで「開始」を選び、決定ボタンを押す •残り時間が「00 分 00 秒」になると電子音が 1 分間鳴り続けます。 •カウントダウン中に一時停止、解除、タイマー時間の変更をしたいときは、お知らせタイマーボタンを押して操作します。 **おしらせ** •消音中は、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音が鳴りません。 **次のようなときは、電子音が止まります。** •リモコンのボタンを押したとき •視聴予約、録画予約が開始されたとき •本機の電源を「切」にしたとき **アラーム音について** •USB メモリーの写真を再生しているときは、残り時間が「00 分 00 秒」になっても電子音を鳴らさずに画面の表示だけでお知らせすることがあります。

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

・本機の操作で USB ハードディスクの機器名の変更、番組表の検索等文字の入力が必要なときは、画面に表示されるソフトウェアキーボードを使って入力します。

「お早うございます」と入力する手順例

1 で選び 決定 を押す

文字を入力できる欄を選ぶ

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 1 を押す

「お」を入力する

・1 を5回押します。
押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます。

入力中の文字に応じた予測変換候補が表示されます。
画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。

予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合

・次の手順で文字を入力します。
①下カーソルボタンを押す
②上下左右カーソルボタンで入力したい文字を選び、決定ボタンを押す

入力中に文字を消去する場合

・左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンを押します。

3 6 を押す

「は」を入力する

・6 を1回押します。

4

同じようにして「よ」、「う」を入力する

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

・12 を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

・4 を6回押すと「っ」が入力されます。
「ぉ」の場合は、1 を10回押します。

スペースを入力するときは

・11 を6回押します。

漢字やカタカナに変換する

5 青 を2回押す

入力欄の文字を変換する

・変換候補が表示されます。
・左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

おはよう
おはよう
お早う
オハヨウ

6 で選び 決定 を押す

入力したい文字を選ぶ

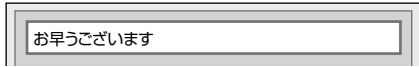
・ここでは「お早う」を選びます。
・次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

次のページに続く

7 続けて文字を入力する

1 〜 12 で入力

- ここでは「ございます」と入力します。

お早うございます

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、決定 を押します。

8 入力中の文字を確定する

黄 を押す

- **39** ページの手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

◇**おしらせ**◇

文字入力の制限について

- ホームメニューから「設定」ー「(視聴準備)」ー「通信設定」ー「LAN 設定」で LAN 設定の文字入力をするときは、予測変換されません。
- 1 つの入力欄に入力できる文字数は全角で 128 文字まで、半角で 256 文字までです。
- 文字が入力されている欄を選んだときは、入力済みの文字が入力欄に表示されます。
  このとき、全角で 128 文字（半角の場合は 256 文字）を超える文字は削除されます。

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「3」を押して「履歴削除」を選ぶ
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

①緑ボタンを繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ
②数字ボタン（チャンネルボタン）の「4」を押して「予測 OFF」を選ぶ
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

改行するとき

1 改行したい箇所を選ぶ

2 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

文字種： あ ア A 1 記 区 機能

1 全文クリア	2 改行	3 履歴削除
4 予測OFF	5 –––	6 –––
7 –––	8 –––	9 –––
10 –––	11 –––	12 –––

予測 カーソル移動
終了 入力取消 戻る 文字消去
青 漢字変換 赤 逆順 緑 文字種変更 黄 完了

3 「改行」を選ぶ

2 を押す

- 「↵」が入力されます。黄 を押して文字を確定すると、「↵」の部分で改行されます。

◇**おしらせ**◇

- 入力欄によっては、改行できない場合があります。また、改行以降の文字が消去される場合があります。
- 改行マークは、全角 1 文字として数えられます。

入力中の文字を全て消去するとき

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ

緑 を押す

2 「全文クリア」を選ぶ

1 を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、緑 を押して、文字種を選んでください。

双方向通信を楽しむために

- 本機で双方向通信をお楽しみになるには、LAN 回線が必要です。
- 本機には、電話回線端子がありませんので、接続に電話回線が必要となる一部のサービスはご利用いただけません。

LAN 接続と設定のながれ

LAN に接続する（⇒**下記**）

▼

LAN の設定を変更する
（⇒ **42** ページ）

- 必要に応じてプロキシサーバーの設定ができます。
- 必要に応じて双方向サービスの利用を制限できます。

完了

◇**おしらせ**◇

IP アドレスについて

- TCP/IP ネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

ネットマスクについて

- TCP/IP ネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

ゲートウェイについて

- 異なるネットワークを相互に通信可能にする機器の識別番号です。

プロバイダーから発行された資料で、DNS のアドレスが見つからないとき

- DNS は、ドメインネームサーバーやネームサーバーと記載される場合もあります。

LAN に接続する

- LAN の設定およびルーターなどの購入は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店や ADSL 事業者などにご相談ください。

ブロードバンドルーターに接続するときは

ご家庭にブロードバンド環境がある場合は、本機の LAN 端子と接続できます。
通信端末機器認定品の市販のルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

ブロードバンドルーター（市販品）

LAN端子へ

LAN(10/100)

LANケーブル（市販品）
10BASE-T/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。また、LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルがあり、接続する機器の種類によって、使用するものが異なります。
購入する前にブロードバンドルーターの取扱説明書をご覧ください。

LAN端子
(10BASE-T/
100BASE-TX)

◇**おしらせ**◇

- 本機には電話回線端子はありません。そのため、電話回線による双方向通信は利用できません。
- 詳しくは各有料放送の放送局（WOWOW やスターチャンネルなど）までお問い合わせください。（⇒ **86** ページ）

LAN 設定を変更する

・IP アドレスなどを手動で設定する場合は、次の手順で設定を変更します。

1 ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「通信設定」を選ぶ

2 「LAN設定」を選ぶ

3 「変更する」を選ぶ

IP アドレスなどを入力する場合

・「しない」を選び、「IP アドレスなどの入力のしかた」（⇒**下記**）をご覧になり、ブロードバンドルーターの設定に合わせて、IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイを入力します。

入力する必要がない場合

・「する」を選びます。

4 「次へ」で決定する

DNS の IP アドレスなどを入力する場合

・「しない」を選び、プロバイダーから発行された資料をもとに、DNS の IP アドレスを入力し、「次へ」で決定ボタンを押します。
・セカンダリの指定がない場合は、空欄のまま入力を完了してください。

入力する必要がない場合

・「する」を選び、決定ボタンを押したあと「次へ」で決定ボタンを押します。

5 「完了」で決定する

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

IP アドレスなどの入力のしかた

1 入力欄を選ぶ

・ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 数字ボタンで、文字を入力する

・「0」を入力する場合は 10/0 を押します。

3 黄ボタンを押し、入力した文字を確定する

・ソフトウェアキーボード上の文字が入力欄に入力されます。

IPアドレス 192・---・---・---

プロキシ設定機能を利用する

・プロバイダーなどから指定がある場合は、プロキシサーバー設定をしてください。

◇**おしらせ**◇

・この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **30** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「通信設定」を選ぶ

2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

3 「プロキシサーバー設定」を選ぶ

4 暗証番号を入力する

5 「変更する」を選ぶ

6 「する」を選ぶ

7 プロキシサーバーのアドレスとポート番号を入力する

・各欄を選ぶとソフトウェアキーボード（⇒ **39** ページ）が表示されます。
・文字を入力し 黄 で確定します。

8 「完了」で決定する

・操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

双方向サービスの利用を制限する

・双方向サービスを行うと回線の利用料金がかかる場合がありますので、デジタル放送の接続を禁止したいときに便利な設定です。

◇**おしらせ**◇

・この設定には暗証番号の入力が必要です。暗証番号の設定（⇒ **30** ページ）をしていない場合は、先に暗証番号を設定してください。

1 ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「通信設定」を選ぶ

2 「ネットサービス制限設定」を選ぶ

3 「デジタル放送接続制限」を選ぶ

4 暗証番号を入力する

5 「する」を選ぶ

・デジタル放送の双方向通信の、禁止する／禁止しないを設定できます。

USB メモリーの写真を楽しむ

- USB メモリーに保存された写真を楽しむことができます。

本機で使える USB メモリーとデータ形式について

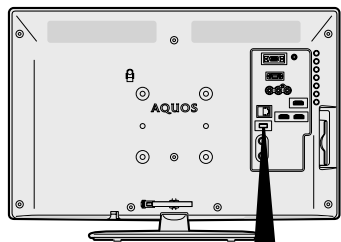
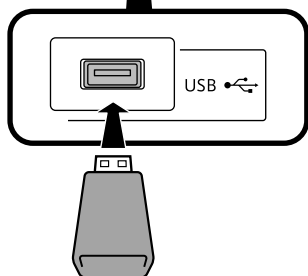
USB メモリー機器	USB メモリー、USB カードリーダー（マスストレージクラス）
ファイルシステム	FAT、FAT32
写真ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)

◇**おしらせ**◇

- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名は表示されないことがあります。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- カードリーダーを使う場合は、必ず先にメモリーカードをカードリーダーに挿入し、その後カードリーダーを本機に接続してください。
- USB メモリーを本機の USB メモリー端子に接続する場合、USB 延長ケーブルは使わないでください。USB 延長ケーブルを使うと、本機が正しく機能しないことがあります。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っているファイルは、正しく再生されないことがあります。
- 推奨 USB ハブ以外を使って接続した場合、操作は保証されません。
- 「選局効果」(⇒ **34** ページ）が「する」に設定されている場合、USB メディア画面から「写真を見る」を選択したとき、USB メディア画面に戻るときに動きの効果が付きます。
- 録画予約の準備中、USB-HDD の録画実行中は、USB 機能は利用できません。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換えができません。

次のページに続く

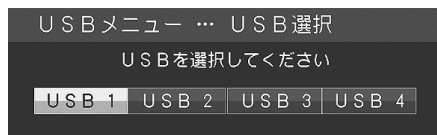
1 **写真が記録されたUSBメモリーを、本機のUSB端子に接続する**

本体背面

- USB メディア画面が表示されます。

2 **USBメディア画面が表示されていることを確認する**

- USB メディア画面が表示されないときは、入力切換ボタンで入力切換メニューを表示し、入力切換ボタンまたは上下カーソルボタンで「USB メディア」を選びます。手順**4**に進みます。
- カードリーダーなどを使って複数のメモリーカードをつないでいる場合は、使用するメモリーカードを選ぶ必要があります。手順 **3** に進みます。

3 **赤ボタンを押し、カーソルボタンで、再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ**

- 最大 16 個の USB が表示されます。
- 本機の電源を「切」にしたあとでもう一度電源を「入」にしたとき、カードリーダーに割り当てられた各メモリーカードのスロットの番号が変わることがあります。

4 **「写真を見る」を選ぶ**

5 **再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ**

6 **サムネイル（写真一覧画面）から、再生したい写真を選ぶ**

サムネイル表示中の操作について

ボタン	説明
決定	• 選んだ写真を表示します。 • 「個別の写真を表示中の操作について」（⇒ **45** ページ）をご覧ください。
（カーソルボタン）	• 写真や、希望の項目を選びます。
戻る	• 一つ前の手順に戻ります。
青	• スライドショーを開始します。 • 「スライドショー表示中の操作について」（⇒ **45** ページ）をご覧ください。
赤	• USB メニュー画面を表示します。 • 「スライドショーの設定をする」（⇒ **45** ページ）をご覧ください。
黄	• スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇**おしらせ**◇

- 無効な写真ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ※、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。

※EXIF ファイル形式の写真のみ、撮影データを表示できます。

個別の写真を表示中の操作について

ボタン	説明
(方向ボタン)	• 同じフォルダ内の前の写真に戻ったり、次の写真に進んだりします。
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
緑	• 写真を左に 90°回転します。
黄	• 写真を右に 90°回転します。

◇**おしらせ**◇
- 写真の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

スライドショー表示中の操作について

- サムネイル選択画面に表示される写真は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
戻る	• サムネイル選択画面に戻ります。
青	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
赤	• USB メニュー画面を表示します。

◇**おしらせ**◇
- スライドショーは、戻るを押すまで続きます。

スライドショーの設定をする

1 **サムネイル表示中に、赤ボタンを押す**
- USB メニュー画面が表示されます。

2 **項目を選び、設定する**

設定のための項目

項目	内容
スライドショー間隔	• 次の写真に切り換わる時間を変えられます。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー効果	• 写真が切り換わるときに動きの効果を付けられます。「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」から選びます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全選択	• 表示される画像を設定します。フォルダ内のすべての画像にチェックマークが付きます。 • 設定後に「青」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全解除	• 画像の選択を解除します。フォルダ内のすべての画像からチェックマークが外れます。

USB ハードディスク（市販品）の準備をする

・USB ハードディスクを本機につないで、デジタル放送の録画・再生が楽しめます。

USB ハードディスクを使ってできること

○ 地上デジタル放送の録画と再生
○ BS デジタル放送の録画と再生
○ 110 度 CS デジタル放送の録画と再生

USB ハードディスクを使ってできないこと

× 地上デジタル放送／ BS デジタル放送／ 110 度 CS デジタル放送の裏番組録画
× BD プレーヤーなど、本機につないだ外部入力映像の録画
× 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生
× 本機につないで録画した USB ハードディスクの映像を、他の映像機器で再生・複製
× 同時接続した USB ハードディスクへの同時録画
× 同時接続した異なる USB ハードディスクを使った同時録画再生
× 録画中の USB メディアの再生
× 裏番組録画

◆ 重　要 ◆

・USB ハードディスクに付属の取扱説明書は、必ずお読みください。

ハードディスクの制約

・本機でハードディスクに録画した番組は本機でしか再生できません。他のテレビやパソコンでは再生できません。
・修理等でテレビ内部の主要部品を交換したり、テレビ本体を交換したときは、ハードディスクに録画した番組が再生できなくなります。

◇おしらせ◇

ハードディスクを使うときの制限

・テレビの電源を入れてから、USB ハードディスクの録画・再生が行えるようになるまでしばらく時間が掛かります。

USB ハードディスクを使う前に

1 USBハードディスクと本機をつなぐ

・⇒ **47** ページ

2 初めて使うUSBハードディスクの場合は、「機器の初期化」をする

・⇒ **48** ページ

3 「USB-HDDの選択」で使用するUSBハードディスクを選ぶ

・⇒ **48** ページ
・本機につないでいる USB ハードディスクの中から、録画・再生の操作をしたいものを選びます。

4 リモコンの 録画 をUSBハードディスクへの録画に使用したいときは、「録画機器選択」で「USB-HDD」を選択する

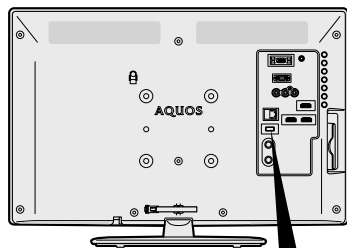
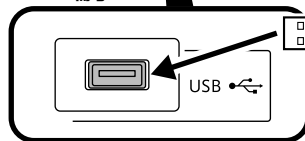
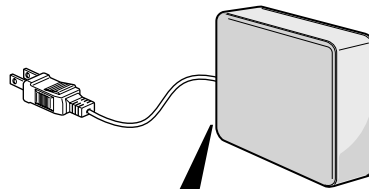
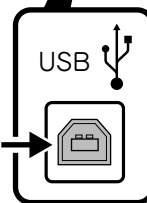
・⇒ **52** ページ
・見ている番組をすぐに録画する操作で、USB ハードディスクに録画したい場合は、「録画機器選択」で録画に使いたい USB ハードディスクを選びます。

5 必要に応じて省エネの設定をする

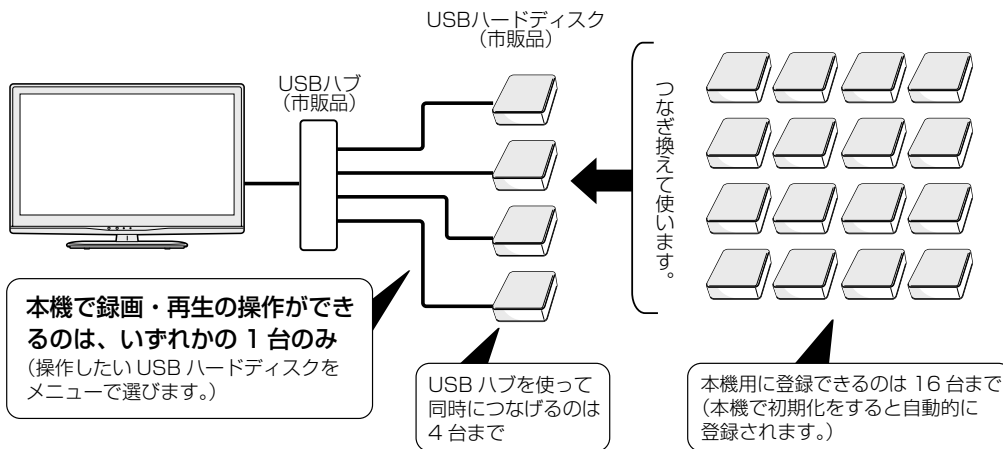
・⇒ **49** ページ

・USB ハードディスクの使いかた（録画・再生）については、⇒ **52** ～ **61** ページをご覧ください。

USB ハードディスクを つなぐ

- 本機の USB 端子に、市販の USB ハードディスクをつなぎます。
- 市販の USB ケーブルで接続します。
- USB ハードディスクを取りはずすときは⇒ **49** ページをご覧ください。

動作確認済 USB ハードディスク・USB ハブについて

- ホームページやカタログなどでご確認ください。
  ホームページ　http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

市販の USB ハブを使って、USB ハードディスクを複数台つなぐ場合には

USB ハブ経由で USB ハードディスクを接続する場合は

- USB ハブに AC アダプターを使用し、電源供給をする必要があります。
- USB ハブから USB ハブを接続しての使用はできません。
- USB ハブの種類によっては、USB ハブの中で複数の接続をしているものもあり、使用できない場合があります。

USB ハードディスクを初めて接続するときは

USB ハードディスクを初期化する

- USB ハードディスクを使って録画するためには、使うための準備「初期化」が必要です。
- 初期化するときは、USB 端子と USB ハードディスクを 1 台だけ直接接続してください。

◆ 重 要 ◆

- レコーダーやパソコンで録画した USB ハードディスクをつないだときも、本機で使うためには、初期化が必要です。

USB ハードディスクを初期化すると、録画済みのタイトルがすべて消去されます。

- 消去されたタイトルは元に戻せませんので、USB ハードディスクの内容をよく確認してください。

1 **USBハードディスクと本機をつなぎ、USBハードディスクと本機の電源を入れる**

2 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ**

3 **「機器の初期化」を選び、「する」を選ぶ**

4 **「する」を選ぶ**

5 **「する」を選ぶ**

- 初期化が実行されます。
- 初期化中に USB ハードディスクを取り外したり、USB ハードディスクや本機の電源を切らないでください。故障の原因となります。

6 **「確認」で決定する**

7 **録画先に使う録画機器を選ぶ**

- リモコンの録画ボタンを押したときの録画先として使う録画機器を選択します。

- 初期化の操作が済んだら、必要に応じて「オートチャプター設定」をしておくと便利です。(⇒ **50** ページ)

使用する USB ハードディスクを選択する

1 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ**

2 **「USB-HDDの選択」を選ぶ**

3 **表示された機器から1台を選択する**

- 接続が 1 台の場合でも選択されていない場合がありますので、選択してください。

USB ハードディスクの名前を変えたいときは

- USB ハードディスクを複数台つないだときに識別しやすくするために、各 USB ハードディスクに名前を付けられます。

1 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「USB-HDD設定」を選ぶ**

2 **「機器名の変更」を選ぶ**

3 **名前を変更したいUSBハードディスクを選び、「機器名を変更しますか？」で「する」を選ぶ**

4 **ソフトウェアキーボード(⇒39ページ)で、新しい名前を入力する**

5 **「この名称に変更しますか？」で「する」を選ぶ**

USB ハードディスクを省エネで使うには

- USB ハードディスクを使わない状態が続いたときに、USB ハードディスクを待機状態にして、消費電力を抑えます。

1 **ホームメニューから「設定」−「(視聴準備)」−「USB-HDD設定」を選ぶ**

2 **「省エネ設定」を選ぶ**

3 **「する」を選ぶ**

USB ハードディスクを取りはずすときは

- 本機や USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜く前に、必ずホームメニューから「機器の取りはずし」を行ってください。

1 **ホームメニューから「設定」−「(視聴準備)」−「USB-HDD設定」を選ぶ**

2 **「機器の取りはずし」を選ぶ**

3 **「取りはずす」を選ぶ**
- 取りはずし中を知らせるメッセージが表示されます。
- 取りはずしが完了するまで、USB ハードディスクの電源を切ったり、接続している USB ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因となります。

4 **「確認」で決定する**

5 **本機とUSBハードディスクの電源を切り、接続しているUSBケーブルを抜く**

本機で 17 台以上の USB ハードディスクを使うときは

- 本機は USB ハードディスクを 16 台まで登録できます。(本機で初期化をすると、自動的に登録されます。)
- 本機に登録していない USB ハードディスクでは、録画・再生できません。
- 17 台目以降の USB ハードディスクを登録する場合には、登録済みの USB ハードディスクのいずれかを登録解除してください。

◆ 重 要 ◆
- 登録解除された USB ハードディスクは、本機で録画・再生できなくなります。
- 再登録するためには、本機で初期化する必要があります。(初期化すると、録画したタイトルがすべて消えます。)

1 **ホームメニューから「設定」−「(視聴準備)」−「USB-HDD設定」を選ぶ**

2 **「機器の登録解除」を選ぶ**

3 **登録を解除したいUSBハードディスクを選ぶ**
- 画面の指示に従って操作をします。

4 **「解除する」を選ぶ**

5 **もう一度「解除する」を選ぶ**
- この USB ハードディスクを、本機の登録リストから削除します。登録を解除すると、この USB ハードディスクに録画されている番組は、再生できなくなります。

6 **「確認」で決定する**

- 17 台目の USB ハードディスクを本機で使えるように初期化してください。(⇒ **48** ページ)

録画するときに自動的に入るチャプター間隔を変えたいときは（オートチャプター設定）

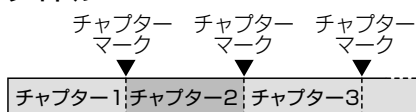
- 録画中に自動的に記録されるチャプターマークの間隔を設定します。（再生したい場面を探すときに便利な機能です。）
- ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「USB-HDD 設定」－「オートチャプター設定」で設定します。

項目	内容
しない	・チャプターが入りません。
10 分	・10 分間隔でチャプターが入ります。
15 分	・15 分間隔でチャプターが入ります。
30 分	・30 分間隔でチャプターが入ります。

チャプターマークとチャプターとは

- チャプターマークは、本にたとえるとしおりのようなものです。
- タイトル（録画した番組）にしおりをはさむように、チャプターマークを記録してタイトルを区切ります。
- チャプターマークで区切られた部分がチャプターになります。チャプターは、本にたとえると章のようなものです。

タイトル

	チャプターマーク	チャプターマーク	チャプターマーク
チャプター1	チャプター2	チャプター3	

◇**おしらせ**◇

- 本機にはチャプターマークを任意の場所に記録する機能はありません。

ファミリンクパネルの操作のしかた

- USB ハードディスクと接続しているときは、ファミリンクパネルで、録画や再生などの操作ができます。

1 **ファミリンクボタンを押し、ファミリンクパネルを表示する**

2 **USBハードディスクを選ぶ**

3 **操作したい機能のボタンを選ぶ**

操作機器名

操作ボタン

プログレスバー
ここを選ぶと、左右カーソルボタンで再生位置を移動できます。

録画をする前にお読みください

◆ **重　要** ◆

- 「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

　本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します。
  - 録画中、または録画予約中に電源を切ったり停電になった場合には、録画中の内容が損なわれることがあります。

録画できる番組数と予約件数について

- 1 台の USB ハードディスクには、最大 999 番組まで録画可能です。（USB ハードディスクに空き容量がない場合は、録画できません。）
- 最大 32 件までの予約が可能です。

録画・録画予約実行中の制限について

- 予約が実行中（録画中）の場合は、実行中の予約と時刻の重なる新たな予約は設定できません。すぐに予約を設定したいときは、録画予約を停止させてから設定してください。
- BS 録画中に BS の視聴は録画しているチャンネルのみ視聴可能です。

HDD（ハードディスク）について

- パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。あくまでも一時的な保管場所としてご使用ください。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。

万一何らかの不具合により、録画されなかった場合の内容の補償、録画されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

B-CAS（ビーキャス）カードについて

- 録画・録画予約をするときは、本機に B-CAS カードが入っていることを確認してください。

著作権について

- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 番組により、録画・録音が制限されている場合などがあります。

ダビング 10 について

- デジタル放送番組の全てがダビング 10 になるわけではありません。

コピー制御信号について

- デジタル放送のほとんどの番組には録画可能回数を制限するコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧になるか、下記へお問い合わせください。

コピー制御お問合せセンター

電話：0570-000-288
（午前 10 時～午後 8 時）
（2013 年 2 月現在）

◆ **重　要** ◆

- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。

USB ハードディスクに デジタル放送の番組を録画・録画予約する

録画先として使う機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。
- USB ハードディスクに録画するには、「USB-HDD」を選択してください。

1 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「録画機器選択」を選ぶ**

2 **録画する機器を選ぶ**

USB-HDD は、USB ハードディスクを接続しているとき選択ができます。

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「録画時に選択する」を選んだときは、録画を押したときに録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

放送中の番組を録画する

- 今見ている番組をその場で USB ハードディスクに録画します。
- 視聴中のデジタル放送の番組が終わるまで録画し、番組が終了すると自動で録画が停止します。番組の延長にも対応します。

◆ 重 要 ◆

- 録画の前に、USB ハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。(⇒ **46** ページ)
- 録画の前に「録画をする前にお読みください」(⇒ **51** ページ）をご覧ください。
- USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。
- 録画で USB ハードディスクに録画するには、事前に「録画機器選択」(⇒**左記**）で「USB-HDD」を選択しておく必要があります。

1

録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2

録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS のいずれかを押して選びます。
- 「チャイルドロック」(⇒ **32** ページ)をかけているとき、「地デジ限定設定」(⇒ **32** ページ)を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

3

選局ボタンで録画したいチャンネルを選ぶ

4

録画 ● を押す

録画をはじめる

- テレビ画面に録画開始のメッセージが表示されます。
- 視聴中の番組が終わるより前に録画を止める場合は、録画停止 ■ を押し、画面に従って操作してください。

◇**おしらせ**◇

- デジタル放送は B-CAS カードを挿入しないと視聴・録画できません。
- アンテナの受信状態が悪くなったときは、自動で録画が停止する場合があります。
- 「電源ボタン設定」(⇒ **30** ページ)を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します

番組情報が取得できていないチャンネルを録画したときは

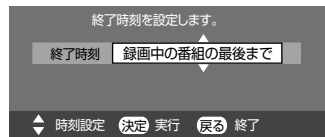
- デジタル放送で番組表が表示されていないチャンネルを録画したときは、録画停止 ■ を押すまで、最大 6 時間録画が続きます。
- 録画終了時刻を設定したいときは⇒**右記**をご覧ください。

録画終了時刻の設定をやり直すには

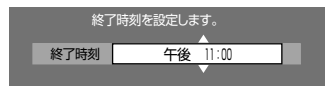
1

録画 ● を押す

録画中に、終了時刻設定画面を表示させる

(終了時刻設定画面の例)

- 終了時刻設定画面は、ファミリンクパネルを表示して「録画」ボタンを押しても表示できます。

2

で選び 決定 を押す

終了時刻を選ぶ(1分単位)

- 終了時刻を選ぶときに、上下カーソルボタンを長押しすると、10 分単位で選べるようになります。(カーソルボタンを押し直すと、1 分単位の動作に戻ります。)

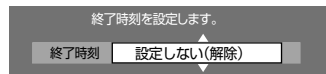
「録画中の番組の最後まで」を設定したとき

- 設定した時点での番組情報に従い、番組終了時刻が設定されます。
- 番組表で番組情報が取得されていないときは、「録画中の番組の最後まで」は設定できません。

録画終了時刻を設定したとき

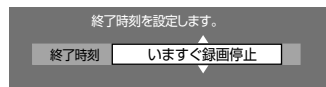
- 録画終了時刻が設定されます。設定した時刻になると、自動的に録画が停止します。

設定を解除したいとき

- 「設定しない(解除)」を選びます。

「設定しない(解除)」を選んだとき

- 「設定しない(解除)」を選んだときは、録画停止 ■ またはファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選ぶまで最大 6 時間録画が続きます。USB ハードディスクの録画可能時間がなくなると録画を停止します。

録画を途中で停止したいとき

- 「いますぐ録画停止」を選びます。

- 続いて「する」を選ぶと、録画が停止します。

録画モードと録画時間

USB ハードディスクの容量と録画時間について

- 録画時間は、お使いになる USB ハードディスクの容量によって異なります。以下は、録画時間の目安です。

「標準 (DR)」で録画する場合の時間

USB ハードディスクの容量 ＼ 放送の種類	BS・110 度 CS ハイビジョン放送	地上デジタル ハイビジョン放送	標準放送
3TB	約 260 時間	約 360 時間	約 520 時間
2TB	約 174 時間	約 240 時間	約 347 時間
1.5TB	約 130 時間	約 180 時間	約 260 時間
1TB	約 87 時間	約 120 時間	約 173 時間
750GB	約 65 時間	約 90 時間	約 130 時間
640GB	約 56 時間	約 77 時間	約 111 時間
500GB	約 44 時間	約 60 時間	約 87 時間
400GB	約 35 時間	約 48 時間	約 70 時間
320GB	約 28 時間	約 39 時間	約 56 時間
300GB	約 26 時間	約 36 時間	約 52 時間
250GB	約 22 時間	約 31 時間	約 43 時間

◇**おしらせ**◇

録画時間の算出について（録画時間は目安です）

- 録画時間は、BS/110 度 CS デジタルハイビジョン（HD）放送は約 24Mbps、地上デジタルハイビジョン（HD）放送は約 17Mbps、標準（SD）放送は約 12Mbps で算出しています。
- 録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質、その他の条件により**上記**の時間を下回るまたは上回る場合があります。
- 録画した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- 「標準 (DR)」を選ぶと、放送と同じ画質で録画できます。

「長時間（TR)」での録画について

- 本機で USB ハードディスクにデジタル放送を録画するときは､録画モード（録画時間）「標準（DR)」または「長時間（TR)」が選べます。
- 録画モード「長時間（TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。
- 長時間対応ハードディスクをご使用の場合は「長時間 (TR)」を選んで録画すると、録画できる時間が「標準（DR)」に比べて長くなります。「長時間（TR)」で録画する場合の録画時間については該当製品のメーカーホームページ等をご確認ください。
- ビデオテープの標準モードや３倍モードのように録画モードを指定して録画ができます。
- スポーツや歌番組など動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく「標準（DR)」画質で録画していただくことをおすすめします。「長時間（TR)」の長時間録画モードで録画するとブロック状に見える画像ノイズが目立つ場合があります。

デジタル放送の番組を録画予約する

- 番組表を使って、番組を録画予約できます。
- 7 日先まで録画予約できます。
- 予約の最大件数は、32 番組です。

◆ 重 要 ◆
- 録画予約の前に、USB ハードディスクを使ってできること／できないことをご覧ください。(⇒ **46** ページ)
- 録画予約の前に「録画をする前にお読みください」(⇒ **51** ページ）をご覧ください。

◇**おしらせ**◇
- 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。
- 時間の連続した予約設定をしている場合、次番組は先頭から録画を開始するため、前番組は予約の終了時刻よりも早く録画が終わります。
- 既存の予約と日時が重なっている場合は、メッセージが表示されます。画面に従って操作をやり直してください。

1 録画の準備をする

- 本機の電源を入れます。
- 本機に B-CAS カードが入っていることを確認します。

2 録画したい放送の種類を選ぶ

- 地上D BS CS のいずれかを押して選びます。
- 「チャイルドロック」(⇒ **32** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」(⇒ **32** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

3 番組表を表示して、予約したい番組を選ぶ

番組表を押し 決定 で選ぶ

- 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。(⇒ **14** ページ)

4 予約する

決定を押す

- 予約した番組には、予約アイコンが表示されます。

録画禁止の番組を予約したときは
- 視聴予約となります。

USB ハードディスクが接続されていないときは
- 予約方法の選択画面が表示されます。

「この時間に予約されている番組があります。」と表示されたときは
- ⇒ **103** ページをご覧ください。

5 番組表を消す

番組表を押す

- 予約が設定されると、本体の TIMER/REC（タイマー／録画）ランプが橙色に点灯します。

録画予約の取り消し・変更をしたいときは
- ⇒ **57** ページをご覧ください。

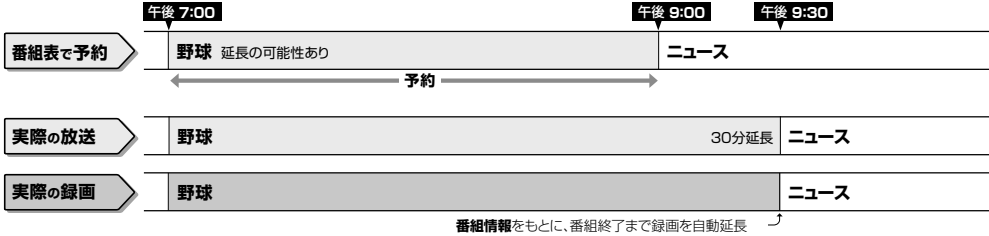
◇**おしらせ**◇
- 「電源ボタン設定」(⇒ **30** ページ）を「モード 2」に変えた場合は、録画予約の待機中や録画実行中に本体の電源ボタンを押して「電源オフ」にしないでください。

  本体の電源をオフにすると…
  - 予約が実行されません。
  - 録画が停止します

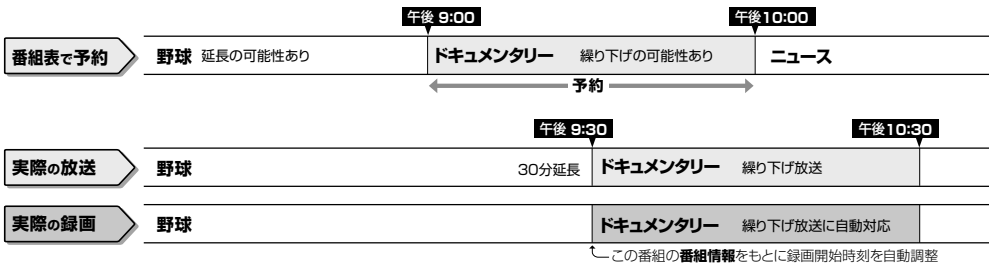
次のページに続く

デジタル放送の延長予約について

- スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組を番組表で予約すると、録画予約の終了時刻が自動で延長されます。
- 番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。
- 前の番組が延長されて録画予約した番組が繰り下げられたときでも、録画予約した番組の最後まで録画します。

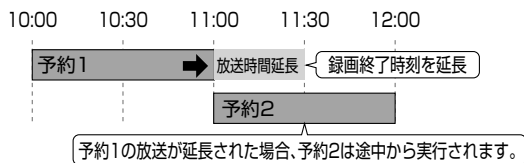
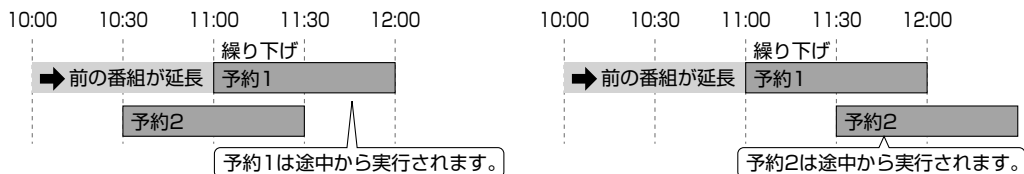
スポーツ番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 予約した番組が延長したり、繰り下げとなった予約と他のチャンネルの予約が重なったときは、重なった予約が実行されない、または番組の途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)

繰り下げの可能性がある番組を番組表から録画予約したとき

◇おしらせ◇

- 開始時刻、終了時刻を変更したときは、設定をやり直した時刻で録画されます。(延長に対応しなくなります。)
- 放送される番組情報によっては、延長に対応できない場合もあります。

番組の延長により、予約が重なった場合

- 先に始まった録画予約が終了したあと、次の重なった録画予約を途中から実行します。

- 番組が繰り下げられた場合も同様です。

- 番組が繰り下げられた結果、開始時刻が他の予約と同じ時刻になった場合は、繰り下げられた予約が取り消されます。

予約の確認・取り消し・変更をするには

- 予約の確認・取り消し・変更をすることができます。
- 日時を指定して予約したいときや、視聴予約やファミリンク予約（⇒ **71** ページ）、繰り返し予約は、この手順で予約方法を変更します。

1 番組表ボタンを押して、番組表を表示する

2 青ボタンを押して、「予約リスト」を表示する

3 確認・取り消し・変更をしたい予約を選ぶ

- で予約されている番組を選びます。
- でページ 1 〜 8 のいずれかを選びます。
- 予約リストに表示されるアイコン、番組表に表示されるアイコンについては、⇒ **13** ページをご覧ください。
- 予約の設定内容が表示され、確認できます。

- 上記は、番組表から予約した予約の変更・取り消し画面です。日時指定予約の場合は、画面が若干異なります。
- 確認のみで終了する場合は、「変更しない」を選び、番組表または予約リストに戻ります。

◆ 予約を取り消したいとき

4 ①「取り消す」を選ぶ
②「する」を選ぶ

［地上Dテレビ番組の予約設定］

予約方法：USB-HDD録画
録画モード：標準(DR)
11月 3日［火］午後 2：00〜午後 3：00

この番組の予約を取り消しますか？

する　しない

- 予約が取り消されます。
手順 **2** の画面に戻ります。

◆ 予約の設定を変更するとき

左右カーソルボタンで変更したい項目の内容を選び、上下カーソルボタンで内容を選ぶ

この番組は予約されています。
予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。
番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
11/3 ［火］	午後 2 ： 00 〜	午後 3 ： 00	USB-HDD録画	標準(DR)

残時間： ** 時間 ** 分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

設定項目	設定内容
予約方法	• USB-HDD 録画※1 • ファミリンク録画※1 ※2 ※3 • 視聴予約
録画日	• 日付※4　• 月ー土 • 毎週○曜※4　• 月ー金 • 毎日
開始時刻／終了時刻	（「番組指定予約」の場合、変更できません。）※4
録画モード※5	• 標準 (DR)　• 長時間 (TR)※6

※１ USB ハードディスクやファミリンク機器が認識できないときは、表示されません。
※２ 予約方法がファミリンク録画の場合、「録画日」「開始時刻」「終了時刻」は変更できません。
※３「日時指定予約」の場合、ファミリンク録画には設定できません。
※４ 黄（日時指定予約）を押して変更する場合、「録画日」「開始時刻」「終了時刻」も変更できます。「録画日」は、「今日の日付」〜「28 日後の日付」や「毎週○曜日」も選べます。
※５ 録画時間については、⇒ **54** ページをご覧ください。
※６「長時間 (TR)」は、長時間録画対応の USB ハードディスクでのみ使用可能です。

5 「変更する」を選ぶ

6 「戻る」で決定する

次のページに続く

繰り返し予約をする

- 毎日、毎週など、同じ番組を繰り返し録画予約できます。

1 **55ページの手順1～手順4で番組を選び、録画予約を設定する**

2 **もう一度同じ番組を選び、決定する**

- 予約リストからも選べます。

3 **「録画日」を選び、「毎週○曜」「毎日」「月－土」「月－金」のいずれかを選ぶ**

この番組は予約されています。
予約の取り消し、または予約の内容を変更してください。

番組指定：放送開始時間や終了時間が変更されたときに自動的に対応して録画します。
日時指定：開始時刻／終了時刻を指定して録画します。

録画日	開始時刻	終了時刻	予約方法	録画モード
▲ 毎日 ▼ ［火］	午後 2 ： 00 ～	午後 3 ： 00	USB-HDD録画	標準(DR)

残時間： ＊＊時間 ＊＊分　今回の予約時間： 1 時間 00 分　番組指定予約

- 青：「毎日予約」に設定できます。
- 赤：「毎週予約」に設定できます。
- 黄：「日時指定予約」※1 に切り換えられます。

4 **「変更する」を選び、決定する**

5 **「戻る」で決定する**

※1 「日時指定予約」の場合は、繰り返し予約になりません。
「番組指定予約」の場合は、初回予約時の前後3時間以内で放送が開始される類似した番組名の番組を検索し、録画します。繰り返し予約が他の予約の時間と重なる場合、繰り返し予約は自動的に「休止」となり、録画予約は行われません。また、該当する番組がない場合は、日時指定予約で録画されます。

◇おしらせ◇

- 「日時指定予約」に変更した番組を再度変更するときは、一度予約を取り消してから新しい予約の設定をやり直してください。

USB ハードディスクに録画した番組を再生する

録画リストについて

- 〔録画リスト〕を押すと、「USB-HDD の選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。
- 録画リストの表示中に〔赤〕を押すと、録画リストが全画面で表示されます。
- 録画リストを表示して、USB ハードディスクに録画した番組を一覧表示できます。一覧表示した番組は、小画面で映像を確認しながら選べます。

録画リストの画面例

録画リスト（全画面）の画面例

録画リスト（全画面）でできること

- 録画リスト（全画面）で「ツール」ボタンを押すと、機能メニューが表示されます。
- 機能メニューから、次のことができます。

録画した番組の消去（⇒ **64** ページ）
録画した番組のタイトル名の変更（⇒ **62** ページ）
録画した番組の保護（⇒ **63** ページ）
録画した番組の繰り返し予約（⇒ **62** ページ）

◇**おしらせ**◇

- 本機以外につないで録画した USB ハードディスクの再生はできません。
- 「USB-HDD の選択」で選ばれた USB ハードディスクに録画した番組が表示されます。

USB ハードディスクの録画リストが表示されない場合は

- USB ハードディスクが正しく接続されていることを確認してからツールボタンを押して、ツールメニューから「再生機器選択」を選びます。「USB-HDD」を選び、録画リストボタンを押してください。

録画リストは、以下の操作でも表示されます。

- ホームメニューから「チャンネル」－「入力切換」－「USB-HDD」を選んで切り換えることもできます。
- ファミリンクパネルを表示して、ファミリンクパネルから選ぶこともできます。⇒ **50** ページ

録画リストから再生する

1 録画リストを表示する

録画リスト
を押す

2 再生したい番組を選ぶ

で選び
決定
を押す

- 1ページに 10 タイトルまで表示されます。11 タイトル以上あるときは、◎ を押すと、ページを切り換えて表示できます。

- 選んだ番組の再生が始まります。

◇**おしらせ**◇

録画リスト（全画面）のタイトル表示について

- 録画リストを全画面にした場合は、1ページに 12 タイトルまで表示されます。13 タイトル以上あるときは、◎ を押すと、ページを切り換えて表示できます。

ホームメニューから再生する

1 ホームメニューを表示して、「チャンネル」を選ぶ

選びかたは、**27** ～ **28** ページをご覧ください。

▼ ホームメニューの画面例

2 左右カーソルボタンで「USB-HDD」を選ぶ

USB-HDD を選んだときの画面例

3 上下カーソルボタンで再生したい番組を選ぶ

- 9タイトル以上あるときは、黄 または 緑 を押すとページを切り換えて表示できます。
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生を止めるときは、停止 ■ を押します。

- 手順 **3** で、1 ～ 8 のボタンを押しても選べます。

◇**おしらせ**◇

- 表示の順番を変更する場合は、赤 を押して録画リストで並び換えをしてください。（⇒ **62** ページ）

録画中の番組を再生する（追いかけ再生）

- 録画中の番組を再生することができます。
- 録画、録画予約に対応しています。

1 録画中に、リモコンふた内の再生ボタンを押す

2 追いかけ再生を選ぶ

停止ボタンを押して途中で止めた場合の再生について

停止した場所からつづけて再生するときは

- リモコンの再生ボタンを押すと、つづきから再生できます。

はじめから再生するときは

1 **録画リストを表示する**
- ⇒ **60** ページ

2 **赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する**

3 **再生したいタイトルを選ぶ**

4 **赤ボタンを押し、最初から再生する**

再生中に設定をする（視聴メニュー）

- 再生しながら、再生情報を確認したり、リピート再生が行えます。

1 **再生中にファミリンクパネルを表示して、「視聴メニュー」を選ぶ**
- ファミリンクパネル⇒ **50** ページ

2 **操作ガイド表示に従って、設定項目を選び設定する**
- 再生しているタイトルによって選択できる項目は異なります。

①再生状態表示
　動作状態やディスクの種類
②設定項目（⇒**下記**）
③操作ガイド表示

視聴メニューの設定項目

1 **タイトル（トラック）選択**
- 再生中のタイトル番号が表示されます。番号を選択してタイトルの頭出しができます。

2 **チャプター再生表示**
- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。

3 **再生経過時間表示**
- 選択したタイトルのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。

4 **字幕言語再生表示**
- 再生中のタイトルに字幕がある場合に、切り換えられます。

5 **映像切換**
- 再生中のタイトルに複数の映像がある場合に、切り換えられます。

6 **音声切換**
- 再生中のタイトルに複数の音声がある場合に、切り換えられます。

7 **リピート再生**
- 再生中のタイトルまたはチャプターを、くり返し再生できます。
- 上下カーソルボタンで「チャプターリピート」または「タイトルリピート」を選び、決定します。

チャプターリピート
再生中のチャプターをくり返し再生

タイトルリピート
再生中のタイトルをくり返し再生

切（リピート再生を解除）

- リピート再生を開始します。
- 選択画面に戻るには戻るボタンを押します。

◇おしらせ◇
- アングルや字幕などの表示が「－－」と表示される場合は、そのタイトルに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

USB ハードディスクに録画した番組の管理

録画リストの一覧表示の並びかたを変えるには

1 録画リストを表示する

- ⇒ **60** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 青ボタンを押し、並べ換えをする

4 「新しい順」「古い順」「未視聴(新しい順)」「既視聴(古い順)」「タイトル名順」「保護無し(古い順)」「データ量多い順」のいずれかを選ぶ

- 並べ換えを行うと、録画リストフォルダの中にあるタイトルが選択した順に並べ換えられます。

録画済みのタイトルを次回も録画予約したいときは(毎週予約)

1 録画リストを表示する

- ⇒ **60** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 毎週予約したいタイトルを選ぶ

4 「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する

5 「この番組を毎週予約する」を選ぶ

6 「確認」で決定する

録画予約した内容を取り消し・変更したいときは

- ⇒ **57** ページをご覧ください。

録画した番組の名前を変更する

1 録画リストを表示する

- ⇒ **60** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 カーソルボタンでタイトル名を変更したいタイトルを選ぶ

4 「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する

5 「タイトル名変更」を選ぶ

6 「する」を選ぶ

7 タイトル名を変更する

- ソフトウェアキーボード(⇒ **39** ページ)を使って、タイトルを変更します。

8 「変更して終了」を選ぶ

- タイトル名が変更されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

録画した番組を録画リストのタイトルから探す

1 録画リストを表示する

- ⇒ **60** ページ

2 赤ボタンを押し、録画リスト(全画面)を表示する

3 「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する

4 「タイトル検索」を選ぶ

5 ソフトウェアキーボードを使ってキーワードを入力する

- 入力したキーワードを含む録画番組が一覧で表示されます。

タイトル（録画した番組）が消されないように保護する／保護を解除する

• 間違って消さないよう、タイトル（録画した番組）を保護できます。

タイトルを 1 つ選んで保護／解除する

1 **録画リストを表示して、保護／解除したいタイトルを選ぶ**

• 録画リストを表示する⇒ **60** ページ

2 **赤ボタンを押し、録画リスト（全画面）を表示する**

3 **「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する**

4 **「タイトル保護／解除」を選ぶ**

5 **「1タイトル保護／解除」を選ぶ**

• 選んだタイトルを保護／解除できます。

6 **「保護する」または「保護解除」を選ぶ**

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトルを全て保護／解除する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト（全画面）を表示し、「ツール」ボタンを押して機能メニューから「タイトル保護／解除」を選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「全タイトル保護／解除」を選び、決定する**

3 **左右カーソルボタンで「保護する」または「保護解除」を選び、決定する**

• すべてのタイトルが保護または保護解除されます。
• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで保護／解除する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト（全画面）を表示し、「ツール」ボタンを押して機能メニューから保護／解除したいタイトルを選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「選択タイトル保護／解除」を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで保護／解除したいタイトルを選び、決定する**

NEW	🔒	ぼくとテディのはるやすみ	10/10
	🔒	午後のドラマ「普通の人たち」	10/11
	🔒	おとうさんもいっしょ	10/10
	🔒	きょうのお献立	10/13
NEW	🔒	金曜ドラマスペクタクル「執事探偵５」	10/15
NEW	－	奥様あなたのTVショッピング	10/12
	－	どうぶつ抱腹絶倒	10/16

• 保護したいタイトルに、「🔒」マークを付けます。
• 最大 20 タイトルまで選べます。
• 保護するタイトルには「🔒」マークが付きます。もう一度選ぶと「🔒」マークが外れます。

4 **赤ボタンを押す**

• 「🔒」マークが付いたタイトルが保護されます。
• 「🔒」マークのない（外した）タイトルは保護されません。

• 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

タイトル（録画した番組）を消去する

- すでに見て不要なタイトル（録画した番組）を録画リストから消去できます。

◇**おしらせ**◇

- 消去したタイトルは復活できません。

タイトルを 1 つ選んで消去する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト（全画面）を表示し、消去したいタイトルを選ぶ**

- 録画リストを表示する⇒ **60** ページ
- 消去したいタイトルに「🔒」マークがついている場合は、先に「タイトル保護／解除」（⇒ **63** ページ）を行ってください。

2 **「ツール」ボタンを押し、機能メニューを表示する**

3 **「消去」を選ぶ**

4 **「1タイトル消去」を選ぶ**

5 **「する」を選ぶ**

- 選んだタイトルが消去されます。
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

USB ハードディスクのタイトルを全て消去する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト（全画面）を表示し、機能メニューから「消去」を選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「全タイトル消去」を選び、決定する**

3 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

- すべてのタイトルが消去されます。（保護されたタイトルは残ります。）
- 消去中は、電源を切らないでください。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

複数のタイトルを選んで消去する

1 **録画リストを表示し、赤ボタンを押して録画リスト（全画面）を表示し、「ツール」ボタンを押して機能メニューから「消去」を選び、決定する**

2 **上下カーソルボタンで「選択タイトル消去」を選び、決定する**

3 **カーソルボタンで消去したいタイトルを選び、決定する**

- 最大 20 タイトルまで選べます。
- 選んだタイトルにはごみ箱マークが付きます。もう一度選ぶとごみ箱が消えます。

4 **赤ボタンを押す**

5 **左右カーソルボタンで「する」を選び、決定する**

- ごみ箱マークを付けたタイトルが消去されます。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押します。

リモコンの録画消去ボタンでタイトルを消去する

- リモコンの録画消去ボタンで、以下のタイトルが消去できます。
  - USB-HDD から再生中のタイトル
  - USB-HDD の録画リストで選択中のタイトル
  - ホームメニューの「チャンネル」－「USB-HDD」で選択中のタイトル
- 録画消去ボタンを押したあと、◎で「する」を選び決定します。

◇**おしらせ**◇

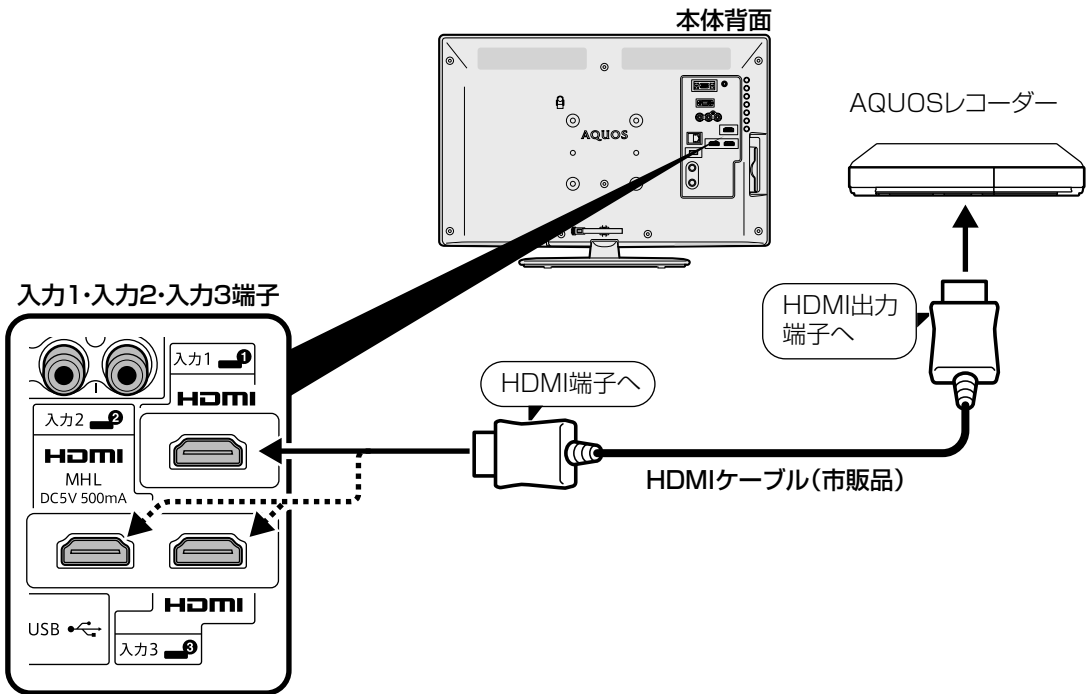
- USB-HDD の再生中に、ホームメニューの「チャンネル」－「USB-HDD」でタイトルを選んで録画消去ボタンを押したときの消去対象は、再生中のタイトルではなく、選択中のタイトルになります。

ファミリンク対応機器をつなぐ

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。
- ファミリンクで操作できる AQUOS レコーダーは 3 台までです。
- HDMI ケーブルは必ず市販のHDMI 規格認証品(ハイスピードタイプ)をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、ファミリンクが動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED(ハイスピード)に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

◆ 重 要 ◆

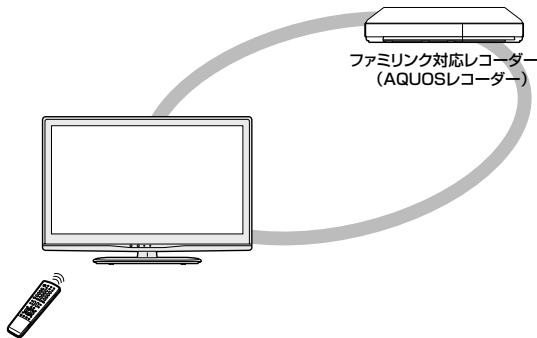
- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を入力 1 ～ 3 に切り換えて映像と音声が正しいことを確認してください。

AQUOS レコーダーのみをつなぐとき

ファミリンクで使う

ファミリンクとは

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格－HDMI CEC（Consumer Electronics Control）－を使ってシャープ製の液晶テレビやレコーダーを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたのが、ファミリンクです。

本機に、ファミリンクに対応したレコーダー（AQUOS レコーダー）をHDMI 認証ケーブルで接続すると、本機のリモコンまたはレコーダーに付属のリモコンで、下記の連動操作が楽しめます。

- **テレビで見ている番組を、ワンタッチ録画**
- **テレビの番組表で、録画予約**
- **録画した番組を、ワンタッチ再生**

◇**おしらせ**◇

- ファミリンクの対応機種についてはSHARP web ページ内のAQUOS サポートページをご覧ください。

> **AQUOS サポートページ**
> http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 本機のリモコンでファミリンクを使う場合には、本機に向けて操作してください。AQUOS レコーダーは直接リモコン信号を受信しません。
- 本機にはi.LINK 端子はありません。そのため、ハイブリッドダブレコ機能搭載のAQUOS レコーダーと接続したときi.LINK 録画（2番組同時録画）は働きません。

ファミリンク機能を使う前に

1 ファミリンク対応機器をつなぐ⇒**65**ページ

- 市販品のHDMI 認証ケーブルを使って、ファミリンク対応機器とディスプレイをつないでください。

2 設定をする

- ファミリンク機能を使うためには、⇒**66**～**67** ページの設定が必要です。（本機に付属のリモコンでも設定できます。）
- AQUOS レコーダー側の設定も必要です。⇒機器に付属の取扱説明書をご覧のうえ、設定を行ってください。

3 ファミリンクで楽しむ

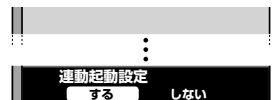
- ファミリンクⅡ機能に対応した機器をお使いの場合は、ファミリンクパネルで操作できます。⇒**68** ページ
- 録画・録画予約してみましょう。⇒**70**～**71** ページ
- 再生してみましょう。⇒**72** ページ

ファミリンク機能を使うための設定

ファミリンク対応機器から本機を自動で起動する

- ファミリンク対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**

2 **「連動起動設定」を選び、「する」に設定する**

録画先として使う機器を選ぶ

- リモコンの録画ボタンを押したときに録画する機器を選ぶ設定です。
- ファミリンク機器に録画するには、「ファミリンクレコーダー」を選択し、「ファミリンクレコーダー選択」で機器を選択してください。

1 **ホームメニューから「設定」－「(視聴準備)」－「録画機器選択」を選ぶ**

2 **録画する機器を選ぶ**

- USB-HDD は、USB ハードディスクを接続しているとき選択ができます。
- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。
- 「録画時に選択する」を選んだときは、録画 を押したときに録画する機器を選ぶ画面が表示されます。

ファミリンク録画の録画先として使うレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーをつないだときの設定です。本機からファミリンク録画・録画予約するレコーダーを指定するための設定です。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「ファミリンクレコーダー選択」を選ぶ**

2 **ファミリンク録画で録画する機器を選ぶ**

本機のリモコンで AQUOS レコーダーの選局などの操作をできるようにする

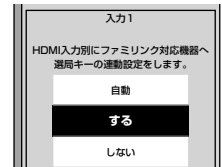
「選局キー」を「する」に設定すると、本機のリモコンで、以下の AQUOS レコーダーの操作が行えます。

- 選局ボタンと数字ボタン（チャンネルボタン）の 1 ～ 12 で選局の操作ができます。
  ただし、11 12 は、レコーダーによっては動作しない場合があります。
- 番組表ボタンで番組表を表示できます。
- データ連動ボタンで連動データ放送を表示できます。
- 番組表の表示や、データ連動ボタンは、接続している機器によっては操作できない場合があります。

この設定は、入力端子ごとに設定します。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「選局キー」を選ぶ**

2 **本機のリモコンで操作する機器を接続している入力を選ぶ**

3 **「する」を選ぶ**

- 「自動」に設定すると、「しない」に設定したときと同じ動作をします。しかし、接続されている機器から要求があった場合のみ、「する」に設定したときと同じ操作ができます。

一般の HDMI 機器が誤作動するときは

- ファミリンクに対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが変わってしまう場合に行う設定です。

1 **ホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」を選ぶ**

2 **「ファミリンク制御(連動)」を選び、「しない」に設定する**

ファミリンク制御(連動)
する　しない

ファミリンクパネルの操作のしかた

ファミリンクⅡ機能に対応したBD プレーヤー・BD レコーダーを接続した場合に、ファミリンク対応機器操作用のファミリンクパネルを表示できます。(表示内容は機器により異なります。)

- ファミリンク対応機器と接続しているときは、ファミリンクパネルで、一時停止や再生などの操作ができます。

◆ 重 要 ◆

- ファミリンクⅡ機能に対応していない機器（ファミリンクⅠ対応機器）では、ファミリンクパネルはお使いいただけません。

1 **ファミリンクボタンを押し､ファミリンクパネルを表示する**

2 **操作したい機器を選ぶ**

3 **操作したい機能のボタンを選ぶ**

◇おしらせ◇

- プレーヤーや携帯電話と接続したときは、上記の操作パネルと異なる内容の操作パネルが表示されます。

ボタン	説明
電源	• ファミリンク対応機器の電源を入／切できます。
番組表	• ファミリンク対応機器の番組表を表示します。
録画リスト	• ファミリンク対応機器の録画リストを表示します。
ポップアップメニュー	• ファミリンク対応機器のポップアップメニューを表示します。
ホーム	• ファミリンク対応機器のホーム画面を表示します。
メディア切換	• ファミリンク対応機器のメディアを切り換えます。

AQUOS レコーダーのスタートメニューを表示する

- AQUOS レコーダーのセットアップメニューなどを表示することができます。表示される内容は AQUOS レコーダーによって異なります。

1 ホームメニューから「リンク操作」－「スタートメニュー表示」を選ぶ

- AQUOS レコーダーのスタートメニューが表示されます。
- AQUOS レコーダーの状態（録画中、電源待機中）によっては正しく表示されない場合があります。

◇**おしらせ**◇

- スタートメニューを表示できる AQUOS レコーダーの対応機種については、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

本機から AQUOS レコーダーの電源を入／切するには

- 本機とつないだ AQUOS レコーダーの電源を、本機から入／切できます。

1 ホームメニューから「リンク操作」－「レコーダー電源入／切」を選ぶ

- この操作をするたびに、本機とつないでいる AQUOS レコーダーの電源を入／切できます。

再生・録画するメディア（HDD/DVD など）を切り換えるには

- 必要に応じて AQUOS レコーダー側の HDD モード／ BD モード／ DVD モードを切り換えます。
- ホームメニューから「リンク操作」－「機器のメディア切換」を選び、AQUOS レコーダー側の操作したい記録メディアの種類（「HDD」や「BD/DVD」、「DVD」など）を選びます。
- 「機器のメディア切換」で決定するごとに、メディアが順次切り換わります。メディアが正しく切り換わったかどうかは、レコーダー側の表示をご確認ください。

見ている番組をすぐに録画する（ワンタッチ録画）

◆ 重　要 ◆

ファミリンクで録画を行う前に AQUOS レコーダー側の録画準備が必要です。次のことなどを確認します。

- 本機と AQUOS レコーダーをつないでいますか。
- B-CAS カードが挿入されていますか。有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。
- アンテナが接続されていますか。
- 記録メディア（HDD、BD、DVD など）に空き容量がありますか。
- 本機のホームメニューから「リンク操作」－「ファミリンク設定」－「ファミリンクレコーダー選択」で録画機器をつないでいる入力を選んでいますか。（⇒ **67** ページ）
- 初期設定では入力 1 に接続したレコーダーに録画する設定になっています。

◇おしらせ◇

- 「ファミリンクレコーダー選択」（⇒ **67** ページ）で選択した AQUOS レコーダーで受信した放送を視聴しているときは、視聴している AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「ファミリンクレコーダー選択」（⇒ **67** ページ）で選択した AQUOS レコーダー以外で受信した放送を視聴しているときや、他の外部入力を視聴しているときは、録画ボタンを押しても録画できません。

見ている番組を AQUOS レコーダーに録画する

1 **録画したい番組の視聴中に録画ボタンを押す**

- 「ファミリンクレコーダー選択」（⇒ **67** ページ）で選択した AQUOS レコーダーのチャンネルが、本機で視聴中のチャンネルに切り換わり、AQUOS レコーダーに録画を開始します。
- 「録画機器選択」を「ファミリンクレコーダー」にしていない場合、「録画機器選択」で選択した機器に録画されます。ファミリンクレコーダーに録画する際は「録画機器選択」を変更してください。
- 「録画機器選択」が「録画時に選択する」に設定されている際は、録画先の選択画面が表示されますのでレコーダーに録画する際は「ファミリンク録画」を選択してください。

2 **録画を停止する**

- お使いの AQUOS レコーダーによっては、録画終了時刻が表示されます。表示された時刻になると自動的に録画が停止されます。

録画終了時刻が表示されない AQUOSレコーダーの場合は

- 手動で録画の停止が必要です。録画したい番組が終わったら、［録画停止 ■］を押すか、ファミリンクパネルを表示して「録画停止」ボタンを選んでください。（⇒ **68** ページ）USB-HDD の録画実行中は録画停止の選択画面が表示されますので、レコーダーの録画を停止する場合は「ファミリンク録画停止」を選択してください。
- ファミリンクⅡ機能に対応していないレコーダーの場合は、レコーダーのリモコンで録画停止してください。

AQUOS レコーダーの番組表を呼び出して録画予約する

1 **ホームメニューから「リンク予約」を選び、予約を入れたい機器を選ぶ**

- 「リンク予約」が表示されない場合、または予約を入れたいレコーダーが表示されない場合は、レコーダーが正しく接続されていないか、非対応のレコーダーです。入力切換を行いレコーダーのリモコンで操作してください。
- 表示されたレコーダーを選択すると、レコーダー側の番組表が表示されます。

2 **予約したい番組を選び、録画予約の操作をする**

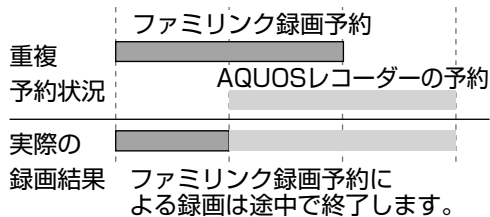
- レコーダー側の番組表は本機のリモコンの［カーソル］［決定］［戻る］［終了］［青］［赤］［緑］［黄］で操作します。（詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

本機の番組表でAQUOS レコーダーに録画予約する

- 本機の番組表から接続している AQUOS レコーダーに録画予約できます。

◆ 重 要 ◆

ファミリンクで録画予約するときのご注意

- 録画予約した番組の録画が終了する前に本機の電源を切るときは、リモコンの電源ボタンで電源を切って（待機状態）ください。「電源ボタン設定」（⇒ **30** ページ）を「モード 2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切ると、正しく録画されません。
- 録画予約状態を解除すると、レコーダーの録画が停止して、電源が切れます。
- AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されている場合は、レコーダー側の予約が優先されます。

- 番組の放送時間が延長された場合、録画の終了時刻が延長されるかは、お使いの AQUOS レコーダーによって異なります。
- 詳しくは、SHARP web ページ内の AQUOS サポートページをご覧ください。

AQUOS サポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/index.html

- 録画予約した番組が開始する 2 分前から番組が開始する直前まで、選局の操作はできません。

◇**おしらせ**◇

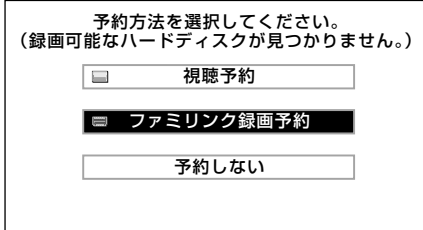
- 予約の確認・取り消し・変更については⇒ **57** ページをご覧ください。
- ファミリンク録画予約の準備中や実行中は、USB ハードディスクへの録画はできません。

1 **AQUOSレコーダー側の準備をする**

- 本機とAQUOSレコーダーを接続します。
- HDD に録画する場合は、HDD の残量を確認します。
- 有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードが、AQUOS レコーダーに挿入されていることを確認してください。

2 **本機の番組表を表示し、予約したい番組を選ぶ**

- 日時やジャンルを指定して番組を選ぶこともできます。（⇒ **14** ページ）
- 同じ時間帯に他の番組が予約されていると、先の予約を削除する画面になります。

3 **「ファミリンク録画予約」を選ぶ**

- 機器が利用できない場合は選択できません。
- 表示されている接続機器と違う機器に録画したい場合は、予約設定後にファミリンクレコーダー選択（⇒ **67** ページ）を行ってください。
- USB ハードディスクを接続し、設定が完了（⇒ **48** ページ）しているときは、USB ハードディスクへの録画予約となります。「ファミリンク録画予約」に変更する場合は⇒ **57** ～ **58** ページで「ファミリンク録画」に変更してください。
- AQUOS レコーダー側で設定した予約と日時が重複している場合は、「AQUOS レコーダーで日時の重なる番組が予約されていますので、レコーダーの予約が優先されます。」と表示されます。今選んでいる番組を予約したい場合は、AQUOS レコーダーの予約を取り消してください。
- 予約が設定され、TIMER/REC（タイマー／録画）ランプ（⇒ **9** ページ）が橙色に点灯します。
- 操作を終了する場合は、番組表ボタンを押します。

AQUOS レコーダーを再生する

AQUOS レコーダーの録画リストから再生する

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーの録画リストから見たい番組を再生します。
- あらかじめ「連動起動設定」を「する」に設定します。（⇒ **66** ページ）

1 ツール ○ を押し

で選び

を押す

「ツール」−「再生機器選択」を選び、再生したいAQUOSレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 録画リスト を押す

録画リストを表示する

3

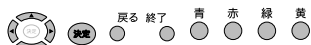
で選び

を押す

再生したい番組（タイトル）を選び再生する

- 録画リストは本機のリモコンの 戻る 終了 青 赤 緑 黄 で選択などの操作ができます。
- 選んだ番組が再生されます。
- 停止したいときは、停止 を押します。
- 停止したときは、切り換わった入力のままです。

◇**おしらせ**◇

- AQUOS レコーダーが DVD モードになっていて DVD ビデオなどの録画リストがないディスクがセットされている場合、録画リストは表示されません。ホームメニューから「リンク操作」−「機器のメディア切換」を選んで、AQUOS レコーダーのモードを切り換えてください。
- PinP のときは、以下のボタンでレコーダーのスタートメニュー、番組表や録画リストなどの操作はできません。

最後に再生または録画した番組を再生する（ワンタッチプレー）

- 本機のリモコンを使って、本機と HDMI 接続した AQUOS レコーダーを操作できます。

1 ツール ○ を押し で選び を押す

「ツール」−「再生機器選択」を選び、再生したいAQUOSレコーダーを選ぶ

- AQUOS レコーダーを接続しているとき選択できます。

2 再生 を押す

録画した番組を再生する

- 最後に再生または録画した番組が再生されます。
- 録画した番組の中（録画リスト）から見たい番組を選んで再生したいときは、ホームメニューから「リンク操作」−「録画リストから再生」を選びます。

再生中の操作について

- ファミリンクで再生しているときは、ファミリンクパネルで操作が行えます。
⇒ **68** ページ
- リモコンの 早戻し 再生 早送り 停止 でも操作が行えます。

◇**おしらせ**◇

- リモコンの 10秒戻し、30秒送り は、機器によっては動作しない場合があります。

複数の HDMI 対応のレコーダー（録画機器）をお使いのときは

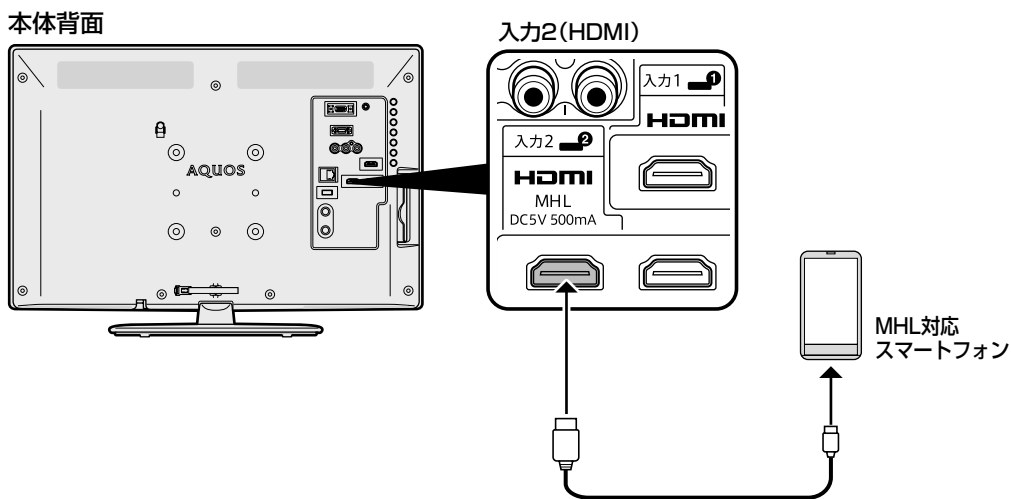
- 視聴する HDMI 機器を選びます。

1 ホームメニューから「リンク操作」−「ファミリンク機器リスト」を選ぶ

2 視聴したい機器を選ぶ

REC BD−HDW45 入力1−1

スマートフォンを AQUOS につないで楽しむ

- MHL 対応 MHL ケーブル（市販品）で、スマートフォンを入力 2 の HDMI 端子に接続することができます。
- 接続することにより、スマートフォンの画面をテレビに表示し、同時にスマートフォンの充電も行えます。（機種によっては充電ができない場合があります。）
- ファミリンクと同様に、スマートフォンを接続することで、テレビの電源が自動的に入り、入力 2 に切り換わります。
- テレビのリモコンの上下左右ボタン・決定ボタンを使ってスマートフォンの操作を行います。
- できる操作は、実行するアプリによって異なります。
- メールや検索時の文字入力はできません。
- スマートフォンの操作については、お使いのスマートフォンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電源をリモコンで切っても MHL 対応スマートフォンは充電を続けます。

スマートフォンを接続してもテレビの電源が自動的に入らないようにするには

1. ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「連動起動設定」を選ぶ
2. 「しない」を選び、決定する

テレビのリモコンでスマートフォンを動作させない場合は

1. ホームメニューを表示して、「設定」－「（機能切換）」－「ファミリンク設定」－「ファミリンク制御（連動）」を選ぶ
2. 「しない」を選び、決定する

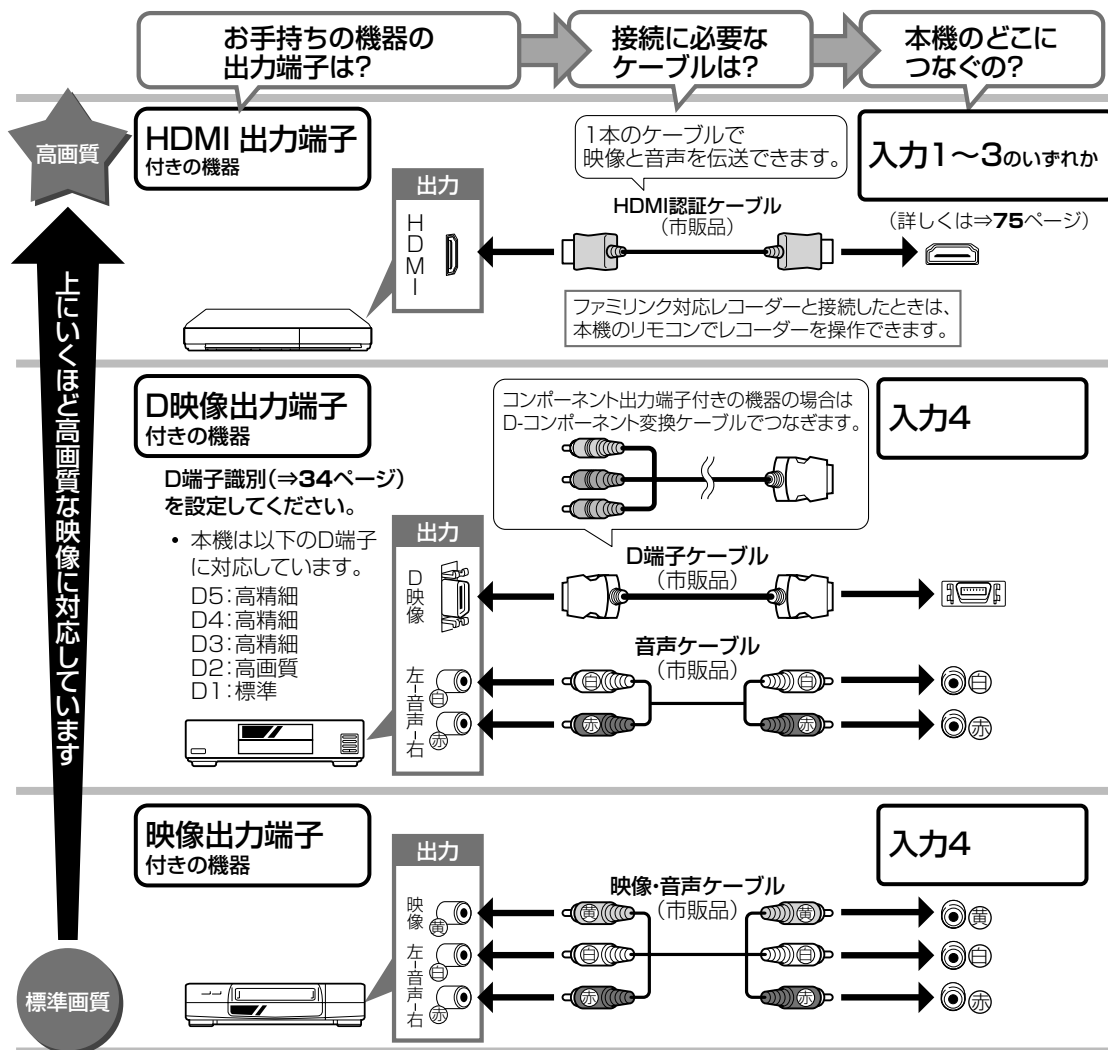
◇**おしらせ**◇

- MHL に対応しているのは入力 2 のみです。他の端子に接続しても動作しません。
- テレビがスタンバイ状態でコンセントを抜き差ししたときは、テレビの電源を入れるまでの間、MHL 接続による連動起動は動作しません。
- 本製品は、MHL1 をサポートしています。
- テレビの起動直後は、MHL 接続による自動入力切換は動作しません。
- スマートフォンのバッテリー残量がない場合は充電できないことがあります。
- 「連動起動設定」（⇒ **66** ページ）を「しない」に設定していて、テレビがスタンバイ状態のときに MHL 接続した場合は、スマートフォンが充電されないことがあります。

レコーダー・プレーヤー・ゲーム機などをつなぐ

よりきれいな映像を楽しむためには

・お手持ちの録画・再生機器の出力端子を確認し、高精細・高画質に対応した出力端子とつなぐと、よりきれいな映像が楽しめます。

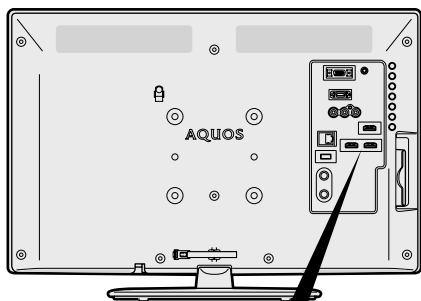
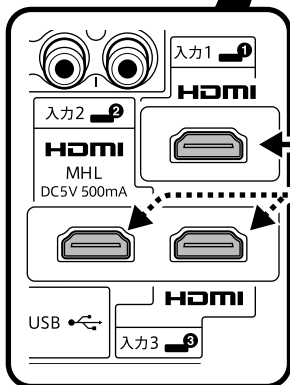
◇おしらせ◇
・映像・音声ケーブルは先端部と同じ色の端子（㊩と㊩、㊋と㊋、㊍と㊍）につなぎます。
・高精細・高画質に対応した端子でも、標準画質で入力された映像は標準画質になります。

接続するときに気をつけること
・接続の前に、接続する機器と、本機の電源を切ってください。
・接続ケーブルのプラグは奥までしっかり差し込んでください。しっかり差し込めていないと、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
・接続ケーブルを端子から抜くときは、ケーブルを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。
・複数の機器を接続したときは、お互いの干渉を防ぐため、使わない機器の電源は切ってください。
・接続した機器の再生映像や音声にノイズや雑音が出るときは、接続した機器と本機を十分に離してください。

レコーダーやプレーヤー側の接続端子について
・詳しくは、レコーダーやプレーヤーの取扱説明書を併せてお読みください。

レコーダーをお持ちの場合
・プレーヤーなどの機器を接続するときは、本機に直接接続してください。レコーダーを通して本機で映像を見ると、コピーガード機能の働きにより、映像が正常に映らないことがあります。

HDMI 出力端子が付いた機器の場合

HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED（ハイスピード）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

対応している映像信号

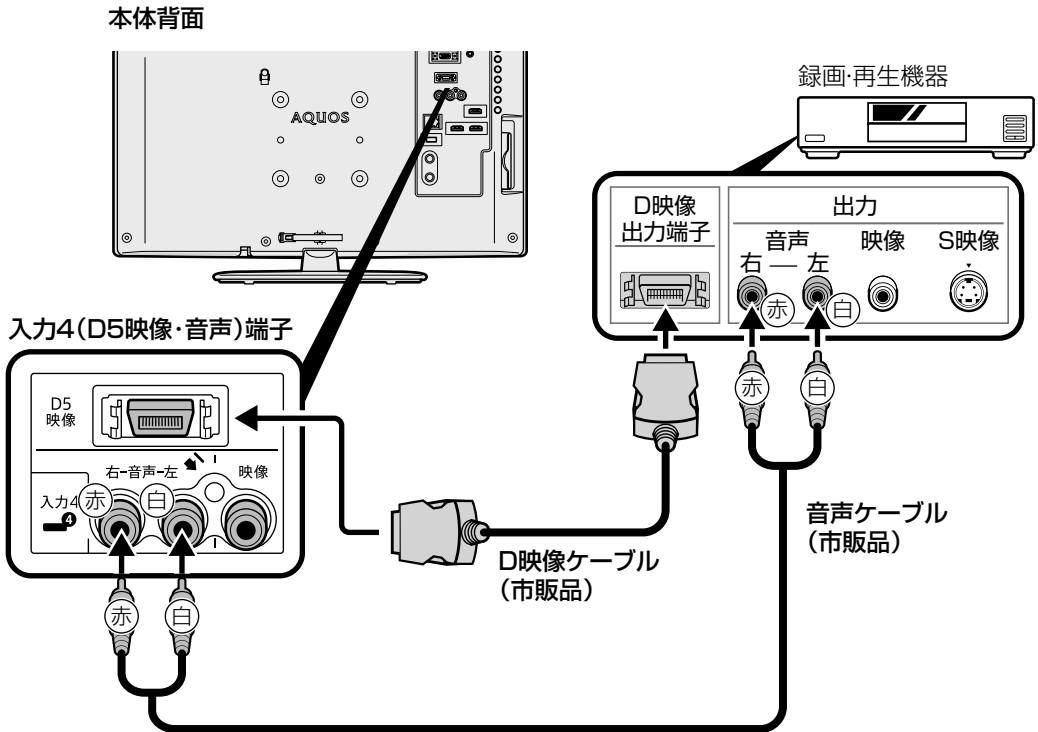
- 1080p（24Hz/30Hz/60Hz）、720p（30Hz/60Hz）、1080i、480p、480i、VGA

対応している音声信号

- 種類：リニア PCM、AAC※
  サンプリング周波数：48kHz ／ 44.1kHz ／ 32kHz

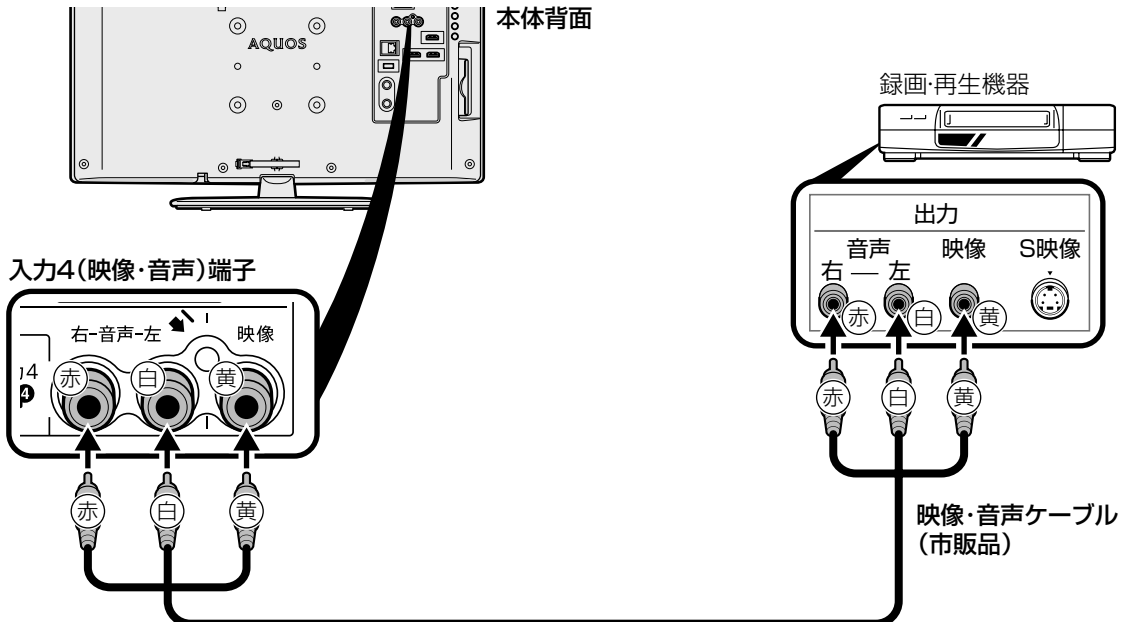
※デジタル放送は、限られた電波を有効利用するため、映像や音声などを圧縮してから送信されます。
AACはデジタル放送で利用されている音声圧縮方式で、圧縮率が高いにもかかわらず、高音質で多チャンネル音声（5.1 チャンネルサラウンドなど）にも対応できる方式です。

◇**おしらせ**◇

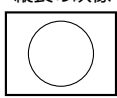
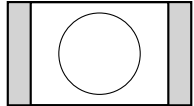
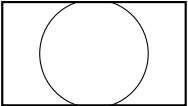
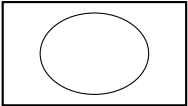
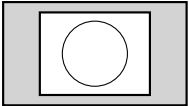
- 入力 3 にレコーダーなどを接続するときは、「入力音声選択」（⇒ **33** ページ）を「HDMI のみ」にしてください。（工場出荷時は、「HDMI のみ」に設定されています。）
- ファミリンクに対応していない機器をつないだとき、その機器の電源が勝手に入ったりチャンネルが切り換わってしまう場合は、「ファミリンク制御（連動）」を「しない」に設定してください。（⇒ **67** ページ）

D 映像出力端子が付いた機器の場合

• 録画·再生機器に HDMI 端子も D 映像端子もない場合、映像端子につなぎます。**下記**をご覧ください。

映像出力端子が付いた機器の場合

• 接続が終わるまで、本機と録画機器の電源を入れないでください。

パソコンとつないで使う

パソコンの
モニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC）のDVI出力・RGB出力の解像度を確認してください。パソコンが以下の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。
- 接続方法は、⇒ **78** ～ **79** ページを確認してください。

本機が対応している解像度

解像度（画素）		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
480p	720 × 480	31.5	60	
1080i	1920 × 1080	33.8	60	
720p	1280 × 720	45.0	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	

◇おしらせ◇

- 画面の明るさや色の調整などについては「映像調整」（⇒ **30** ページ）をご覧ください。
- 省エネの設定をすることができます。（⇒ **32** ページ）
- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧になり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。画面サイズの種類については、⇒**下記**をご覧ください。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出ることがあります。

パソコンの画面を表示させる／画面サイズを選ぶ

1. **パソコン（PC）の電源を入れる**
2. **入力切換ボタンを押して、入力切換メニューを表示し、パソコンを接続した入力を選ぶ**
   - パソコンの画面が表示されます。
3. **ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「視聴操作」を選ぶ**
4. **「画面サイズ」を選ぶ**
5. **画面サイズ切換メニューから、お好みの画面サイズを選ぶ**
   - 画面の調整が必要なときは、⇒**下記**をご覧ください。

入力１～３に接続したパソコンの画面を調整する

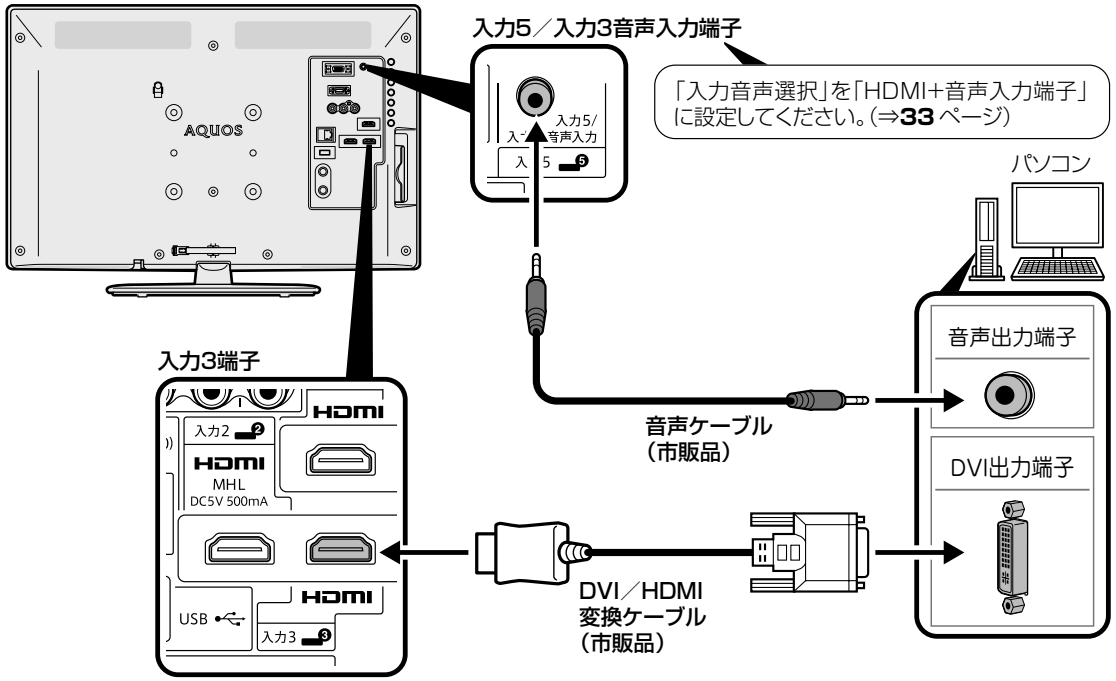
- ホームメニューから「設定」－「（機能切換）」－「画面表示設定」－「画面位置」で設定します。（⇒ **34** ページ）

◇おしらせ◇

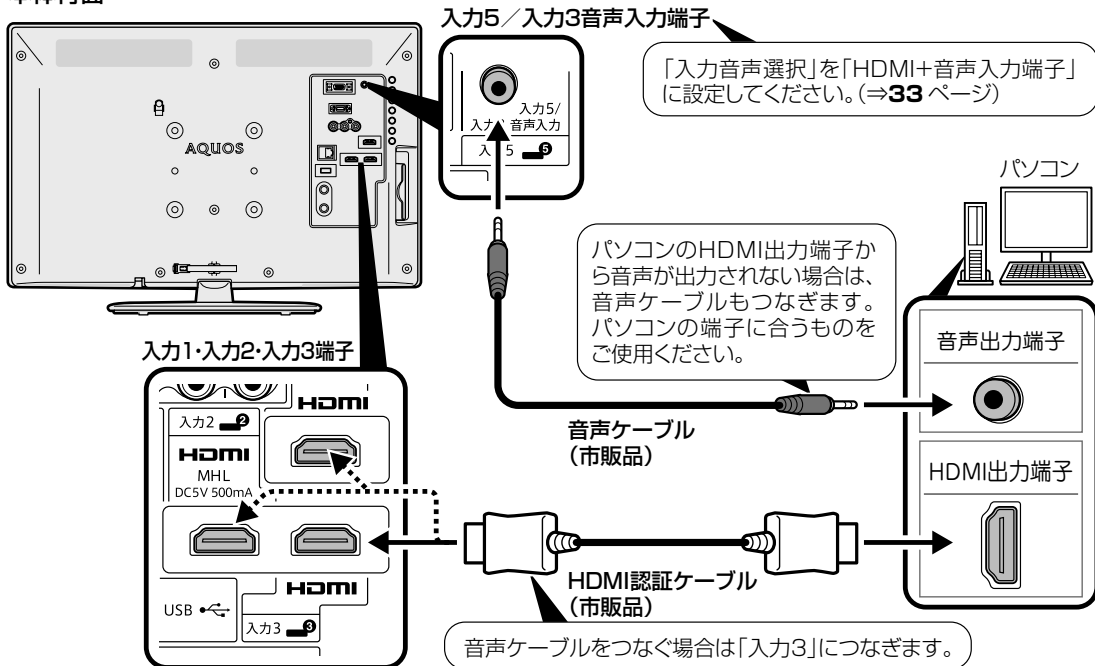
- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。シャープ製のノート型パソコンの場合では、FnキーとF5キーを同時に押すと、外部出力が有効になります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの解像度、「画面サイズ」の設定により「画面位置」を設定できない場合があります。

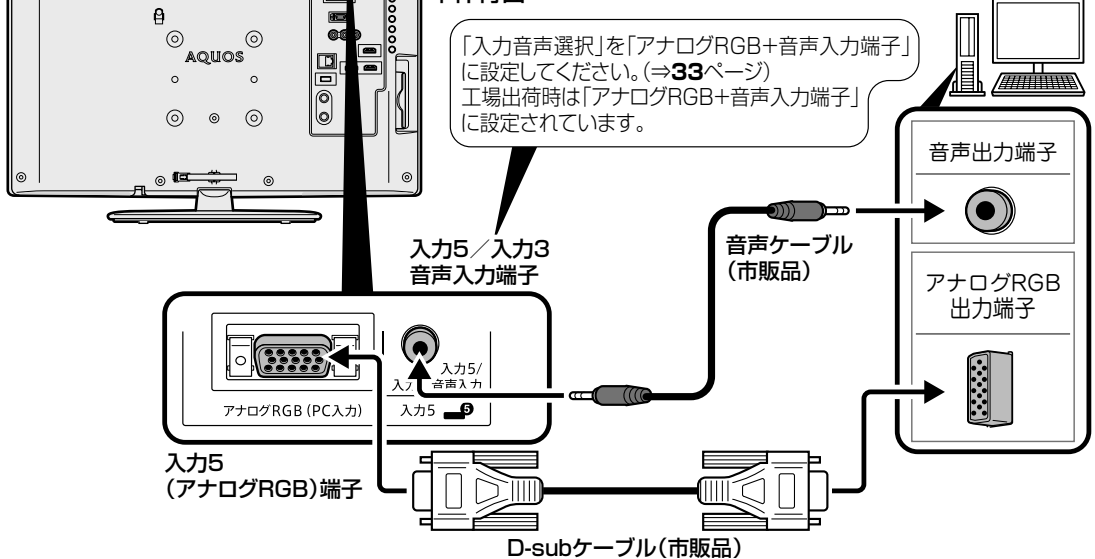
本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

本機を DVI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

本体背面

- 市販の DVI/HDMI 変換ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。
- 本機の HDMI 端子とパソコンの DVI 端子を変換ケーブルで接続しても、パソコンによっては HDMI 規格に対し十分サポートされていないものもあり、パソコンの画面が正しく表示されなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときには「この入力信号には対応しておりません」と表示されます。その場合はお使いのパソコンの取扱説明書にもとづき本機で対応している信号に設定してください。

本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（デジタル接続）

- 市販の HDMI 認証ケーブルが必要です。

本機をアナログ RGB 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合（アナログ接続）

- 市販の D-sub ケーブルと音声ケーブルが必要です。
- 音声ケーブルはパソコンの端子に合うものをご使用ください。

デジタル放送の受信の設定を個別に行うときは

デジタル放送用アンテナの設定をする

- デジタル放送用のアンテナの接続を変更したときなどは、再度アンテナ設定画面を見ながらアンテナ電源の設定やアンテナの向きを調整します。（初めて設置するときや引っ越したときなどは、「かんたん初期設定」（⇒**「かんたん !! ガイド」（巻末）12 ～ 14** ページ）を行ってください。）
- 地上デジタル放送にはアンテナ電源入／切の設定はありません。

アンテナ電源の設定

項目	内容
オート	• 個人でアンテナを設置している場合に選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナ電源の設定を自動的に制御してアンテナに電源を供給します。（リモコンで電源を切ったときは、アンテナ電源も切れた状態になります。）
入	• 「オート」を選んで BS デジタル放送が受信できたりできなかったりするときは、「入」を選びます。 • 本機の電源が入っているとき、アンテナに電源を供給します。リモコンで本機の電源を切ったときも、常にアンテナ電源は「入」になります。
切	• 共聴アンテナに接続しているときなど、電源を供給しないときに選びます。 • アンテナ電源が常に「切」になります。

アンテナ設定画面について

- 共聴アンテナなどに接続したときの「BS・CS アンテナ電源」の設定を誤って「入」にしたり、新しくアンテナの接続を変更したりした場合で、「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナの接続を確認してください。」などのお知らせが表示されたときは、電源を入れ直してください。
- アンテナ設定画面は無操作のまま 1 分経過しても消えません。消すときは、終了ボタンを押してください。

アンテナの電源の設定を変える／電波の強さ（受信強度）を確認する

- アンテナに電源を供給するかどうかの設定と、受信強度の確認・調整をします。

◆ **重　要** ◆

- アンテナ電源供給の設定は、アンテナに対して電源を供給するためのものです。もし、本機とアンテナの間にブースターなどの機器を接続して使用される場合は、専用の電源が必要です。

1 **BSボタンを押し、BSデジタル放送を選ぶ**

- 画面に「放送が受信できません」と表示されても、設定できます。
- 「チャイルドロック」（⇒ **32** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **32** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

3 **「アンテナ設定」を選ぶ**

4 **「電源・受信強度表示」を選ぶ**

◆ アンテナに電源を供給するための設定

5 **BS・CSアンテナ電源で、「オート」「入」「切」のいずれかを選ぶ**

◆ 受信強度の調整

6 **受信強度が最大になるように、アンテナの向きを調整する**

- 受信強度が 60 以上になるように、アンテナの向きを調整してください。（アンテナの向きの調整が済んでいる場合は、この手順は必要ありません。）

7 **調整が終わったら決定ボタンを押す**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

- **80** ページの手順 **6** で「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、**101** ページをご覧になり適切な処置を行ってください。
- **80** ページの手順 **5** または手順 **6** の画面で、「受信状態一覧へ」を選び決定を押すと受信状態一覧画面が表示されます。（⇒ **88** ～ **89** ページ）
- 受信強度表示はアンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な受信強度などを示すものではありません。（表示される数値は、受信 C/N※の換算値です。）
  ※ 受信 C/N とは放送に関する信号とノイズなどの不要な信号の割合です。

デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）をするときは

- 各デジタル放送の信号テストができます。

（例） BSデジタル放送の信号テストをする

1 **80ページの手順1～3を行い、「信号テストーBS」を選び、決定する**

2 **カーソルボタンで確認したい項目を選び、決定する**

- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。
- 「受信状態：良好です。【A】」と表示されないときは、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **101** ページ）をご覧になり、適切な処置を行ってください。

3 **カーソルボタンで「終了」を選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇おしらせ◇

地上デジタル放送・110 度 CS デジタル放送の受信強度の確認（信号テスト）について

- 手順 **1** で「信号テストー地上 D」または「信号テストー CS」を選び、決定ボタンを押します。あとは同じ要領で行ってください。

周波数設定について

- 手順 **1** で「周波数設定」を選ぶと、新しい衛星が追加されたり現在の衛星が故障したりした場合などに、新しい周波数を入力することで受信に必要な情報を取得できます。
  通常は、設定する必要はありません。
  （例：BS15 のアンテナ受信周波数 11996 を入力すると 15ch の受信強度が表示されます。）

お住まいの地域向けの地上デジタル放送を受信するために（地域選択／郵便番号設定）

- 地上デジタル放送の地域情報（緊急ニュースなどの文字情報やデータ放送などの地域情報）をお住まいの地域に合わせる設定です。

地域選択

1 **ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「地域選択」を選ぶ**

4 **お住まいの地域を設定する**

- 地域選択を変更した場合は、あとで「チャンネル設定」から「地上デジタルー自動」を行ってください。（⇒ **82** ページ）

郵便番号設定

1 **ホームメニューから「設定」ー「（視聴準備）」ー「テレビ放送設定」を選ぶ**

2 **「地域設定」を選ぶ**

3 **「郵便番号設定」を選ぶ**

4 **数字ボタン（チャンネルボタン）で郵便番号を入力する**

- 入力した番号を修正するときは、修正したい欄を左右カーソルボタンで選び、数字ボタン（チャンネルボタン）で数字を選び直します。

地上デジタル放送のチャンネルを追加したり設定をやり直すときは

- 地上デジタル放送のチャンネル設定を再度行う場合の手順です。**チャンネル設定の前に、必ず「地域設定」**（⇒ **81** ページ）**をしてください。**

1 **地上デジタル放送を選局する**

2 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

3 **「チャンネル設定」－「地上デジタル」を選ぶ**

4 **「地上デジタル－自動」を選ぶ**

5 **「する」に設定する**

◆ 重 要 ◆

「地上デジタル－自動」を行った後で、新しく放送が開始されたチャンネルを追加するときは

- 「地上デジタル－自動」の代わりに「地上デジタル－追加」を選びます。すでに登録されているチャンネルはそのまま残り、新しく確認されたチャンネルが追加されます。追加が終わったら、「終了」で決定ボタンを押します。

◇おしらせ◇

地上デジタル放送の CATV（ケーブルテレビ）放送対応について

- CATV による地上デジタル放送の視聴については、お客様が契約されている CATV 会社にお問い合わせください。
- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は、「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。
- CATV パススルー方式とは、CATV 配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。

デジタル放送のチャンネルの個別設定

- 登録したデジタル放送のチャンネルは、次の設定内容を変更できます。

項目	内容
数字ボタン	• リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）を押したときに受信するチャンネルを設定します。
枝番	• 受信した放送局の 3 桁チャンネル番号が重複している場合は、4 桁め（枝番）を変更して区別できます。（地上デジタル放送のみ）
スキップ	• 選局（∧順／∨逆）ボタンで選局をしたときに、視聴しないチャンネルを飛ばせます。 「する」でスキップが設定され、「しない」で解除されます。

1 **地上D、BS、CSボタンのいずれかを押し、デジタル放送を選ぶ**

- 「チャイルドロック」（⇒ **32** ページ）をかけているとき、「地デジ限定設定」（⇒ **32** ページ）を「有効」にしているときなど、放送を切り換えることができない場合があります。

2 **ホームメニューから「設定」－「（視聴準備）」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

3 **「チャンネル設定」を選ぶ**

4 **「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選ぶ**

- 「BS デジタル」または「CS デジタル」を選んだ場合は、手順 **6** に進みます。

5 **「地上デジタル－個別」を選ぶ**

6 **①上下カーソルボタンで変更したいチャンネルを選び、決定する**

②左右カーソルボタンで「数字ボタン」を選び、決定する

- 枝番を入力する場合は、「枝番」を選び、(1) ～ (9) を押します。
- チャンネルをスキップする場合は、「スキップ」を選び、左右カーソルボタンで「する」を選びます。このメニューで行ったスキップ設定は、⇒ **83** ページのチャンネルスキップ設定と連動します。

7 **数字ボタンで入力欄に数字を入力して、決定する**

- 数字ボタンが重複している場合は、「数字ボタンが重複しています。置き換えますか？」と表示されます。（枝番の場合は「枝番が重複しています。置き換えますか？」と表示されます。）

数字ボタンを置き換える場合

- 手順 **8** に進みます。

置き換えずに別の数字にする場合

- 画面の「戻る」を選び、別の数字を入力して決定ボタンを押してください。

8 **「確認」を選ぶ**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

地上デジタル放送の受信チャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、1 ～ 12 の数字ボタン（チャンネルボタン）の番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。従って、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。ただし、お住まいの地域により、隣接する他地域の放送も受信できることがあります。この場合は、3 桁チャンネル番号が重複することがあります。このときは、さらにもう 1 桁（これを「枝番」といいます）を入力して選局することになります。

チャンネルスキップ設定

- 通常の選局時と番組表を使った選局時の、チャンネルのスキップ設定を次のように変更できます。

項目	内容
両方する	• 選局時と番組表のどちらもスキップします。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と、番組表のどちらにも、表示されなくなります。
番組表のみ	• 番組表のみ表示されなくなります。 • 選局時は表示されます。
選局のみ	• 選局時のみ表示されなくなります。 • 番組表には表示されます。
両方しない	• 選局時と番組表のどちらもスキップされません。 • この設定をしたチャンネルは、選局時と番組表のどちらにも表示されます。

1 **「地上D」「BS」「CS」ボタンのいずれかを押して、デジタル放送を選ぶ**

2 **ホームメニューを表示して、「設定」－「(視聴準備)」－「テレビ放送設定」を選ぶ**

3 **上下カーソルボタンで「スキップ設定」を選び、決定する**

4 **上下カーソルボタンで「地上デジタル」「BSデジタル」「CSデジタル」のいずれかを選び、決定する**

5 **手順4で「地上デジタル」または「BSデジタル」を選んだ場合は、上下カーソルボタンで「放送事業者」を選び、決定する**

- 「スキップ設定を一括で行うか個別に行うかを選択してください」と表示されますので、手順 **6** に進みます。

手順4で「CSデジタル」を選んだ場合は、スキップ設定したい3桁番号の範囲を選び、決定する

- 手順 **7** に進みます。

6 **カーソルボタンで「一括設定」または「個別設定」を選び、決定する**

- 「一括設定」を選んだ場合は、「この放送事業者内の全てのチャンネルを番組一覧表と、選局順逆時にスキップしますか？」と表示されますので、手順 **8** に進みます。
- 「個別設定」を選んだ場合は、手順 **7** に進みます。

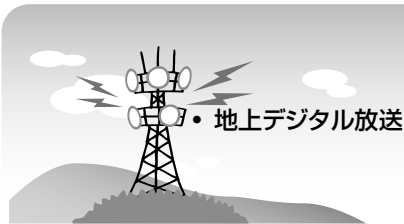
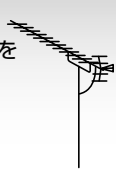
7 **上下カーソルボタンでスキップ設定したいチャンネルを選び、決定する**

8 **カーソルボタンで「両方する」「番組表のみ」「選局のみ」「両方しない」のいずれかを選び、決定する**

- 操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できないため、工場出荷時の設定は、「両方する」になっています。この放送を視聴する場合は、BS デジタルの「地デジ難視対策衛星放送」を「一括設定」で「両方しない」に設定してください。

放送の種類について

UHF アンテナ
地上デジタル放送を
受信できます。

地上アナログ放送

- **本機では、地上アナログ放送を受信できません。**

地上デジタル放送

- 2003 年 12 月から東京・大阪・名古屋の3 大都市圏の一部地域で開始され、2006 年12 月に全国の都道府県庁所在地で開始された放送です。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 高音質と多チャンネル放送
- 天気予報やニュースなどの、番組に連動したデータ放送
- 視聴者参加型の双方向通信番組

受信に必要なアンテナ

- UHF 対応のアンテナが必要です。お使いのアンテナが UHF 対応であればそのまま使えます（取り替えや調整が必要になることもあります）。**VHF アンテナでは受信できません。**

地上デジタル放送の CATV 放送対応について

- 本機で受信できるケーブルテレビ（CATV）の方式は「パススルー方式」（UHF 帯、ミッドバンド［MID］帯、スーパーハイバンド［SHB］帯、VHF 帯）です。トランスモジュレーション方式の場合、ケーブルテレビ専用受信機を介して視聴できます。

◆ 重 要 ◆

- データ放送の双方向通信などで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

デジタル放送のその他の特長

臨時放送（臨時編成サービス）

- スポーツ中継の延長などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。

イベントリレーサービス

- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。案内画面が表示されるので、決定ボタンで切り換えます。延長された番組を録画予約していた場合、自動的に追従します。
  ※ ファミリンク録画予約（⇒ **71** ページ）の場合、お使いの AQUOS レコーダーによっては追従されません。

マルチビューサービス

- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの映像が放送されるサービスです。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選んで切り換えます。

緊急警報放送

- 地震などの際の緊急警報放送です。

ご案内チャンネルの表示

- 非契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

ブックマーク

- コンテンツ画面にブックマーク※アイコンが表示されているときは、その情報（ブックマーク記録コンテンツ）を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出すことができます。
  ※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するための絵文字（ブックマークアイコン）が表示されます。

◇**おしらせ**◇

- ARIB 放送規格の変更により、本機のホームメニューなどの仕様が変わる場合があります。
- ARIB（Association of Radio Industries and Businesses）とは、通信・放送分野の電波利用システムの標準化や、電波利用に関する調査、研究などを行う社団法人の名称です。

- **BSデジタル放送**
- **110度CSデジタル放送**

BS・110 度 CS 共用アンテナ
BS デジタル放送も 110 度 CS デジタル放送も、このアンテナで受信できます。
(他の衛星放送は、衛星の向きが違うため受信できません。)

BS デジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使ったデジタル放送です。
- 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch ～ BS298ch）は一般の方は視聴できない放送のため、非視聴に設定されています。この放送を視聴される場合は、スキップ設定を「両方しない」に設定してください。（スキップ設定⇒ **83** ページ）
- 有料放送を視聴するときは、受信契約する必要があります。

特長

- 迫力あるワイド画面とデジタルハイビジョンの高画質
- 視聴者参加型の双方向通信番組
- 2 種類のデータ放送（独立データ放送・番組に連動したデータ放送）

受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。

110 度 CS デジタル放送

- BS デジタル放送用人工衛星と同じ東経 110 度にある通信衛星（Communication Satellite）を使ったデジタル放送です。おもなサービスに「スカパー！」があります。110 度 CS デジタル放送は一部を除き有料です。受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。

特長

- テーマ別に専門化した多数のチャンネル
- 画面をブックマーク登録し、簡単に再表示可能
- ボード（掲示板）機能でサービス情報の案内を閲覧可能

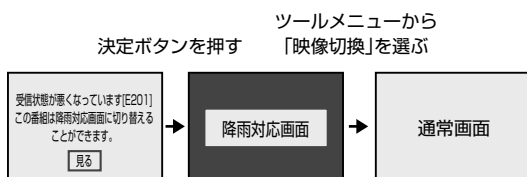
受信に必要なアンテナ

- BS・110 度 CS デジタル放送共用のアンテナ（市販品）が必要です。
- **従来の CS アンテナや BS アナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応したものに交換する必要があります。**

BS デジタル放送のみの専用サービス

降雨対応放送

- 降雨・降雪による電波減衰時に画質や音質を落とした信号を放送するサービスです。案内画面が表示されたときに、決定ボタンで切り換えます。ツールメニューを表示して、「映像切換」を選ぶと元の映像に戻れます。

（画面例）

110 度 CS デジタル放送のみの専用サービス

ボード（掲示板）

- プラットフォーム（スカパー！）単位で、いろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。ホームメニューからボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。（⇒ **35** ページ）

（画面例）

WOWOW や スカパー！ などの 有料放送を見るときは

- 有料放送を視聴するには、スカパー！などの各プラットフォーム（運営会社）や放送局との視聴契約が必要です。それぞれの契約申込書に必要事項を記入し、郵送するか、下記にお問い合わせください。

2013 年 2 月現在

WOWOW

WOWOW カスタマーセンター

電話番号	0120-580807
受付	9：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ	http://www.wowow.co.jp/

スター・チャンネル

スター・チャンネル　カスタマーセンター

電話番号	0570-013-111　または 045-650-4724
受付	10：00 ～ 18：00（年中無休）
ホームページ	http://www.star-ch.jp/

- スター・チャンネル　ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー！　カスタマー センターへお問い合わせください。

スカパー！

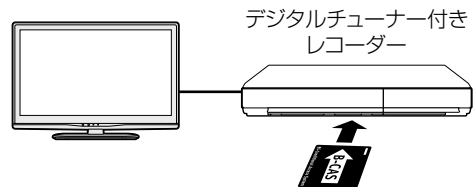
スカパー！カスタマーセンター（総合窓口）

電話番号	0570-039-888（ナビダイヤル） PHS、IP 電話のお客様は 03-4334-7777
受付	10：00 ～ 20：00（年中無休）
ホームページ	http://www.skyperfectv.co.jp/

◇おしらせ◇

- 本機には、電話回線端子がありませんので、電話回線を使用した新規加入のお申し込みはできません。

デジタルチューナー付きレコーダーで有料放送の受信契約をしている場合について

- お手持ちのデジタルチューナー付きレコーダーで有料放送を録画するときは、有料放送の受信契約時に登録した B-CAS カードをレコーダーに挿入しておく必要があります。挿入していないと、有料放送が録画できません。

有料放送で登録したB-CASカードは、レコーダーに挿入します。

- レコーダーで受信している内容を本機で視聴したいときは、リモコンの入力切換ボタンでレコーダーが接続されている外部入力に切り換えてください。
- 有料放送を録画しながら別の有料放送を視聴したい場合は、複数の有料受信契約をする必要があります。

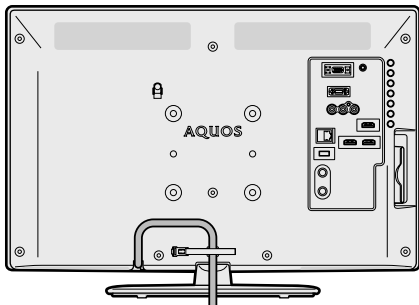
故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「保証とアフターサービス」（⇒ **106** ページ）をご覧ください。

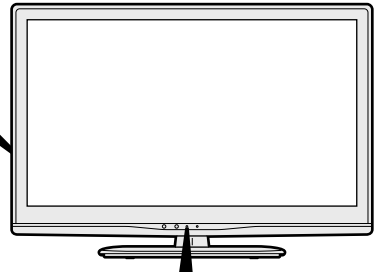
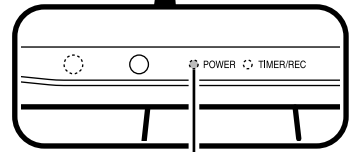
故障かな？と思ったら ➡

まず確認してください

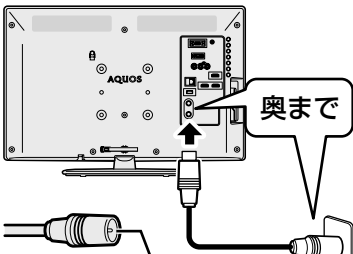
電源が入らない

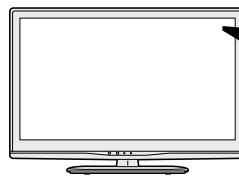
電源コードのプラグを奥まで確実に差し込んでください(⇒「かんたん!! ガイド」(巻末)9ページ)

本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。

ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください(⇒12ページ)

- 本機は本体の電源ボタンを押して切っても電源ランプは消えません。リモコンで電源が入ります。
- 電源ランプを消し、リモコンで電源が入らないようにするには、「電源ボタン設定」で「モード 2」に変更してください。（⇒ **30** ページ）

POWER（電源）ランプ
・緑色点灯：動作状態　・消灯：電源オフ状態
・赤色点灯：待機状態

TV 放送が見られない

アンテナケーブルの端子を奥まで確実に差し込んでください(⇒「かんたん !! ガイド」（巻末）5 ～ 8 ページ)

ビデオ・DVD が見られない

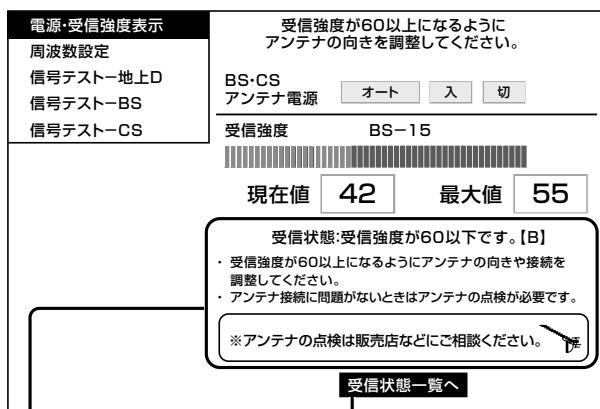
リモコンの入力切換ボタンを繰り返し押して、見たい機器の入力を選んでください(⇒ 25 ページ)

放送が受信できないときに確かめること

放送が受信できないときは

以下の画面は一例です。
確認のしかたが異なる場合は、画面の指示に従ってください。

1 画面のメッセージを確認し、決定する

を押す

- 受信状態が悪い場合、次のような画面が表示されます。

BS 103chが受信できません。[E202]
リモコンで放送切換や選局を確認ください。
アンテナの調整・接続を確認ください。
（決定）で受信強度を確認します

現在放送されていません。 [E203]
番組表などで放送時間を確認してください。
雨や雪などの天候の影響で
一時的に受信できない場合もあります。
（決定）で受信強度を確認します

2 受信状態に応じた対処のしかたを確認し、「受信状態一覧へ」を選ぶ

で選び
（決定）
を押す

受信状態に応じた対処のしかたが表示されます。

「受信状態一覧へ」を選んだ状態で（決定）を押すと受信状態一覧画面が表示されます。

3 デジタル放送の受信強度や受信できるチャンネルなどを確認する

- 直前に視聴していた放送（「地上デジタル」または「BS デジタル」「110 度 CS デジタル」のいずれか一方）が一覧で表示されます。

受信できないチャンネルがあるときは
ここをお確かめください。

現在の受信状態の説明と解決方法

放送局	3桁		受信強度 XXXX/XX/XX	受信強度 現在	状態
NHK総合･東京	011	1	87	64	A
NHK Eテレ東京	021	2	87	65	A
日本テレビ	041	4	90	66	A
TBS	061	6	82	41	C
フジテレビジョン	081	8	77	35	C
テレビ朝日	051	5	85	53	B
テレビ東京	071	7	80	39	C
放送大学	121	12	80	43	C
tvk	−		32	0	☆E

BS 衛星信号	受信強度 現在	状態	CS 衛星信号	受信強度 現在	状態
BS−1	94	A	CS−2	90	A
BS−3	94	A	CS−4	86	A
BS−5	94	A	CS−6	67	A
BS−7	94	A	CS−8	69	A
BS−9	94	A	CS−10	46	B
BS−11	−	−	CS−12	45	B
BS−13	94	A	CS−14	43	B
BS−15	94	A	CS−16	56	D
BS−17	94	A	CS−18	42	B
BS−19	94	A	CS−20	31	B
BS−21	94	A	CS−22	41	C
BS−23	94	A	CS−24	1	C

現在割り当てられているリモコンの数字ボタン

- 受信している放送局はリモコンの数字ボタンに自動で割り当てられます。
  数字ボタンが割り当てられていない場合は、3桁入力で選局できます。

受信状態一覧で、最新の状態を表示するには

- 決定を押します。（表示が切り換わるまで時間がかかる場合があります。）

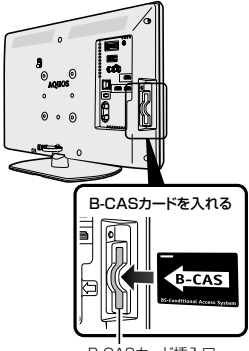
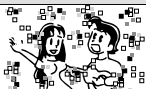
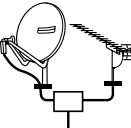
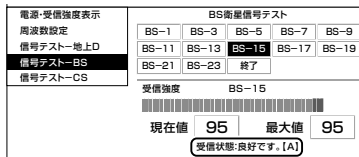
4 確認したら、受信状態一覧の画面を消す

終了 ○ を押す

- アンテナとの接続について⇒ **「かんたん !! ガイド」（巻末）5 ～ 8** ページをご覧ください。
- かんたん初期設定をやり直すとき⇒ **「かんたん !! ガイド」（巻末）12** ページをご覧ください。

◇おしらせ◇

BS・110 度 CS デジタル放送について

- デジタル放送には有料放送があります。視聴するには、視聴契約する必要があります。
  BS・110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、視聴契約がお済みかどうかご確認ください。

テレビが正しく映らないときや画質が悪いときは
（[E202] と表示される）

故障ではないことがあります。
お電話をする前に、
ここをお確かめください。

こんな症状が出るときは	▶ここをお確かめください	▶参照ページ
映像も音声も出ない	・アンテナケーブルは接続されていますか。	**「かんたん!!ガイド」(巻末)** **5〜8**
	・端子を間違えて接続していませんか。	**ー**
	・アンテナケーブルが切れていませんか。	**ー**
	・BS･CS アンテナ電源設定を「オート」にしてみてください。「オート」に設定している場合は「入」にしてみてください。	**80**
	・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。 B-CASカードを入れる B-CASカード挿入口	**「かんたん!!ガイド」(巻末)** **11**
映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする。 **音声が途切れる。** **映像が映らない／映らなくなる。**	・アンテナの向きは正しいですか。	**ー**
	・「受信状態：良好です。【A】」と表示されていることを確認してください。表示が異なる場合は、アンテナ受信強度に関するエラーメッセージ（⇒ **101** ページ）をご覧になり必要な処置をしてください。 電源･受信強度表示 / 周波数設定 / 信号テストー地上D / 信号テストーBS / 信号テストーCS BS衛星信号テスト BS−1 BS−3 BS−5 BS−7 BS−9 BS−11 BS−13 BS−15 BS−17 BS−19 BS−21 BS−23 終了 受信強度 BS−15 現在値 95 最大値 95 受信状態:良好です。[A]	**80**
	・110 度 CS デジタル放送の場合は、アンテナケーブルや分配器は 110 度 CS 帯域対応のものを使用していますか。	**ー**
BSデジタル放送の一部のチャンネルが視聴できない	・WOWOW やスターチャンネルは有料です。 視聴するためには契約をしてください。	**86**
	・地デジ難視対策衛星放送については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。 （0570-08-2200）	**83**
110 度 CS デジタル放送が視聴できない	・アンテナやアンテナケーブル、分波器は 110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応のものを使用していますか。	**「かんたん!!ガイド」(巻末)** **5〜8**
画面にノイズが出る	・ノイズが出るときはケーブル同士を離すと軽減されることがあります。	**ー**
	・アンテナケーブルは正しく接続されていますか。	**「かんたん!!ガイド」(巻末)** **5〜8**
特定のチャンネルだけ映らない	・有料放送は視聴契約が必要です。	**86**
	・アンテナの受信強度を確認してください。	**80**

・アンテナの接続については、**「かんたん !! ガイド」（巻末）5** 〜 **8** ページをご覧ください。

全般について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 ・テレビ放送を見たいのに、ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 ・外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切換ができていますか。 ・接続ケーブルが抜けていませんか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 9 12 25 25 –
リモコンが動作しない	・POWER（電源）ランプが緑色に点灯していますか。 ・乾電池の極性（⊕、⊖）が逆になっていませんか。 ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ・リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 ・リモコン番号が本体と一致していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。 以下の場合は、リモコンで動作しにくくなります。 ・リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 ・照明の向きを変えるなどしてみてください。 ・蛍光灯などが近くにありませんか。 ・受信設備の消耗減衰のために（映り等に影響する場合もあります）操作切換が遅くなることがあります。（天候等の環境で受信強度の数値が変動するとノイズの影響を受けます。） ・電池の端子が酸化（薄黒く）していませんか。 ・室温が極端に低下していませんか。	12 「かんたん!!ガイド」(巻末) 2 「かんたん!!ガイド」(巻末) 2 「かんたん!!ガイド」(巻末) 2 10～11 –
映像は出るが音声が出ない	・音量調整が最小になっていませんか。 ・「消音」状態になっていませんか。 ・ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 ・D映像端子を使用する場合、音声端子も接続していますか。 ・入力３の場合「入力音声選択」が「HDMI＋音声入力端子」になっていませんか。 ・入力５の場合「入力音声選択」が「アナログRGBのみ」になっていませんか。	12 12 9 74 33 33
BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らない、BDプレーヤーなどの外部機器の映像が映らなくなった	・外部機器の電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・外部機器を接続している入力を選んでいますか。 ・外部機器からアンテナケーブルがはずれていませんか。	– – 25 –
音声は出るが映像が出ない	・映像オフが「する」になっていませんか。 ・映像ケーブルが抜けていませんか。	32 74
色が薄い 色あいが悪い	・「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	30

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面が暗い	・「明るさ」、「映像」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	**30 ～ 31**
黒色が潰れる	・「明るさ」、「黒レベル」、「プロ設定」－「ガンマ設定」を調整してみてください。	**30 ～ 31**
画面が大きくなったり、小さくなったりする	・オートワイド機能が「する」になっていませんか。設定を「しない」に変更してください。	**34**
画面がちらついたりざらついたりする	・「プロ設定」の「デジタル NR」を、「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。	**31**
テレビの上部が熱い	・内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通って抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。	**－**
画面右下に「温度」または「モニター温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	・本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 ・本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 ・本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。	**－** **－** **－**
リモコンや本体のボタンの操作ができない	・外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」(⇒ **30** ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて約 1 分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 ・「地デジ限定設定」が「有効」に設定されていませんか。 ・チャイルドロックが設定されていませんか。 ・本体とリモコンのリモコン番号を同じ番号に設定していますか。画面左下に「リモコン番号の設定が異なります。」と表示されているときは、リモコン番号の設定が必要です。	**－** **32** **32** **30**
ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	**－**
時刻表示が画面に出ない	・「時刻表示」の設定は「する」になっていますか。	**30**
時刻表示が消えない	・リモコンの画面表示ボタンを繰り返し押してみてください。	**20**
字幕表示が画面に出ない	・放送によっては、字幕を送っていない場合があります。 ・字幕の表示方式が「表示しない」になっていませんか。	**－** **18 ～ 19**
入力切換をしても選べない	・入力スキップが「しない」に設定されていますか。	**26**
電源が勝手に切れる	・自動で電源がオフになるモードになっていませんか。受信機レポートで確認してください。	**35**

デジタル放送関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
? 映像も音声も出ない	• 個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置しているのに、アンテナ電源が「切」になっていませんか。個人でBS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置し、そのアンテナに複数の機器を接続している場合で、本機以外の機器の中にも必要に応じてアンテナへ電源を供給する設定がある場合、電源供給のタイミングによってはどちらからも電源供給されない状態になり、映像も音声も出なくなる場合があります。このときは、本機のアンテナ電源を「入」にしてください。 • その局が放送していない時間帯ではありませんか。 • ビデオ入力などに切り換えられていませんか。 • B-CASカードは正しく挿入されていますか。	80～81 – 25 「かんたん!!ガイド」(巻末) 11
• 映像にノイズ(モザイク状／ブロック状)や線が入ったり、ちらついたりする • 音声が途切れる • 映像が映らない／映らなくなる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 受信状態を確認してください。 • アンテナの前方に障害物はありませんか。 • アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	– 80～81・88～89 80～81・88～89 – 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8
BSデジタル放送の一部が視聴できない	• B-CASカードは正しく挿入されていますか。 • 有料放送を視聴するための契約はしていますか。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch～BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。(0570－08－2200)	「かんたん!!ガイド」(巻末) 11 86 83
110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか。 • ブースターや分配器などをご使用になっている場合、110度CS帯域（2.6GHz）まで対応した機器をお使いですか。	「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8 「かんたん!!ガイド」(巻末) 5～8
BSデジタル・110度CSデジタル放送に雑音が出たり、まったく受信できなくなる	• 強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着していませんか。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。 • 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。これは故障ではありません。	– –

次のページに続く

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
地上デジタル放送が受信できない	• 地上デジタル放送の受信に必要なUHFアンテナが正しく設置されていますか。 • アンテナ線は正しく接続されていますか。 • お住まいの地域を地域選択で正しく設定していますか。 • チャンネル設定は正しくされていますか。	**－** **「かんたん!!ガイド」(巻末)** **5～8** **81** **82～83**
画面にノイズが出る	• VHF/UHFのアンテナケーブルがBS・110度CSデジタルアンテナケーブルと接近していませんか。	**－**
特定のチャンネルだけ映らない	• 契約していない有料放送ではありませんか。 • 受信強度を確認してください。 • 地デジ難視対策衛星放送（BS291ch～BS298ch）については、地デジ難視対策衛星放送受付センターへお問い合わせください。（0570－08－2200）	**86** **80～81** **83**
番組表が表示されない **番組表に表示されない番組がある**	• 地上デジタル放送の場合、視聴していないチャンネルは、番組表に情報が表示されません。番組表取得を「する」に設定すると、リモコンで電源を切った（待機状態）ときに各放送チャンネルの番組表情報を取得します。 • デジタル放送を選局していますか？ • 電源を入れた後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。 • スキップをする設定にしていませんか。	**14** **－** **－** **83**
番組の予約をしても受信できない	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	－
デジタル放送が受信できない	• 外部からの雑音や妨害ノイズが原因かもしれません。「電源ボタン設定」(⇒**30**ページ)を「モード2」に設定して本体の電源ボタンで電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いて約1分放置した後、再度差し込んで電源を入れてみてください。 • BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴するとき、BS･110度CS共用アンテナ(市販品)およびBS･110度CSデジタル用アンテナケーブル(市販品)を接続していますか。	－ －
BSデジタル・110度CSデジタル放送が選べない	• 地デジ限定設定が「有効」になっていませんか。	**32**

USB ハードディスク関係について

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない	• USB ハードディスクの電源が入っていますか。 • 録画機器選択画面に USB ハードディスクを表示するには、事前に「機器の初期化」をする必要があります。 • USB ハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	– 48 –
USB ハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定した USB ハードディスクが録画機器選択画面に表示されていますか。 表示されない場合は上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • USB ハードディスクに十分な残量がありますか。残量が少ない場合は、不要な番組を削除するか、残量のある別の USB ハードディスクを接続してください。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 48
USB ハードディスクに録画したコンテンツが表示されない／再生できない	• 本機に接続している USB ハードディスクは本機で録画したものですか。 本機以外のテレビ受信機で録画された USB ハードディスクを本機でコンテンツリスト表示／再生することはできません。 • 本機が故障した際に主要部品を交換していませんか。 •「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。	– – 48
USB ハードディスクが使用できない	•「USB-HDD の選択」で録画する USB ハードディスクを選んでいますか。 • 使用したい機器が録画機器選択画面に表示されていますか。表示されない場合は、上記の「USB 端子に接続した USB ハードディスクが録画機器選択画面に出ない」の内容をお確かめください。 • それでも使用できない場合は以下の操作をしてください。 ①テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグを抜く ② USB ハードディスクの電源を入れ直す ③本機の電源プラグを差し込んで電源を入れる	48 – –
USB ハードディスクに録画した番組が消えた	• USB ハードディスク使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USB ハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで電源が切れませんでしたか。 （上記の場合、録画した番組が消える場合があります。） （録画した番組がすべて消えた場合や、USB ハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化を行ってください。） • 異なる USB ハードディスクをつないでいませんか。 •「USB-HDD の選択」で異なる USB ハードディスクを選んでいませんか。	– – 48

エラーメッセージが出たら

エラーメッセージが出たら ➡

B-CAS カードや放送の受信・視聴に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
B-CAS カードを正しく挿入してください。 B-CAS カードを挿入していてもこのメッセージが表示される場合は、カードを差し直してください。	****	• B-CAS カードを正しく挿入してください。挿入してある場合は、挿入やり直してください。	「かんたん!! ガイド」(巻末) 11
この B-CAS カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	「かんたん!! ガイド」(巻末) 11
このカードは使用できません。 正しい B-CAS カードを装着してください。	****	• 本機に付属の B-CAS カードを挿入してください。	「かんたん!! ガイド」(巻末) 11
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
この B-CAS カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	• このチャンネル（番組）は視聴できません。	−
受信状態が悪くなっています。 この番組は降雨対応画面に切り換えることができます。	E201	• 降雨対応画面に切り換えて視聴していただくか、天気の回復をお待ちください。	85
アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	****	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	−
○○ ○○○ ch が受信できません。リモコンで放送切換や選局を確認ください。またはアンテナの調整・接続を確認ください。雨や雪などの影響で一時的に受信できない場合もあります。	E202	• アンテナ線を確認してください。 • 受信強度を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	「かんたん!! ガイド」(巻末) 5〜8 80〜81・88〜89 80〜81 −
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	E203	• 番組表などで放送時間を確かめてください。 • 受信強度を確認してください。 • 雨や雪などの天候の影響で一時的に受信できない場合もあります。	− 80〜81・88〜89 −

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
○○○チャンネルが見つかりません。 **番組表などでチャンネルを確認してください。**	E204	・番組表などでチャンネルを確かめてください。	ー
アンテナ線の接続や設定に不具合がありますのでアンテナ電源を「切」にしました。 **受信できない場合は、本体の電源を切ってから、アンテナとの接続を確認してください。**	****	・電源を入れ直してください。 ・BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送が受信できない場合は、本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してから電源を入れ直してください。	ー **「かんたん!!ガイド」(巻末) 5〜8・80〜81**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	・選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	ー
契約期限が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	ー
データが受信できません。	E400	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
この受信機では、データを表示できません。	E401	・現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	ー
データの表示に失敗しました。	E402	・現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	ー

エラーメッセージが出たら ➡

USB 利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
接続しているUSB機器の電源容量が大きすぎます。 **本体の電源を切ってから、必要なUSB機器のみを接続し直してください。**	・USB過電流が発生しました。USB機器を多く接続すると、発生する場合があります。 ・本体の電源を切ってから、使用しないUSB機器を取り外してください。

USB ハードディスク利用時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため録画できません。	• USB ハードディスクを本機に接続し、使用する USB ハードディスクを選択してください。(⇒ **48** ページ) • 初めて本機に接続する USB ハードディスクの場合は、接続後に初期化してください。(⇒ **48** ページ) • USB ハードディスクの電源を入れてください。
ハードディスクが認識できないため、録画できません。ハードディスクを接続し直してください。	
まもなく録画予約の開始時間です。録画可能なハードディスクが接続されていません。	
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れていました。録画前にはハードディスクを接続し、電源を入れておいてください。	
タイトルが一杯です。これ以上録画できません。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。不要なタイトルを消去してから録画してください。
録画できる最大タイトル数を超えています。	
ハードディスク準備中のため録画できません。	• USB ハードディスクの準備が終わるまでお待ちください。
ハードディスクに異常があり録画を停止しました。	• USB ハードディスクの故障の可能性があります。USB ハードディスクの状態をお確かめください。
ハードディスクに異常があり、録画できませんでした。	
ハードディスクの空き容量がなくなったため録画を中断しました。	• 不要なタイトルを消去してください。
ハードディスクの容量が不足しています。	
初期化中のため録画できません。	• USB ハードディスクの初期化が終わるまでお待ちください。
ハードディスク初期化中のため、録画できませんでした。	
予約可能時間を過ぎたので、リモコンの録画ボタンで直接録画してください。	• リモコンの録画ボタンで、直接録画してください。
予約方法を選択してください。(録画可能なハードディスクが見つかりません。)	• 録画可能な USB ハードディスクを接続してください。もしくは、視聴予約／ファミリンク録画予約から予約したい方法を選択してください。
予約できる番組数を超えているため、予約できません。	• 予約できる番組は、最大 32 番組です。新しい予約を設定する場合は、どれか他の予約を消去してください。

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた
タイトル数の制限を超えたので録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 本機で録画できる USB ハードディスクのタイトル数は最大 999 タイトルです。別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
ハードディスクに空き容量がなくなったため、録画を停止しました。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合には、不要なタイトルを消去してください。	
ハードディスクに空き容量がないため、録画できませんでした。別の録画用ハードディスクを使用してください。このハードディスクに録画を行う場合は、不要なタイトルを消去してください。	• 録画する前に USB ハードディスクの空き容量をご確認ください。空き容量がない場合は別の USB ハードディスクを本機に接続してください。もし、接続中の USB ハードディスクをご使用される場合、不要なタイトルを消去してから録画してください。
1 タイトルの録画時間が 6 時間を超えたため、録画を停止しました。1 タイトルが 6 時間以上の連続録画はできません。	• 1 タイトルの録画時間は最長 6 時間なので、6 時間単位で録画してください。
ハードディスクが接続されていない。もしくは電源が切れているため再生できません。 **ハードディスクが認識できないため、再生できません。**	• 本機に USB ハードディスクを接続し、使用する USB ハードディスクを選択しているかお確かめください。（⇒ **48** ページ）また、USB ハードディスクの電源を入れてください。
このタイトルは再生できません。	• 再生できないタイトルである可能性があります。
再生できるタイトルがありません。	• 本機に接続されている USB ハードディスクの中に再生できるタイトルがありません。再生できるタイトルが入っている別の USB ハードディスクを本機に接続してください。
記録長が短いため、再生できません。	• 記録時間が 3 秒未満のタイトルは再生できません。
日付・時刻が設定されていません。 **日付・時刻を設定してください。**	• 時計合わせを行ってください。（⇒ **30** ページ）
この番組は録画できません。	• 独立データ放送は録画できません。
録画禁止の番組です。 **録画できません。**	•「録画禁止」の番組は録画できません。
番組の時間が未定のため、録画予約ができません。	• 終了時刻が未定の番組、長さが 1 分未満の番組、長さが 48 時間超の番組は録画予約ができません。

ファミリンク録画時に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S05	• 録画ができない「コンテンツ（放送や番組）」、または録画ができない「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」です。「コンテンツ（放送や番組）」または「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S06 S07	• このネットワークは録画することができません。 • ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。	S09 S10 S11 S12	• ファミリンク録画機能を使用せず、録画機器の録画機能をご利用ください。
録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。	S13 S14	• この「コンテンツ（放送や番組）」は録画することができません。 •「コンテンツ（放送や番組）」を確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S16	•「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 現在、再生中のため録画できません。	S17	• 再生を停止した後、再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。	S18	• 現在録画中のため、新たに録画できません。
録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。	S19 S21	•「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」に録画できません。 •「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」を確認してください。
録画に失敗しました。 放送を受信できないため、録画できません。	S20	• 放送が受信できません。設定が正しく行われているか、確認してください。
録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。	S22	•「記録メディア（HDD・BD・DVDなどの録画媒体）」の容量を確認してください。
録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。	S23	• 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。
録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。	S31	• 録画機器を確認してください。

エラーメッセージが出たら ➡

アンテナ受信強度に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	対処のしかた	ページ
受信強度が 60 以下です。【B】	• 受信強度が 60 以上になるようにアンテナの向きや接続を調整してください。	**80 ～ 81**
アンテナ信号が強すぎます。【C】	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しています。ブースターの調整や減衰器の取り付けが必要です。 販売店などにご相談ください。	**–**
アンテナ信号が不足しています。【C】	• ブースターの調整や取り付けが必要です。販売店などにご相談ください。	**–**
アンテナ信号が良くありません。【D】	• アンテナ信号が劣化しています。アンテナの接続、および調整を確認しても改善しない場合は、販売店などにご相談ください。	**–**
受信できません。【E】	• アンテナが正しく設置されているか確認してください。 • アンテナ線を確認してください。 • アンテナの設定が合っているか確かめてください。	**–** **「かんたん!!ガイド」（巻末）5 ～ 8** **80 ～ 81**

エラーメッセージが出たら ➡

双方向通信に関するもの

画面に表示されるエラーメッセージ例	エラーコード	対処のしかた	ページ
アクセスできませんでした。[C204]	C204	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
サーバー証明書※1が不正のため、アクセスを中断します。[C208]	C208	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
サーバー証明書※1に問題があり、アクセスを中断します。[C209]	C209	• ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**–**
双方向サービスを利用するには、デジタル放送接続制限を「禁止しない」に設定してください。	＊＊＊＊	•「ネットサービス制限設定」－「デジタル放送接続制限」で「しない」を選択してください。	**42**
まだルート証明書※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	**–**
サーバー証明書※1の信頼性が確認できません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	**–**
まだ新しいルート証明※2を受信していません。 セキュリティの保障ができないため、アクセスしないことをお勧めします。アクセスしますか？	＊＊＊＊	• アクセスしないことをお勧めします。	**–**

※ 1　サーバー証明書 ･･･ 暗号化通信に使われる暗号鍵。Web サーバーに保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。
※ 2　ルート証明書 ･････ 暗号化通信に使われる復号鍵。放送波で伝送され、受信機に保存される。有効期限が記述されており、この期間を過ぎると使用できない。

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の電源ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の電源ボタン（⇒ **12** ページ）を 5 秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約 1 分待ってから電源ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやり直してください。この操作をしてもチャンネル設定やメニュー、予約などの設定項目は保持されます。

◇**おしらせ**◇

- 再度電源を入れた直後はデータ取り込みのため、画面表示には多少時間がかかります。

システム動作テスト

- 本機は、B-CAS カードが正しく挿入できているか等をテストできます。

1 **ホームメニューを表示して、「設定」−「✉(お知らせ)」−「システム動作テスト」を選ぶ**

2 **「テスト実行」で決定する**

表示が「テスト実行中」に変わります。テストが終了すると「テスト終了」になります。

3 **結果を確認し、「テスト終了」で決定する**

操作を終了する場合は、ホームボタンを押します。

◇**おしらせ**◇

システム動作テストに失敗したときは

- B-CAS カードが正しく挿入されているか確認してください。（⇒**「かんたん !! ガイド」（巻末）11** ページ）

壁のアンテナ端子のかたちが異なる場合

- 壁のアンテナ端子のかたちが **「かんたん !! ガイド」（巻末）5** ページの記載と異なる場合は、市販品のケーブルなどを使って、以下のように接続します。

停電になったときは

停電時に設定が保持されている項目と設定が解除される項目があります。

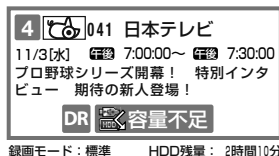
- テレビにおける設定内容（ホームメニュー内設定項目、音量など）は保持されます。
- 番組予約（視聴予約／録画予約）が、予約動作開始時刻を経過しているときは消去されます。
- 時刻設定は消去されます。時刻の自動設定がされないときは、「時刻設定」（⇒ **30** ページ）で設定してください。
- 停電前が下記の状態のものは解除されます。

静止画／オフタイマー／消音／映像オフ／ 2 画面

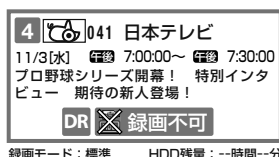
予約設定時のメッセージについて

- 番組表で番組を予約したときに、取得された番組情報に基づいてテレビ画面にメッセージが表示されることがあります。必要に応じて、以下の設定を行ってください。

予約リスト（⇒ 57 ページ）に「容量不足」と表示されるとき

4 041 日本テレビ
11/3[水] 午後 7:00:00～ 午後 7:30:00
プロ野球シリーズ開幕！ 特別インタビュー 期待の新人登場！
DR 容量不足
録画モード：標準 HDD残量： 2時間10分

USB ハードディスク残時間が不足しており設定した予約が録画できないときに表示されます。

- USB ハードディスクを接続しているときは、録画リストから不要な番組を消去することで、残量を増やせます。（タイトル消去⇒ **64** ページ）

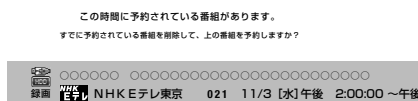
予約リスト（⇒ 57 ページ）に「録画不可」と表示されるとき

USB ハードディスクを接続していないときに表示されます。

- 初期化（登録）済み（⇒ **48** ページ）の USB ハードディスクを接続してください。

本機で初期化していない（登録されていない）USB ハードディスクが接続されているときに表示されます。

- 接続した USB ハードディスクを本機で初期化（⇒ **48** ページ）してください。

設定した予約が他の予約と重複しているメッセージが表示されるとき

この時間に予約されている番組があります。
すでに予約されている番組を削除して、上の番組を予約しますか？
○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
録画 NHKEテレ東京 021 11/3 [水]午後 2:00:00 ～午後
予約されている番組を削除して予約します　予約する
新たな予約をとりやめます　予約しない

すでに設定されていた予約を取り消して予約をしたいとき

- 「予約する」を選ぶと、新たな予約で設定を完了します。
- すでに設定された予約は、消えます。

すでに設定されていた予約を残したいとき

- 「予約しない」を選ぶと、すでに設定されていた予約が残ります。
- 新たな予約は、設定されません。

◇**おしらせ**◇

- USB ハードディスク利用時に関するエラーメッセージ（⇒ **97** ～ **99** ページ）も併せてご覧ください。
- 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

おもな仕様について

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-24K9	LC-22K9
液晶パネル	表示サイズ	24V型(横52.1cm×縦29.3cm/対角59.8cm)	22V型(横47.7cm×縦26.8cm/対角54.7cm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,366(水平)×768(垂直) 画素	
	使用光源	LED	
アンテナ入力		地上デジタル 75Ω不平衡型、BS/CS-IF 75Ω不平衡型	
スピーカー		2.7cm×8.0cm　2個	
音声実用最大出力(JEITA)		6W (3W+3W)	
使用電源		AC100V・50/60Hz	
消費電力		55W (待機時:0.1W、クイック起動「する」時:12W)	52W (待機時:0.1W、クイック起動「する」時:12W)
年間消費電力量		• 区分名:DK(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし) • 受信機型サイズ:24V • 年間消費電力量:37kWh/年(標準時※)	• 区分名:DK(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし) • 受信機型サイズ:22V • 年間消費電力量:36kWh/年(標準時※)
接続端子		HDMI入力3系統3端子、MHL入力端子1系統(HDMI兼用、DC5V 500mA)、D5映像入力1系統1端子、ビデオ入力1系統1端子、アナログRGB(PC入力)端子、音声入力端子(入力5/入力3用)、アンテナ入力地上デジタル端子、アンテナ入力BS・110度CS端子、ヘッドホン接続端子、LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、USB端子1系統	
受信チャンネル		BSデジタル001〜999ch、110度CSデジタル000〜999ch、地上デジタル(ワンセグを除く)011〜528ch (CATVパススルー対応)	
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz〜12.75GHz	
	IRD受信周波数帯域	1032MHz〜2071MHz	

品名		液晶カラーテレビ	
形名		LC-24K9	LC-22K9
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)	
	トランスポート	MPEG2 システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	ARIB CASシステム	
	受信周波数帯域	93MHz~767MHz	
	CATVパススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯	
外形寸法	ディスプレイ部のみ	幅56.1×奥行4.9×高さ35.8(cm)	幅51.9×奥行5.0×高さ33.2(cm)
	スタンド装着時	幅56.1×奥行17.8×高さ39.1(cm)	幅51.9×奥行17.8×高さ36.5(cm)
本体質量	ディスプレイ部のみ	約5.0kg	約4.5kg
	スタンド装着時	約5.4kg	約4.9kg
使用温度		0℃~40℃	

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
■ JIS C 61000-3-2適合品
JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値−高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
■ 年間消費電力量とは:省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
■ 年間消費電力量の区分名とは:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示、及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。
※ 一般的にご家庭で使用する際のメーカー推奨の映像モード。(本機では、AVポジション「標準」の場合です)

別売品について

• 液晶カラーテレビ専用の別売品をとりそろえております。お近くの販売店でお買い求めください。
• 本機に適合する別売品が新たに追加発売されることがあります。また、新たに適合となる別売品もあります。ご購入の際には、最新のカタログで適合性をご確認いただき、販売店にご相談の上、お買い求めください。　(2013 年 2 月現在)

No.	品　名	形　名	対応機種
1	壁掛け金具	AN-130AG1	LC-24K9 LC-22K9
2	天吊りブラケット	AN-110TBS AN-110TBL	
3	システムラック	AN-TV120L	

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※ 本機を分解すると、保証が無効になります。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。(⇒**次**ページ)

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、液晶カラーテレビの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8 年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

■「故障かな?と思ったら」「エラーメッセージが出たら」(⇒ **87** ~ **101** ページ)を調べてください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名　:液晶カラーテレビ
- 形　　　名　:LC-24K9/LC-22K9
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけくわしく)
- ご　住　所
(付近の目印もあわせてお知らせください)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…お買いあげ日･販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

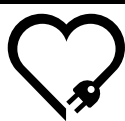
保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

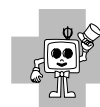
愛情点検

●**長年ご使用のテレビの点検をぜひ!**
(熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような症状はありませんか

●電源ボタンを押して電源を入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源ボタンを押して電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源ボタンを押して電源を切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。
発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/　■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

0120 - 001 - 251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：**9:00～18:00**
●日曜・祝日：**9:00～17:00**

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間（祝日など弊社休日を除く）●月曜～土曜：**9:00～17:40** ただし、沖縄地区は月曜～金曜：**9:00～17:40**

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道	札幌	011-641-4685	〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙台	022-288-9142	〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27
関東	宇都宮	028-637-1179	〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
関東	東東京	03-5855-0432	〒114-0012　北区田端新町2-2-12
関東	横浜	045-753-4647	〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23
中部	静岡	054-344-5781	〒424-0067　静岡市清水区鳥坂1170-1
中部	名古屋	052-332-2623	〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
中部	金沢	076-249-2434	〒921-8801　野々市市御経塚4-103
近畿	京都	075-672-2378	〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
近畿	神戸	078-452-7009	〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町4-12-6
近畿	大阪	06-6794-5611	〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
中国	広島	082-874-8149	〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
四国	高松	087-823-4901	〒760-0065　高松市朝日町6-2-8
九州	福岡	092-572-4652	〒812-0881　福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄	那覇	098-861-0866	〒900-0002　那覇市曙2-10-1

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お問違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2013.2)

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/aquos/source/download/index.html（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- module-init-tools
- glibc
- zlib
- AGG(ver.2.3)
- dlmalloc
- util-linux
- coreutils
- jpeg
- libpng
- SQLite
- LVM2
- bash
- libncurses
- device-mapper
- xfsprogs
- parted

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

次のページに続く

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

商標・登録商標など

- HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- MHL、MHL ロゴ、および Mobile High-Definition Link は、米国およびその他の国における MHL, LLC の商標または登録商標です。

索引

・本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒**9**～**11**ページをご覧ください。

次のページに続く

な行

は行

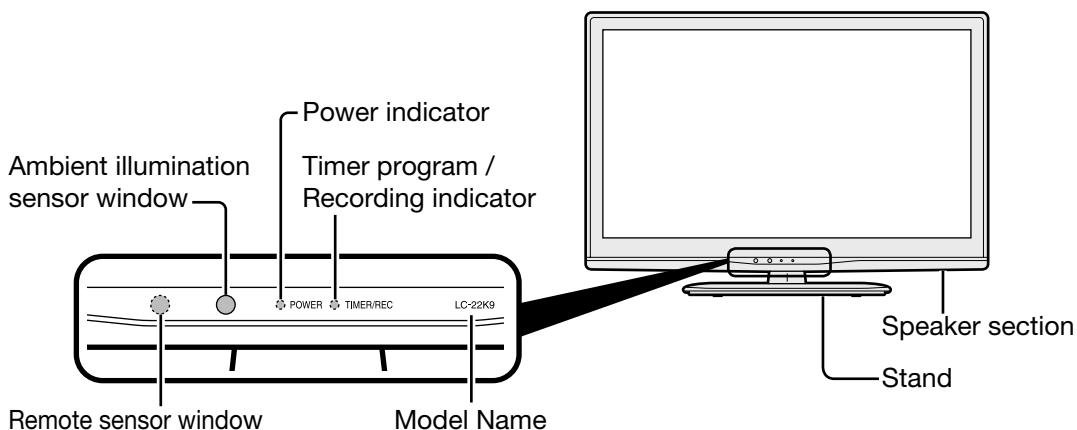
ま行

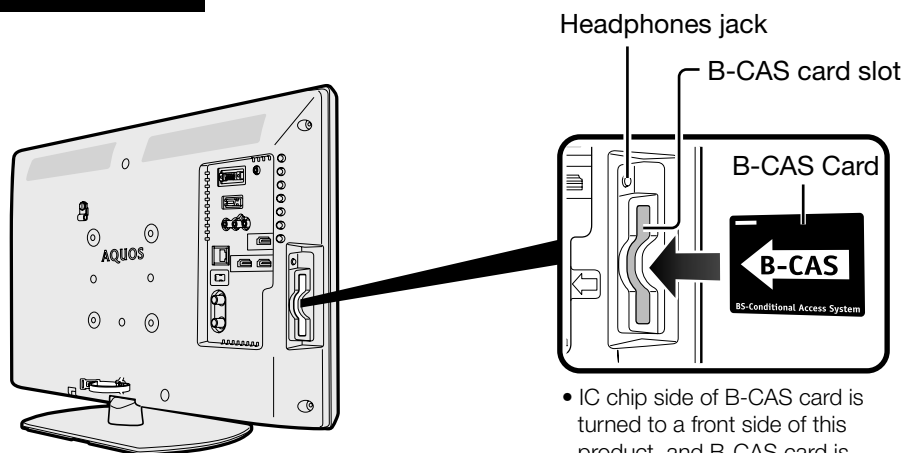
や行

ら行

わ行

English Guide
Part Names

• The illustrations below are those of LC-22K9. LC-24K9 has the same layout of jacks and terminals as LC-22K9.

Front view

Left side view

• IC chip side of B-CAS card is turned to a front side of this product, and B-CAS card is inserted.

Back view

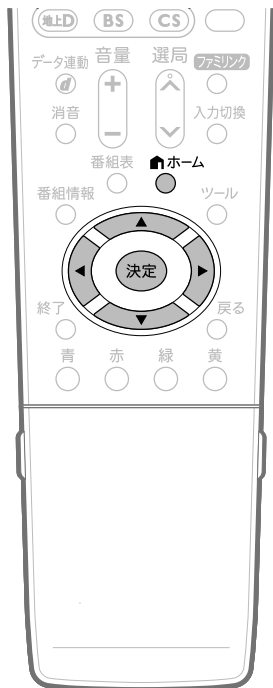
Continued on the next page

Remote Control Unit

Switching the Display Language to English
ホームメニューなどの言語を英語にする

- Using the Home menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
  ホームメニューなどの画面表示を英語にすることができます。

1

Press ホーム and select with [決定]

Select "設定" (Setup) on the Home menu.
ホームメニューから「設定」を選ぶ

チャンネル　設定　ホーム

2

Select with

Select "(視聴準備)" (View Setting).
「(視聴準備)」を選ぶ

3

Select with [決定] Press 決定

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

4

Select with

Press 決定

Select "English".
「English」を選ぶ

Enter.
決定する

- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5

Press ホーム

Finish this operation.
終了する

◇おしらせ◇

誤ってホームメニューを英語にしてしまったときは

- ホームメニューから「Setup」－「(View Setting)」－「言語 (Language)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。